

件 名	大阪のまちづくりグランドデザイン（案）の策定について
経 過 ・ 現 状 政 策 課 題	【経過】 ○令和3年12月「新しいまちづくりのグランドデザイン」の検討を行うため、大阪府・大阪市・堺市において、大阪府知事を本部長、大阪市長・堺市長を副本部長とした「新しいまちづくりのグランドデザイン推進本部」を設置。 ○これまでの推進本部会議の開催経過 ・令和3年12月24日 第1回推進本部会議 ・令和4年7月14日 第2回推進本部会議 ・令和4年11月2日 第3回推進本部会議 【現状及び課題】 人口動向や社会情勢の変化、技術革新の見込み等に的確に対応しつつ、万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、大阪がさらに成長・発展していくための取組を進める必要がある。
対 応 方 針 今 後 の 取 組 （ 案 ）	【概要】 ポストコロナを見据え、東西二極の一極を担う副首都として、大阪がさらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像や取組の方向性、その推進方策などを示すもの。 【主な堺市に関する記載内容】 ○世界で存在感を発揮する拠点エリア ・拠点の一つとして位置づけられた「堺都心周辺エリア」の取組 ○大阪の中核を担う拠点エリア ・「南部大阪 中枢エリア」において中百舌鳥の取組 ・「大阪高野都市軸 郊外拠点エリア」において泉北ニュータウンの取組 ○経済成長を促す産業拠点・集積エリア ・中百舌鳥の取組 【今後の予定】 ・R4年11月9日～ パブリックコメント実施 ・R4年12月 大阪のまちづくりグランドデザイン策定 ※当初名称を「（仮称）新しいまちづくりのグランドデザイン」としていたが、「大阪のまちづくりグランドデザイン」として策定予定
効 果 の 想 定	・この計画に基づき取組を進めることにより、堺市における国際競争力を備えた拠点エリア形成や、大阪の中核を担う拠点エリア形成などにつながる。 ・大阪全体の計画に本市の取組を位置づけ市内外へ情報発信することにより、多様な主体の参画や連携を促進する。
関 係 局 と の 政 策 連 携	

大阪のまちづくりグランドデザイン(案)の概要

ポストコロナを見据え、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示す。

1. 大阪都市圏からみた特徴・役割

- ◆西日本国土軸及び太平洋新国土軸上に位置し、西日本経済の中心、世界のゲートウェイの役割とともに、今後、世界最大級のスーパー・メガリージョンの西の核としての機能を担う
- ◆交通ネットワークを中心に都市機能が集積した市街地が連坦し、コンパクトな府域を形成している
- ◆近隣府県の主要な都市と一体となって、広域的な経済交流圏を形成している
- ◆都市に近接した豊かな自然や歴史・文化資源等の多様な地域資源が集積、アクセスが良い
- ◆人口動向や社会情勢の変化、技術革新の見込み等に的確に対応しつつ、万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、さらに成長・発展していくためのまちづくりを進める必要がある

2. めざすべき都市像

(1) まちづくりの目標 未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり

【将来像】

- ①魅力的な国際都市として成長する大阪 「イノベティブな大阪」
- ②健康長寿で誰もが幸せを実感しながら暮らせる大阪 「ウェルビーイングな大阪」
- ③未来へつながる安全・安心な大阪 「サステナブルな大阪」



【まちづくり推進の視点】「多様性の確保」、「共創」、「資源の活用」

(2) 大阪を取り巻く都市構造

◆府域の都市軸

- ・交通ネットワークを中心に多様な都市機能が集積し、都市軸を形成
- ・都心部を貫く東西・南北都市軸や、放射方向に広がる8つの都市軸及び中央環状都市軸を位置づけ



◆府域のゾーニング

土地利用や人口・都市機能の集積状況等を踏まえ、6つのゾーニングを設定



大阪都心部
都心部周辺
郊外部
ベイエリア
河川空間
周辺山系

(3) めざすべき都市構造

◆広域レベル

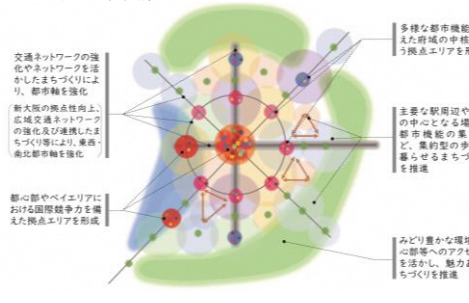
広域的な都市構造を活かした都市圏の形成
国土軸や環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラなど、広域的な都市構造を活かし、スーパー・メガリージョンの西の核、世界のゲートウェイに相応しい都市圏を形成



◆府域レベル

マルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成

都心部やベイエリアにおける国際競争力を備えた拠点エリアの形成とともに、放射・環状の都市軸上に多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成し、相互に連携する都市構造をめざす



3. まちづくりの戦略と取組の方向性

広域的な視点から取り組むべき5つのまちづくりの戦略とその取組の方向性を示し、民間の活力を最大限に引き出しながら、具体的な取組を多様な主体が一体となって進める。

戦略1

成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア

都心部やベイエリアにおいて、国際競争力を備えた拠点エリアを形成
【「新大阪・大阪エリア」、「大阪城・周辺エリア」、「なんば・天王寺・あべのエリア」、「御堂筋・周辺エリア」、「中之島・周辺エリア」、「夢洲・咲洲エリア」、「堺都心周辺エリア」、「関空・りんくう周辺エリア」計8エリア

2) 大阪の中核を担う拠点エリア

都心部周辺や郊外部において、多様な都市機能を備えた拠点エリアを形成

【「北部大阪 中核エリア」、「東部大阪 中核エリア」、「南部大阪 中核エリア」、「北部神都市軸 活性化エリア」、「京阪都市軸北 活性化エリア」、「京阪都市軸南 活性化エリア」、「南阪奈都市軸 活性化エリア」、「京阪都市軸 郊外拠点エリア」、「大阪高野都市軸郊外拠点エリア」、「阪和都市軸郊外拠点エリア」計10エリア

3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア

ものづくり産業や環境・新エネルギー産業、健康・医療関連産業など、大阪の成長・発展をけん引する産業拠点エリアの形成や、幹線道路沿道やベイエリア等での新たな産業用地等の創出 など

戦略2

大阪ならではの魅力を活かし、暮らしやすいNo.1都市を実現

1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造

・駅周辺の再整備等に併せた都市機能の集積、人中心の空間への転換、鉄道沿線まちづくり
・新たな「駅」の活用による移動手段の充実 など

2) 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編

・地域の核となる機能の導入やコワーキングスペース等の働く環境・場の創出
・新たなモビリティを活用した移動円滑化
・周辺の田園環境を活かした農との共存 など

3) 豊かな自然を活かしたまちづくり

・AI(人工知能)交通等による交通アクセスの確保
・既存ストックを活用した働く場等の創出、先端技術を活用した生活支援サービスの提供
・豊かな自然を体験できるまちづくり、ワーケーションやマルチハビテーションの促進 など

戦略3

海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化

1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり

・多様な地域資源・ストックを活かしたまちづくり
・海上交通・自転車等による回遊性の向上 など

2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり

・舟運活性化や水辺空間の整備等にぎわい創出
・自転車等による回遊性の向上 など

3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり

・自然資源、歴史・文化資源、ビュースポット等のネットワーク化
・民間のアイデアやノウハウを活かした魅力向上 など

4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成

・世界遺産など、歴史・文化遺産を巡る観光ネットワークの形成
・景観資源やアートを活かしたまちづくり など

支える

戦略4

人・モノ・情報の交流を促進

1) 交通インフラと連携したまちづくり

・道路ネットワークの機能強化と沿道まちづくり
・交通ネットワークの充実と沿線まちづくり
・空港・港湾の機能強化等

2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり

・人中心の快適で魅力ある空間の創出
・自転車、水上交通、新たなモビリティ、エアモビリティを活用したまちづくり

戦略5

安全・安心でグリーンな社会を実現

1) 安全・安心なまちづくり

・人命を守る都市機能の強化
・供給処理施設の機能維持、再構築とまちづくりへの利活用

2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり

・みどりを活かした魅力あふれるまちづくり
・脱炭素社会の実現に向けたまちづくり
・循環型社会の実現に向けたまちづくり

4. グランドデザインの推進に向けて

(1) まちづくりに関わる様々な主体の役割及び推進体制

・府、市町村、民間等の役割、グランドデザイン推進体制 など

(2) グランドデザインの推進に向けた取組

- ・多様な主体の共有や参画を促し、まちづくりの機運醸成等を図る取組
- ・民間主導のまちづくりを推進するための環境整備
- ・市町村及び広域連携のまちづくりの推進
- ・まちづくりを育てるための取組
- ・グランドデザインの進捗管理

5. 取組ロードマップ

短期(2025年)、中期(2030年)、長期(2040~2050年)を目標とした、まちづくりの戦略に基づく主な取組のロードマップ

6. まちづくりマップ

戦略と取組の方向性を踏まえた、大阪全体のまちづくりのイメージを示す図

大阪のまちづくりブランドデザイン（案）

策定の趣旨

- 大阪は、西日本経済の中心、世界のゲートウェイとしての役割を担い、コンパクトな府域において放射・環状に交通ネットワークが発達しており、豊かな自然、多様な歴史・文化資源等の集積といった強みを有しています。
- 今、大阪では、2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組を、国、経済界、府市が一体となって進めるとともに、IRの誘致、国際金融都市OSAKAやスーパーシティの実現に向けた取組、リニア中央新幹線、北陸新幹線等のスーパー・メガリージョン形成に向けた広域インフラの整備等が進められるなど、大阪が大きく変わろうとしており、持続的な成長・発展に繋げていくことが重要です。
- また、AIやデジタル技術などのテクノロジーの進展をはじめ、SDGsの達成やカーボンニュートラル、グリーン社会の実現など、まちづくりを取り巻く新たな潮流が生まれており、これらを踏まえつつ、都心部での拠点開発効果を府域へ波及させていくことや、近年の新型コロナ禍を契機とした多様な働き方、暮らし方を選択できるまちづくりを着実に進めて行く必要があります。
- このたび、ポストコロナを見据え、万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う副首都として、大阪がさらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪全体の大きなまちづくりの方向性を示す、「大阪のまちづくりグランドデザイン」を大阪府・大阪市・堺市において策定しました。
- 今後、都心部やベイエリアでの国際競争力を備えた拠点エリア形成や、各地域での多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリア形成、大阪ならではの魅力を活かした新しい郊外の創造をはじめとした暮らしやすさNo.1都市の実現、多様な地域資源を活かした地域活性化等により、「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」を進めていきます。
- このグランドデザインを羅針盤として、民間の活力を引き出しながら、多様な主体が一体となって大阪全体のまちづくりを推進し、便利で住みやすく、そして成長する大阪をめざします。

【大阪の成長・発展に向けたイメージ】

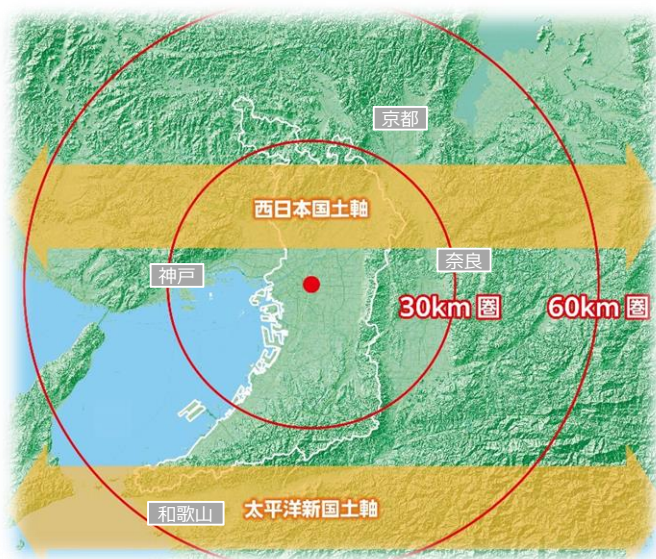


1. 大阪都市圏からみた特徴・役割	3
2. めざすべき都市像	9
(1) まちづくりの目標	
(2) まちづくりを支える都市構造	
3. まちづくりの戦略と取組の方向性	17
戦略1) 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成	18
1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア	
2) 大阪の中核を担う拠点エリア	
3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア	
戦略2) 大阪ならではの魅力を活かし、暮らしやすさNo.1都市を実現	41
1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造	
2) 郊外住宅地を多様な世帯が住み、働き、交流するまちへ再編	
3) 豊かな自然を活かしたまちづくり	
戦略3) 海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化	45
1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり	
2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり	
3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり	
4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成	
戦略4) 人・モノ・情報の交流を促進	51
1) 交通インフラと連携したまちづくり	
2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり	
戦略5) 安全・安心でグリーンな社会を実現	63
1) 安全・安心なまちづくり	
2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり	
4. グランドデザインの推進に向けて	67
(1) まちづくりに関わる様々な主体の役割及び推進体制	
(2) グランドデザインの推進に向けた取組	
5. 取組ロードマップ	69
6. まちづくりマップ	73
参考資料	
・用語集	77

1. 大阪都市圏からみた特徴・役割

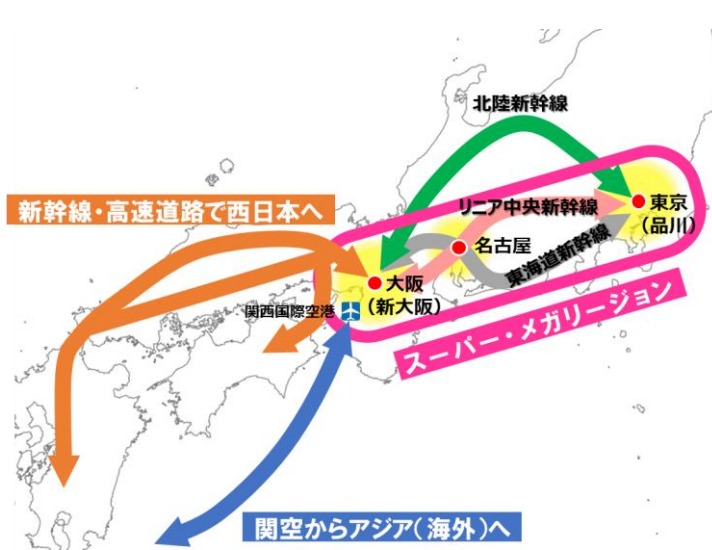
- 大阪は、西日本国土軸及び太平洋新国土軸上に位置し、西日本経済の中心、世界のゲートウェイとしての役割とともに、今後、リニア中央新幹線の開業により、世界最大級のスーパー・メガリージョンを構成する西の核としての機能を担います。
- また、都心部から放射・環状方向に発達した鉄道や幹線道路の交通ネットワークを中心に、多様な都市機能が集積した市街地が連坦し、コンパクトな府域を形成するとともに、近隣府県の主要な都市と一体となって、広域的な経済交流圏を形成しています。
- さらに、大都市でありながら、周辺山系や大阪湾、河川など、都市に近接した豊かな自然や、歴史・文化等に関する多様な地域資源が集積しており、これらにアクセスしやすいという利点を有しています。
- 今後は、大阪の現状、並びに2050年に向けた人口動向や社会情勢の変化、技術革新の見込みなどにより、的確に対応しつつ、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、大阪がさらに成長・発展していくためのまちづくりを進めて行くことが求められています。

【大阪都市圏を取り巻く状況】

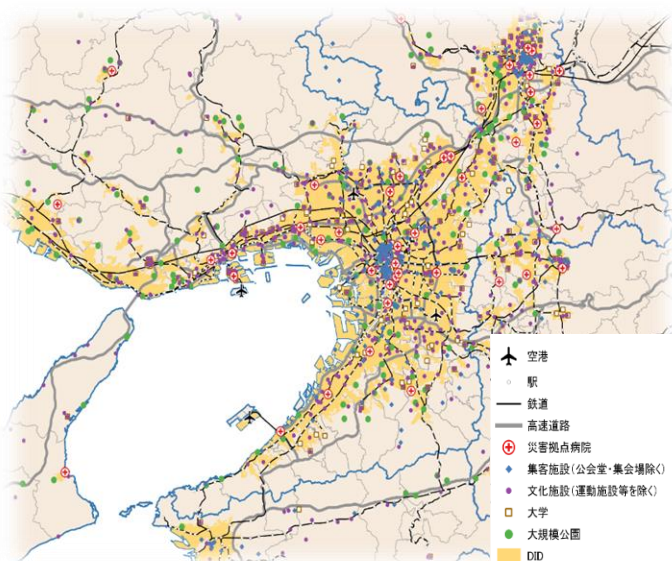


出典：地理院地図を加工して作成

【世界のゲートウェイ、スーパー・メガリージョンの西の核としての役割】



【発達した交通ネットワークと都市機能の集積】



出典：国土数値情報より作成

【豊かな自然等の地域資源】

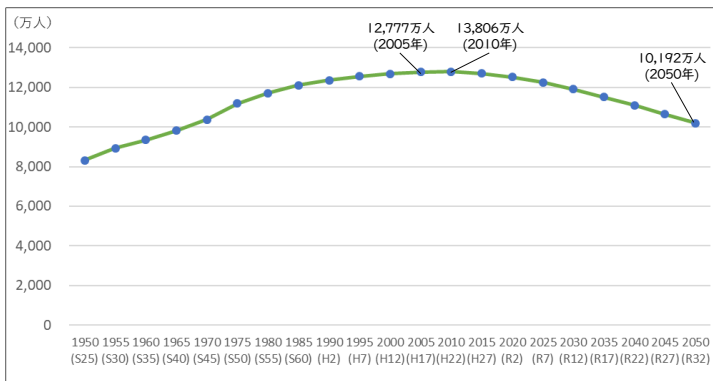


【大阪を取り巻く主な状況】

① 人口の動向

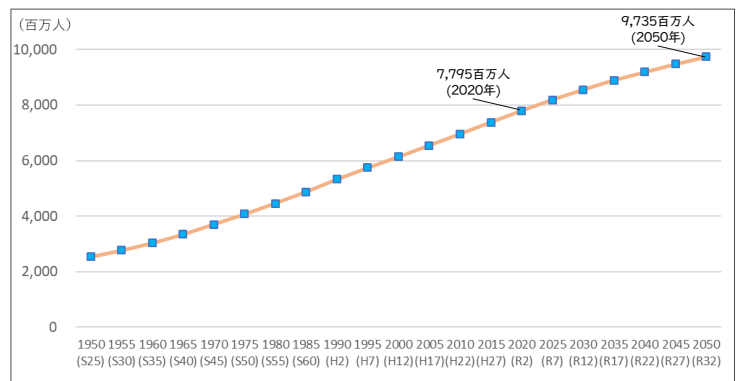
- ・日本の総人口は2008年をピークに減少に転じており、大阪においても、2010年をピークに人口減少局面に入っています。
- ・一方で、世界人口は新興国のさらなる成長等により、今後も増加し続けることが予測されています。また、新型コロナ禍により大きく減少したインバウンドについても、今後回復を図っていくことがめざされています。
- ・今後のまちづくりにおいては、人口減少・高齢化社会に的確に対応した持続可能なまちづくりとともに、国内外から多様な人・モノ・情報を呼び込む魅力あるまちづくりによって、人口の減少幅、なかでも未来を担う若者の東京への流出をできるだけ小さく止めるとともに、昼間・交流・関係人口を増加させていくことが求められています。

＜日本の人口の推移＞



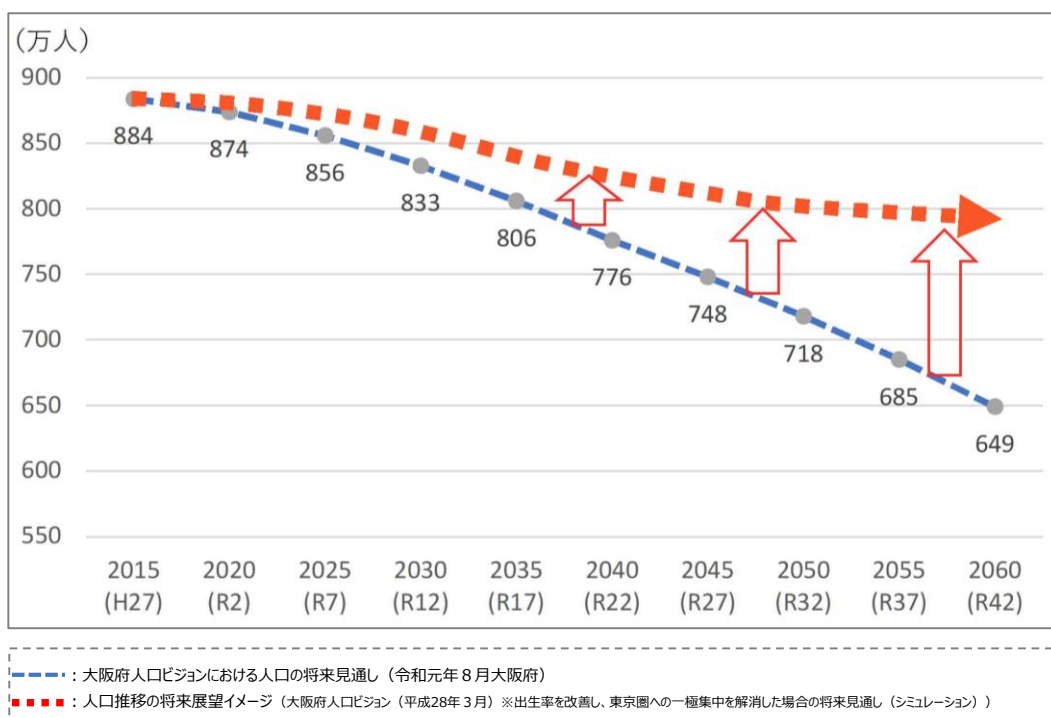
出典：2019年までは総務省「人口推計」
2020年以降は国立社会保障人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）出生中位、死亡中位推計」

＜世界の人口の推移＞



出典：総務省「世界の統計2022」

＜大阪の人口推移の将来展望イメージ＞

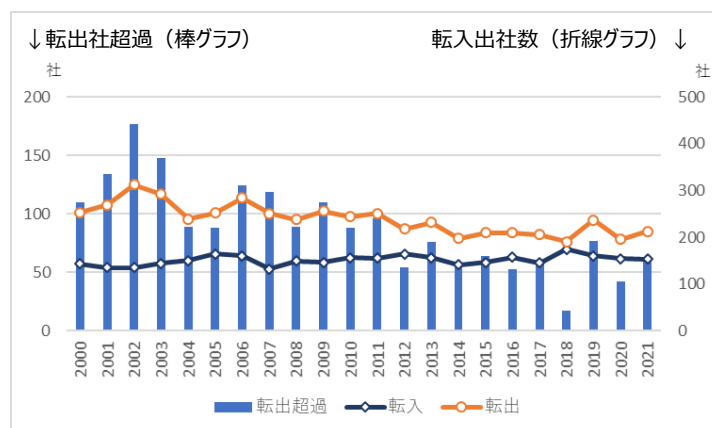


1. 大阪都市圏からみた特徴・役割

② 経済の動向

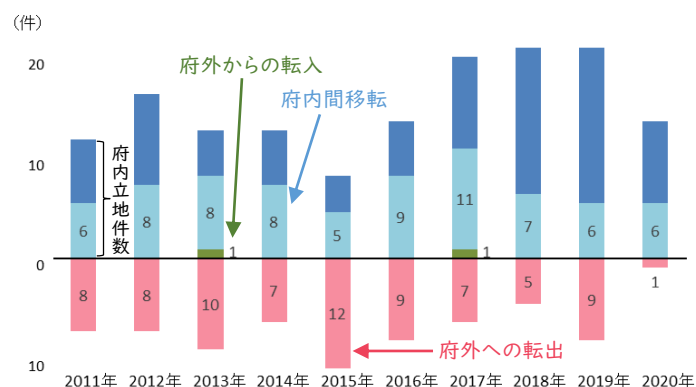
- ・グローバル化の進展とともに、都市間競争が激化する中、産業構造の転換の遅れによる産業競争力の低下や、東京圏等への企業の本社機能の流出、近隣府県等への工場の転出等が課題となっています。
- ・このため、成長産業であるグリーン関連分野、健康・医療関連分野や、知的インフラである大学等の集積を促進することにより、スタートアップや人材等の育成・集積を図るとともに、高い技術力を持つものづくり企業や多様な地場産業の集積を活かし、付加価値の高い技術・製品を生み出す国際的なビジネス環境を備えた都市を形成することが重要です。
- ・また、主要な幹線道路やベイエリア等では、企業や地域のニーズに対応した適切な産業系土地利用を誘導していくことが求められています。
- ・さらに、金融機能の強化を図り、ポストコロナに向けた大阪・関西経済の再生に向けた新たな成長の柱とするため、独自の個性・機能を持つ国際金融都市の形成をめざす必要があります。

＜大阪府の本社転入出推移＞



【出典：帝国データバンク「大阪府・本社移転企業調査2020,2021」】

＜大阪府内工場立地件数の推移＞



【出典：なにわの経済データ2021年度版】

③ 技術革新の見込み

- ・近年、人工知能（AI）、自動運転、環境技術など、様々な技術の開発や実用化が急速に進んでおり、今後、これらがさらに普及し、社会を支えていることが見込まれます。
- ・大阪では「未来社会の実験場」である大阪・関西万博を契機として、空飛ぶクルマや自動運転、MaaSにより、便利でスマートな新しい移動サービスを実現していくことや、多様なデジタルサービスの普及によって、便利で快適でいきいきと生活できる未来社会を実現していくことなどをめざしています。
- ・日々進化する技術は人々に利便性や豊かさをもたらし、日常的な行動をも変える可能性もあり、これらをまちづくりに積極的かつ柔軟に取り入れていくことが重要です。

【空飛ぶクルマ】

【自動運転】

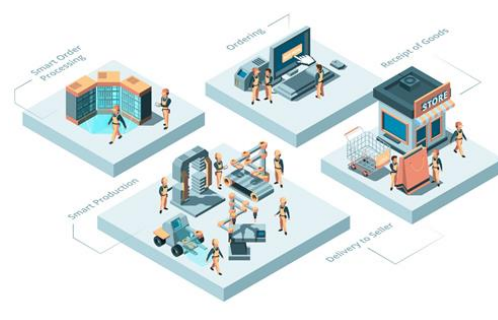
【MaaSプラットフォーム、都市OSの構築】



（出典）経済産業省HP



提供：大阪府



提供：大阪府

④ 自然災害の激甚化・広域化

- ・南海トラフ地震の30年以内の発生確率は70%～80%とされており、巨大地震が発生すれば、甚大な人的・建物被害が想定されています。さらに、近年、集中豪雨による水害・土砂災害や台風による高潮災害が多く発生するなど、自然災害が激甚化・広域化しています。
- ・減災の考え方に基づき、インフラ整備等のハード対策と避難対策等のソフト対策を効果的に組み合わせ、各種災害対策を推進することにより、都市の防災性の向上を図ることが求められています。



阪神・淡路大震災 建物被害と道路閉塞
出典：（一財）消防防災科学センター「災害写真データベース」



平成30年7月豪雨 河川増水による護岸の崩壊

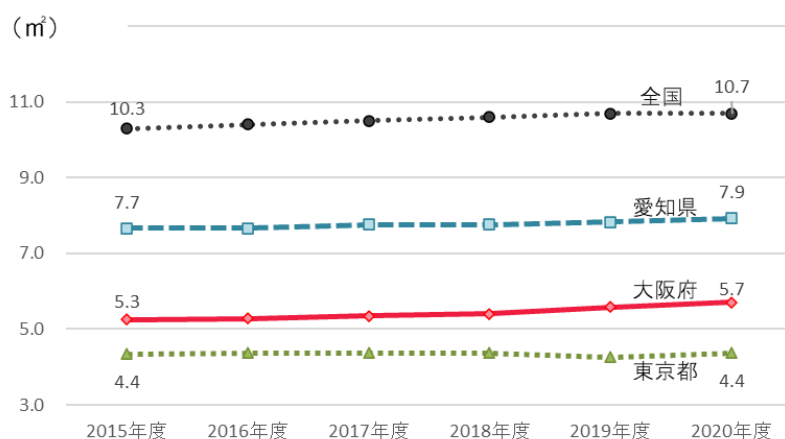


平成30年台風第21号 高潮による潮位の上昇

⑤ 都市におけるみどりの不足

- ・大阪府の一人当たりの都市公園面積は、全国平均と比べて低い水準にあり、また、都心部の緑被状況も世界主要都市と比較して低水準に留まっています。
- ・新型コロナ禍を契機に過密解消が求められる中、まちなかにおけるゆとりある空間として、また、生活圏における貴重な屋外空間として、みどり・オープンスペースの重要性が再認識されました。
- ・美しい都市景観の形成、うるおいある空間の創出、防災性の向上のみならず、新たな交流をもたらし、都市の魅力を高める重要な要素として、質の高いみどり・オープンスペースの創出がより一層求められています。

＜一人当たりの都市公園面積＞



出典：国土交通省「都市公園データベース」より作成

＜2020年世界の主要都市の都心部の緑被状況＞

ランク	都市名
1位(1)	ジュネーブ
2位(4)	ヘルシンキ
3位(17)	バンクーバー
4位(11)	ウィーン
25位(20)	シカゴ
35位(30)	東京
45位(40)	上海
46位(33)	大阪

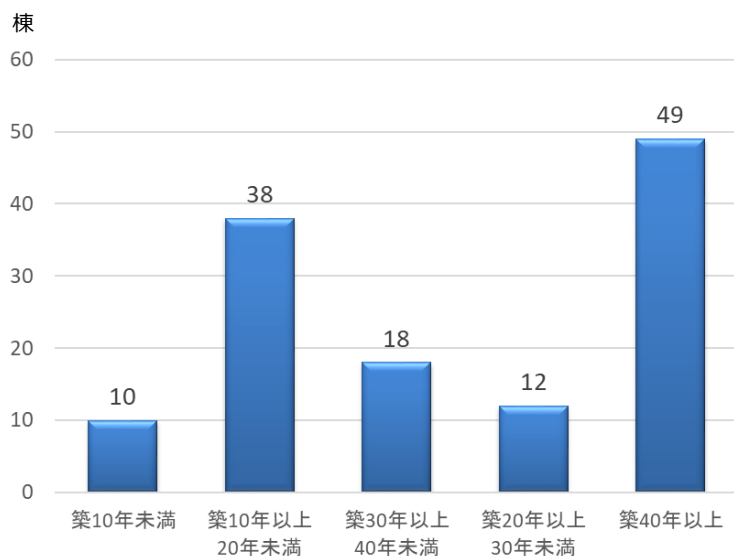
※（）内の数字は前年のランキング

出典：（一財）森記念財団「世界の都市総合力ランキング2020」

⑥ 更新期を迎えている都市ストック

・1970年大阪万博から50年余りが経過し、これまで大阪の安全・安心や成長・発展を支えてきたインフラ、主要駅周辺の各種施設など多くの都市ストックが更新期を迎えており、今後、これらの計画的な更新により、大都市のリノベーションを進めることが重要です。

＜市街地再開発事業により整備されたビルの築年数別棟数＞



出典：大阪府調べ（2022年3月末時点）

＜更新期を迎えている駅前ビルの例＞



門真プラザビル（門真市）
提供：大阪府



茨木ソシオビル（茨木市）
提供：大阪府

⑦ 民間活力を活かしたまちづくり

- ・都心部や主要駅周辺をはじめ、府内の様々な地域において、パブリックスペースの創出やエリアマネジメントが推進されるなど、民間の力を活かしたまちづくりが進められています。
- ・また、世界の多くの都市では、まちなかを車中心から人中心へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場を創出するなど、「人中心のまちづくり」が進められています。
- ・今後のまちづくりにおいては、人中心の居心地がよく歩きたくなるまちなかの創出や、地域の価値・魅力向上に向け、より一層、民間の参画を促し、その力を最大限活かしたまちづくりを進める必要があります。

＜パブリックスペースの創出・活用の例＞



＜エリアマネジメント団体によるにぎわい創出活動の例＞



（出典）大阪エリアマネジメント活性化ガイドライン

I. 大阪都市圏からみた特徴・役割

⑧ 新型コロナ禍を契機とした変化

- ・新型コロナ禍を契機に、デジタル化の進展も相まって、テレワークの急速な普及とともに、自宅周辺での活動時間の増加等、人々の生活様式や働き方・暮らし方に対する意識・価値観が変化、多様化しています。
- ・今後のまちづくりにおいては、多様な働き方・暮らし方を選択できるまちづくりや、職住遊学の機能がバランス良く融合した空間形成、身近なみどりやオープンスペースの拡大、人中心のウォークアブルな空間の創出など、新型コロナ禍を契機に生じた変化に対応したまちづくりが求められています。

<都市空間に対する意識>

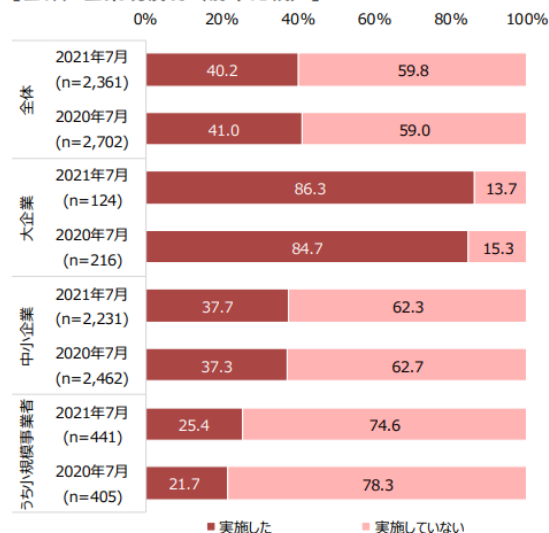
Q.都心や中心市街地など、人が集まるまちなかにおいて、どのような取組を充実すべきと思うか。

	R2年度調査		R3年度調査	
	N	%	N	%
公園、広場、テラスなどゆとりある屋外空間の充実	5924	46.0%	5937	44.6%
リアルタイムで混雑状況を把握できるアプリ等の充実	4292	33.3%	3607	27.1%
(屋内ではなく)屋外でのイベントの充実	2071	16.1%	1835	13.8%
屋外での飲食やテイクアウトが可能な店舗の充実	4559	35.4%	3986	30.0%
駐車場の整備など自動車利用環境の充実	3372	26.2%	3913	29.4%
自転車や徒歩で回遊できる空間の充実	4819	37.4%	5237	39.4%
この中にはない	2736	21.3%	3012	22.6%

出典：国土交通省 新型コロナ感染症の影響下における生活行動調査
(令和4年3月実施)

<府内テレワーク実施率>

【全体／企業規模別（前年比較）】



【出典：大阪府 | 新型コロナウイルス感染症の影響下における府内企業の実態調査- 府内企業の経営状況とデジタル化・新事業の取組み -】

2. めざすべき都市像

(1) まちづくりの目標

今後のまちづくりにおいては、人口減少・少子高齢化が進展していく中でも、都市間競争に打ち勝つ魅力あるまちづくりとともに、ポストコロナを見据え、大阪に住み・働き・訪れる人々のより多様化するニーズに対応したまちづくりを進める必要があります。

そのためには、これまで蓄積してきた都市ストックや多様な地域資源等を最大限活かすとともに、多様な主体の共創による「人中心のまちづくり」を進める必要があります。

大阪は、国内外から多様な人・モノ・情報が集積する圧倒的な都市魅力を備えた、新たな価値を創造し続ける都市として、世界中の人々から選択されるとともに、府内の様々な地域において、あらゆる人々が多様な働き方・暮らし方を選択できる都市をめざします。

また、安全で安心できるまちづくりはもとより、SDGsの達成とともに、万博を契機とした最先端テクノロジーの社会実装等による「いのち輝く未来社会」の実現や、カーボンニュートラルをはじめとしたグリーン社会の実現等を図りながら、都市ストックを次世代型に更新・進化させていきます。

以上を踏まえ、東西二極の一極として日本の成長エンジンの役割を果たす「副首都・大阪」の実現も視野に、今後の大阪におけるまちづくりの基本目標を右のように設定し、①～③に示す将来像の実現をめざします。

SDGsの推進

SDGsは、2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された2030年を年限とする国際目標であり、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現のため、17の目標と169のターゲットが定められています。

大阪は、万博の開催都市として、世界の先頭に立ってSDGsに貢献する「SDGs先進都市」をめざし、様々なステークホルダーと連携のもと取組を進めています。

本ブランドデザインに基づく取組についても、関係機関等と連携し、SDGsの観点を踏まえながら取組を進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【まちづくりの基本目標】

未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり

【将来像】

① 魅力的な国際都市として成長する大阪 「イノベーティブな大阪」

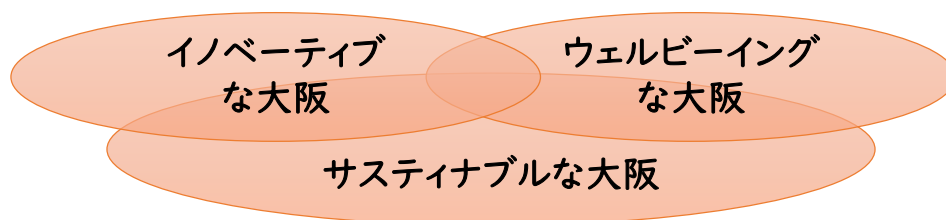
- ・スーパー・メガリージョンの西の核として、創造的な人材をはじめ国内外から多様な人・モノ・情報が集まり、さらにデジタル技術の活用もあいまって、スタートアップが育ち、イノベーションが生み出される都市
- ・金融をはじめ国際ビジネスや活力ある産業が集積するとともに、世界第一級のエンターテインメントを楽しめる国際的な都市
- ・魅力的なみどり・オープンスペースや水辺、美しい景観を備え、豊かな歴史・文化を身近に感じながら、働き、学び、遊び、暮らせる都市

② 健康長寿で誰もが幸せを実感しながら暮らせる大阪 「ウェルビーイングな大阪」

- ・デジタル技術を活かし、便利で豊かな暮らしを実現し、誰もが健康でいきいきと豊かに生活できるスマートな都市
- ・まち全体にユニバーサルデザインが浸透し、誰もが幸せに暮らし、多様な価値観を互いに認め合える都市
- ・海・川・山などの豊かな自然や農空間との触れ合いを楽しみながら暮らすことができる都市

③ 未来へつながる安全・安心な大阪 「サステイナブルな大阪」

- ・防災インフラの充実など、ハード・ソフト両面で高い災害対応力を備え、未来にわたり都市機能が確保される安全・安心でレジリエントな都市
- ・カーボンニュートラルをはじめ、脱炭素社会や循環型社会の実現に向け、先進的な取組が展開される都市
- ・ウォークアブルな空間とともに、多様な交通モードや利便性の高い新しい交通システムが充実し、誰もが快適に移動できる都市



【まちづくり推進の視点】

まちづくりの基本目標と将来像の実現に向け、以下の視点を重視し、まちづくりを推進します。

○多様性の確保

誰もが自分らしく活動でき、多様なニーズに対応できるまちづくり

○共創

公民連携、広域連携、様々な分野の連携によるまちづくり

○資源の活用

発達した都市インフラや都市ストック、みどり・オープンスペースをはじめとしたうるおいある空間、豊かな自然環境や歴史・文化等の地域資源、多様な人材・コミュニティなど、大阪が持つ強みや多様なストック・ポテンシャルを活かしたまちづくり

2. めざすべき都市像

将来のまちのイメージ

【国際的なビジネス・エンターテインメント機能など、多様な都市機能が集積し、国内外から多様な人々が集まる都心部】

- ・比類なき魅力を備えたみどりが新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す源となり、世界の人々を惹きつけています。
- ・世界からの人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで、新たな国際競争力を獲得し、日本の成長エンジンとして、世界をリードするイノベーションの拠点となっています。



(提供：うめきた2期開発事業者) 2022年5月時点のイメージパースであり、今後変更となる可能性があります。

【業務機能をはじめ、商業や交流機能などの高度な都市機能が集積し、広域的な拠点機能を担っている主要駅周辺】



- ・業務機能をはじめとした高度な都市機能が集積し、外国人ビジネスマンを含めた多様な人々が交流するイノベーション創出の拠点となっています。
- ・みどりあふれる人中心の空間が形成されるとともに、自動運転技術を活用したモビリティやパーソナルモビリティなど多様な交通モードを利用し、快適な移動が楽しめます。

【暮らしを支える都市機能が集積し、地域の交通ネットワークの核となっている人中心の空間を備えた駅周辺】

- ・駅を中心に、すべての人にとって利用しやすい公共交通システムが構築されています。
- ・居住地の近くに様々な都市機能が配置され、充実した暮らし方が実現しています。
- ・道路空間は人中心の使い方により、身近に利用できる公共交通とともに、居心地がよく歩きたくなる空間が整備されています。



【職・住・遊が融合し、緑豊かな環境で、ゆとりある暮らしができるスマートな郊外住宅地】

- ・郊外の住宅地では、まちの更新にあわせて、商業や子育て機能の導入に加え、コワーキングスペースや交流スペースが導入されることにより、活性化が図られています。
- ・エネルギーの効率利用や省エネルギー等の取組が行われており、社会全体のエネルギーの最適化が図られています。
- ・身近にみどりを感じながら、パーソナルモビリティ等によりすべての人が健康的に活動しやすい環境にあり、ゆとりある生活を過ごしています。



【海辺ならではのアクティビティや美しい景観に触れながら、ワーケーションの拠点としても人気を博しているベイエリア】



- ・ベイエリアでは、大阪湾の特徴を活かした様々なマリナクティビティを楽しむことができます。
- ・世界各国からの観光客はもちろん、地域住民も、夕日を眺めながらカフェで時間を過ごしたり、マリンスポーツを楽しむなど、多くの人で、にぎわっています。

【最先端テクノロジーの導入により、アクセス性やサービス機能が充実し、豊かな自然や農空間との触れ合いを楽しむことができる周辺山系ゾーン】

- ・農空間は都市にあるべきものとして、農産物の生産に加え、人々の癒しの風景となっています。
- ・様々な移動手段により、山麓ゾーンへのアクセスが向上しています。
- ・最先端テクノロジーによる一部自動化された作業や運搬技術などにより、高齢者など誰もが、継続的に農業を営むことができています。
- ・農業体験、ハイキング、グランピングや、ワーケーションやマルチハビテーションなどで、多くの人が訪れ、地域が活性化しています。



2. めざすべき都市像

(2) まちづくりを支える都市構造

1) 大阪を取り巻く都市構造

① 広域的な都市構造

大阪都心部を中心として、西日本国土軸・太平洋新国土軸や大阪湾環状軸・関西大環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラ等で構成される広域的な都市構造を有しています。

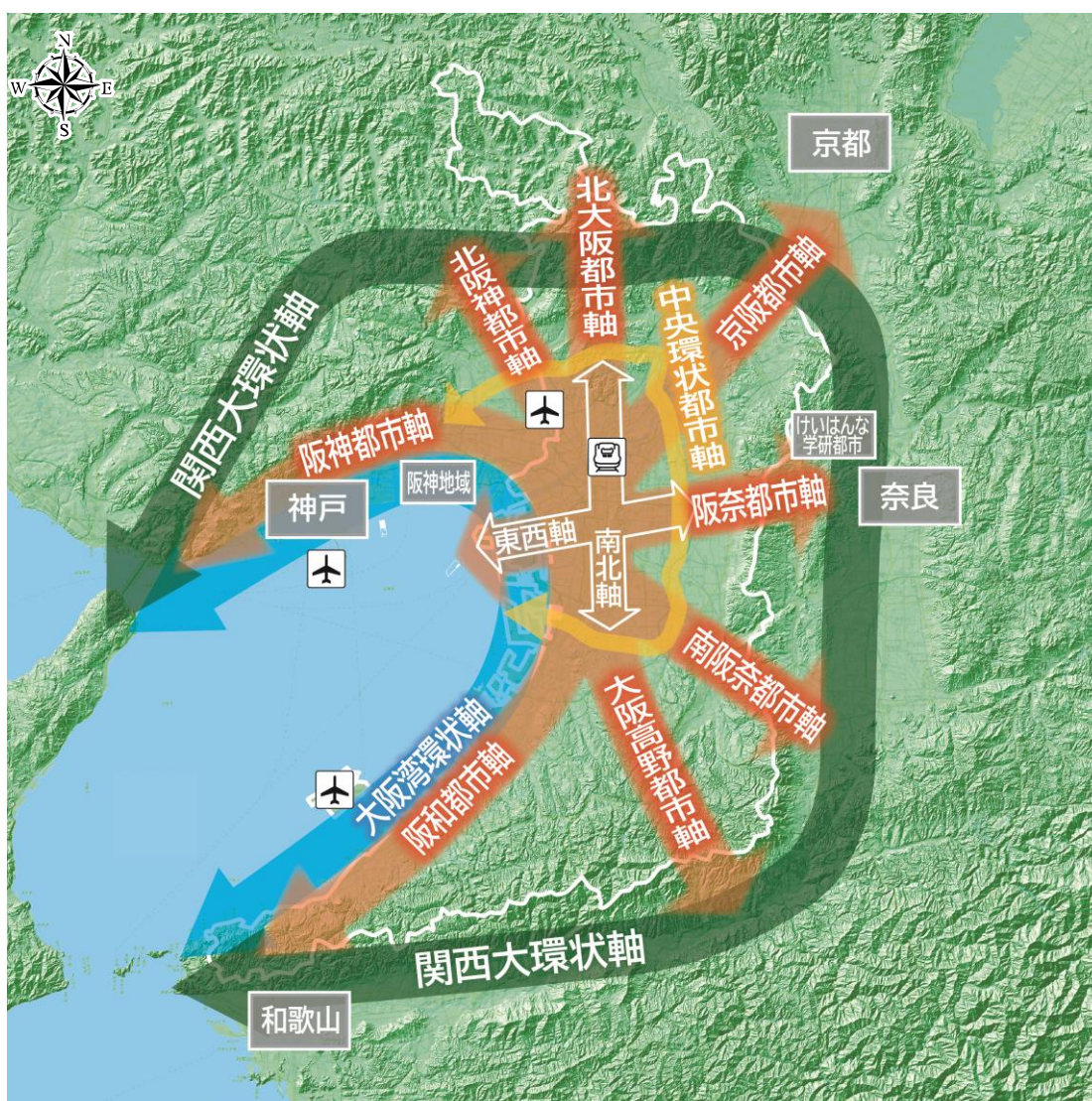


出典：地理院地図を加工して作成

② 府域の都市軸

大阪都心部から放射・環状方向に発達した鉄道や幹線道路の交通ネットワークを中心に、多様な都市機能が集積し、都市軸を形成しています。

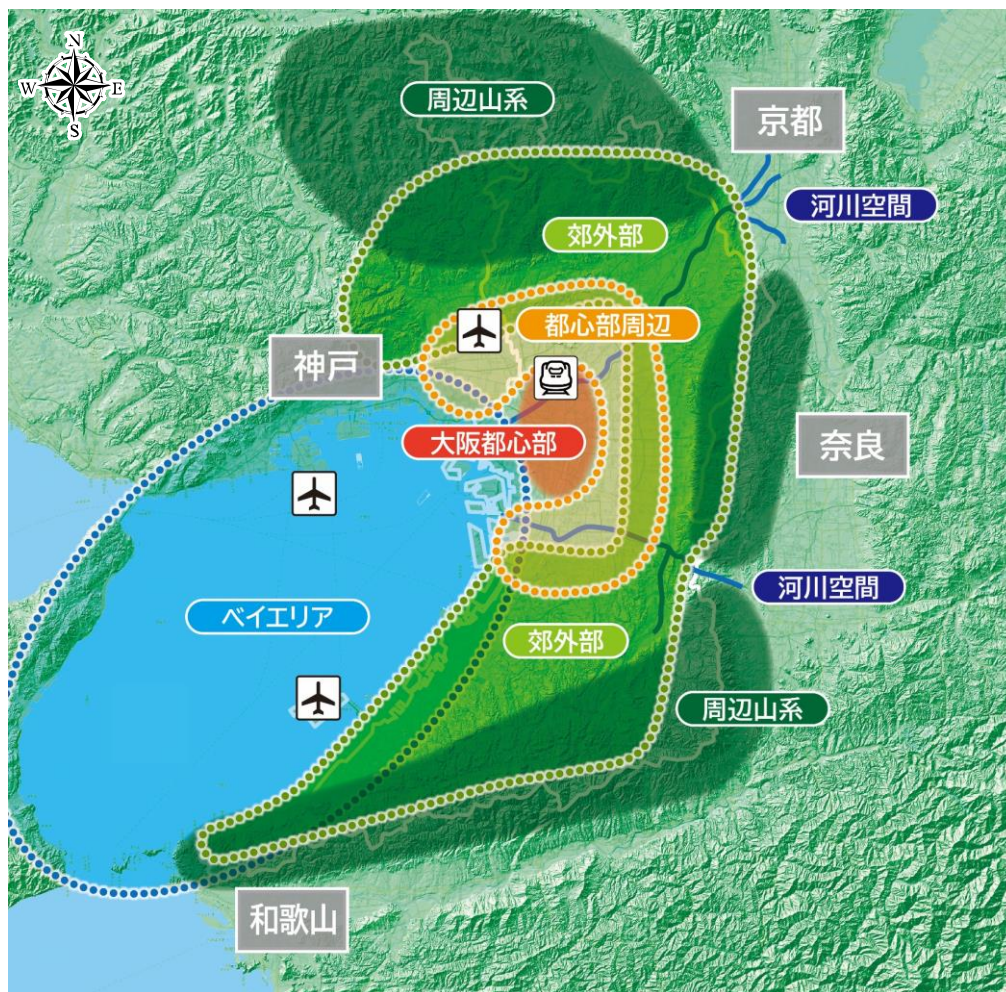
主な都市軸として、都心部を貫く東西・南北の都市軸や、都心部から放射方向に広がる各都市軸に加え、人口や都市機能が集積する中央環状都市軸を位置付けています。



出典：地理院地図を加工して作成

③ 府域のゾーニング

土地利用や人口・都市機能の集積状況等を踏まえ、以下のようにゾーニングを設定します。



出典：地理院地図を加工して作成

大阪都心部

- ・概ねJR大阪環状線に囲まれたエリア及び新大阪駅周辺に至る地域。
- ・大阪都市圏の中心として、高度なビジネス機能や多彩なエンターテインメント機能、魅力的な商業や居住機能などの多様な都市機能が集積した、世界で存在感を発揮するゾーンの形成が求められています。

都心部周辺

- ・概ね大阪都心部の境界から、大阪中央環状線を越えて広がるエリアで、大阪市中心部から概ね15km圏に位置。
- ・多様な都市機能や地域資源が集積するメリットを活かし、多様な都市居住ニーズに対応するとともに、リニア・北陸新幹線開業のインパクトも見据え、都心部と一体となって大阪の成長・発展をけん引するゾーンの形成が求められています。

郊外部

- ・概ね大阪中央環状線から、周辺山系に至るまでの地域。
- ・都心部や周辺の主要都市へのアクセス性が高く、豊かな自然環境等を有するという大阪ならではの郊外のメリットを活かし、多様な働き方・暮らし方を実現できるゾーンの形成が求められています。

ベイエリア

- ・大阪市から岬町に至る臨海部・沿岸部や地先水面など。
- ・世界・アジアとつながるゾーンとして、国際競争力の強化とともに、多様な地域資源を活かした広域連携の取組により、エリア全体の魅力向上を図っていくことが求められています。

河川空間

- ・淀川水系や大和川水系をはじめとした河川・河川敷やその沿川を対象としたゾーン。
- ・海と山麓、沿川の府県や市町村をつなぐゾーンとして、水辺空間をはじめ、魅力ある地域資源を活かした広域連携の取組により、エリア全体の魅力向上を図っていくことが求められています。

周辺山系

- ・北摂山系、生駒山系、金剛山系、和泉葛城山系や、麓の農空間等も含むゾーン。
- ・都心部との近接性を活かし、多様な歴史・文化資源や自然環境を活かした広域連携の取組により、多彩なコンテンツを楽しめるゾーンの形成が求められています。

2. めざすべき都市像

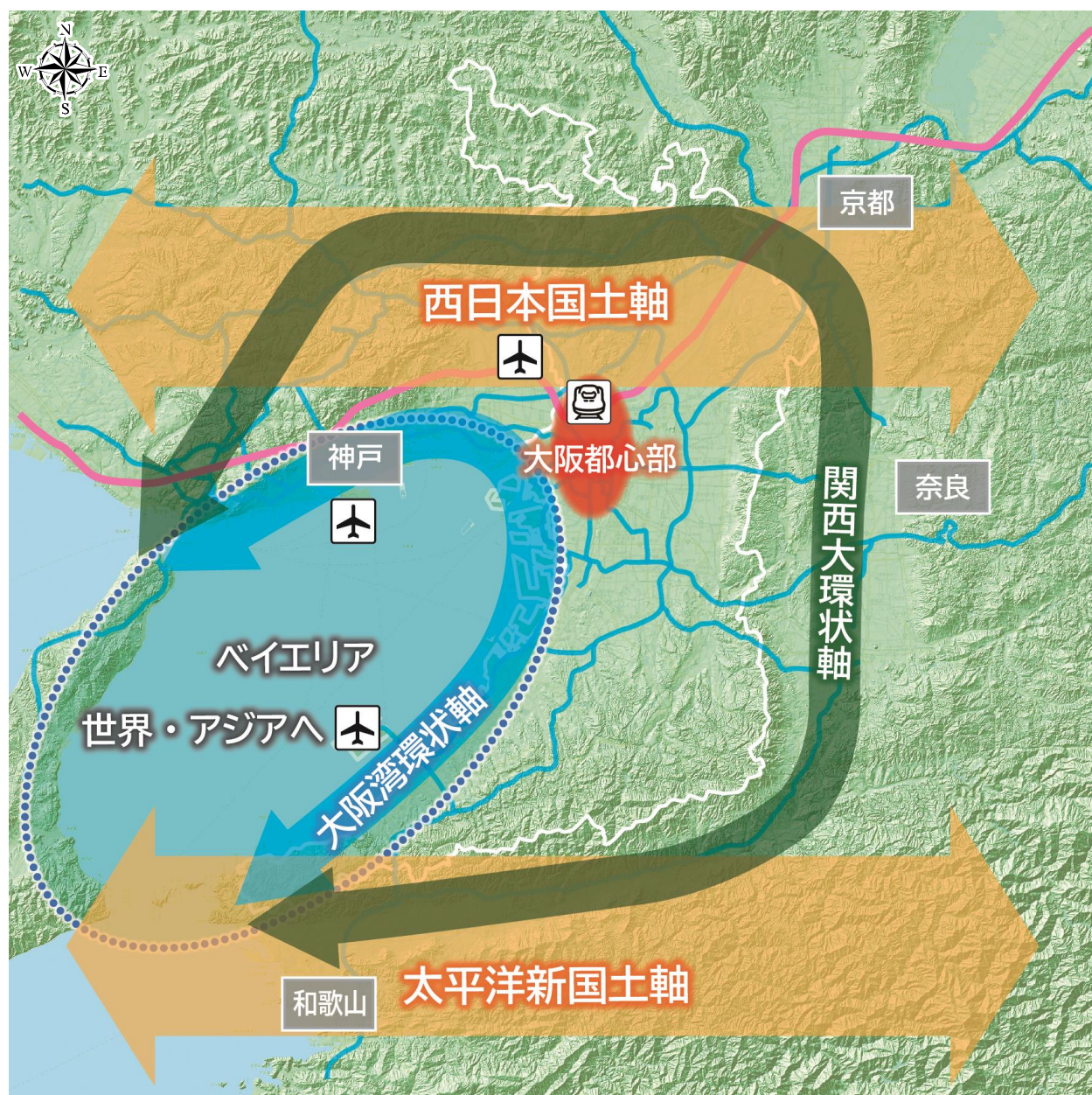
2) めざすべき都市構造

国土軸をはじめとした広域的な都市構造や放射・環状の交通ネットワークにより形成される都市軸を活かし、都心部における拠点や、府内の様々な地域での多様な都市機能を備えた特色ある拠点、魅力ある生活圏の形成等により、都市活力を維持・向上し、快適で豊かな暮らしを実現できる大阪をめざします。

◆ 広域レベル：広域的な都市構造を活かした都市圏の形成

国土軸や環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラなど、広域的な都市構造を活かし、世界・アジア並びに全国や都市圏内外での人・モノ・情報の交流・連携を強化し、スーパー・メガリージョンの西の核、世界のゲートウェイに相応しい都市圏を形成します。

- 高次都市機能・都市基盤が充実した都心部、及び世界・アジアとつながるベイエリアにおいて、国際競争力を備えたエリアを形成します。
- 大阪の経済成長を促す産業拠点と新たな産業用地等の創出を図る産業集積エリアを形成します。



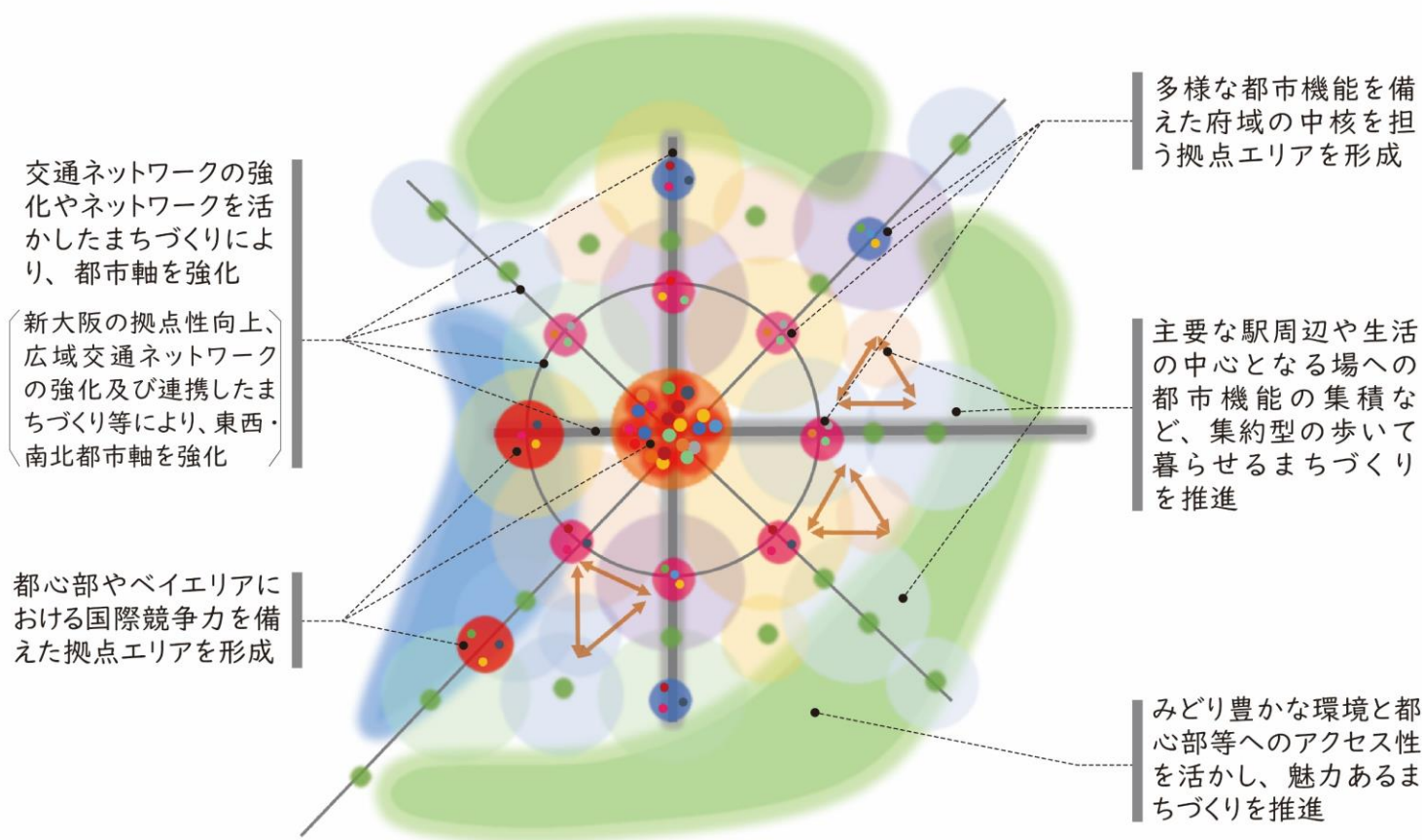
出典：地理院地図を加工して作成

◆ 府域レベル：マルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成

大阪全体の成長・発展のためには、都心部等での拠点形成とともに、その拠点開発効果を府域へ波及させていくことや、新型コロナ禍を契機としたライフスタイルの多様化を踏まえ、府域の様々な地域において、多様な働き方・暮らし方を選択できるまちを実現することが求められています。

このため、都心部やベイエリアにおける国際競争力を備えたエリア形成とともに、放射・環状の交通ネットワーク上を中心として、多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成し、相互に連携する都市構造をめざします。

- 交通ネットワークの強化やネットワークを活かしたまちづくりにより、都市軸の強化を図ります。特に、西日本国土軸と南北都市軸との交点となる新大阪の拠点性の向上とともに、広域的な交通ネットワークの強化及び連携したまちづくり等により、東西・南北都市軸のさらなる強化を図ります。
- 交通ネットワークの高い結節性を有し、大阪の成長・発展をけん引・支えるまちづくりが期待される地域等を中心に、多様な都市機能を備えた府域の中核を担う拠点エリアを形成します。
- 主要な駅周辺や生活の中心となる場所では、商業、医療、福祉、子育て支援をはじめ、多様なライフスタイルを支える都市機能の集積を図ります。さらに、それらの徒歩圏に居住機能等を誘導することで、集約型の歩いて暮らせるまちを実現します。
- 駅周辺等から離れた地域では、みどり豊かな環境を保全・活用し、自然との近接性と都心部等へのアクセス性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。



3. まちづくりの戦略と取組の方向性

めざすべき都市像の実現に向け、広域的な視点から取り組むべき、5つのまちづくりの戦略とその取組の方向性を示し、民間の活力を最大限に引き出しながら、具体的な取組を多様な主体が一体となって進めます。

都心部や府内各地域において、大阪の成長・発展をけん引する拠点エリアを形成する（「戦略1」）とともに、大阪ならではの魅力を活かした暮らしやすさNo.1都市の実現（「戦略2」）、海・川・山や地域資源を活かした地域活性化（「戦略3」）など、特色のあるまちづくりを進めます。

また、これらのまちづくりを支える基盤として、人・モノ・情報の交流を促進する都市インフラ等の充実（「戦略4」）、安全・安心でグリーンな社会の実現に向けた取組を進めます（「戦略5」）。

【5つのまちづくりの戦略と取組の方向性】



戦略01 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

- 1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア
- 2) 大阪の中核を担う拠点エリア
- 3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア



戦略02 大阪ならではの魅力を活かし暮らしやすさNo.1都市を実現

- 1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造
- 2) 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編
- 3) 豊かな自然を活かしたまちづくり



戦略03 海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化

- 1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり
- 2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり
- 3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり
- 4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成



戦略04 人・モノ・情報の交流を促進

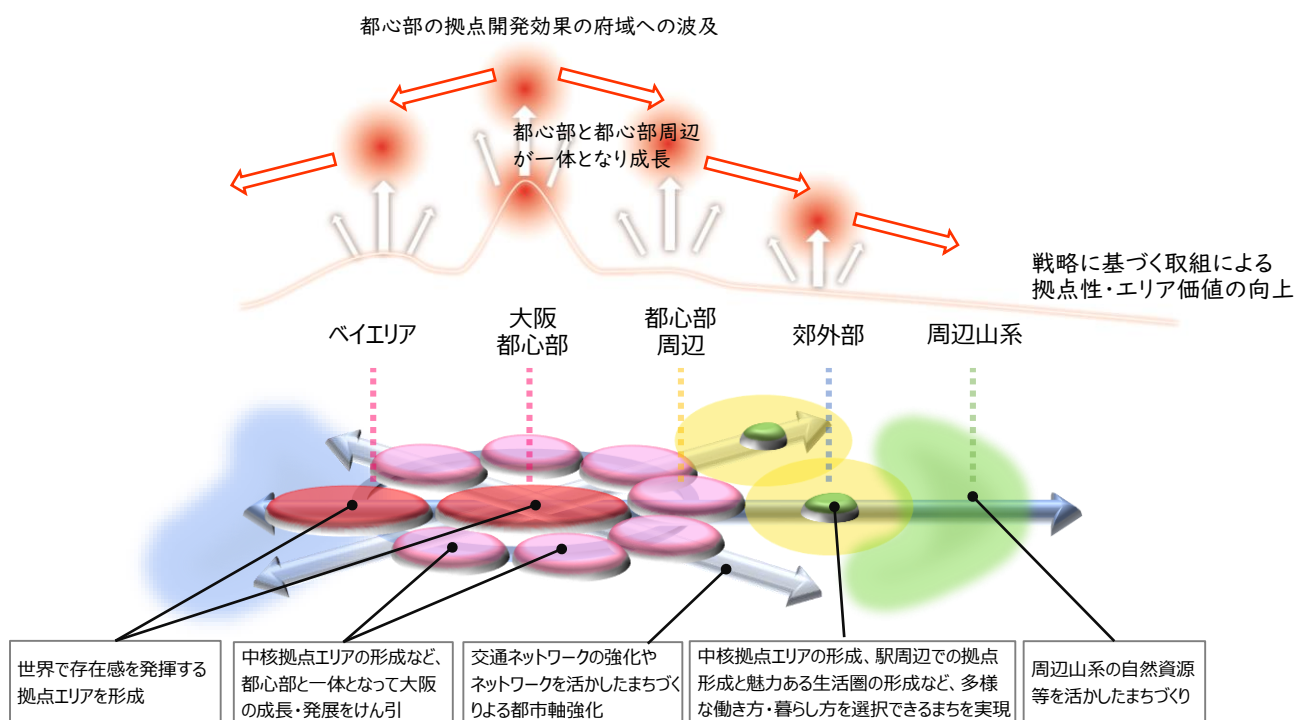
- 1) 交通インフラと連携したまちづくり
- 2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり



戦略05 安全・安心でグリーンな社会を実現

- 1) 安全・安心なまちづくり
- 2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり

【戦略のねらいのイメージ】

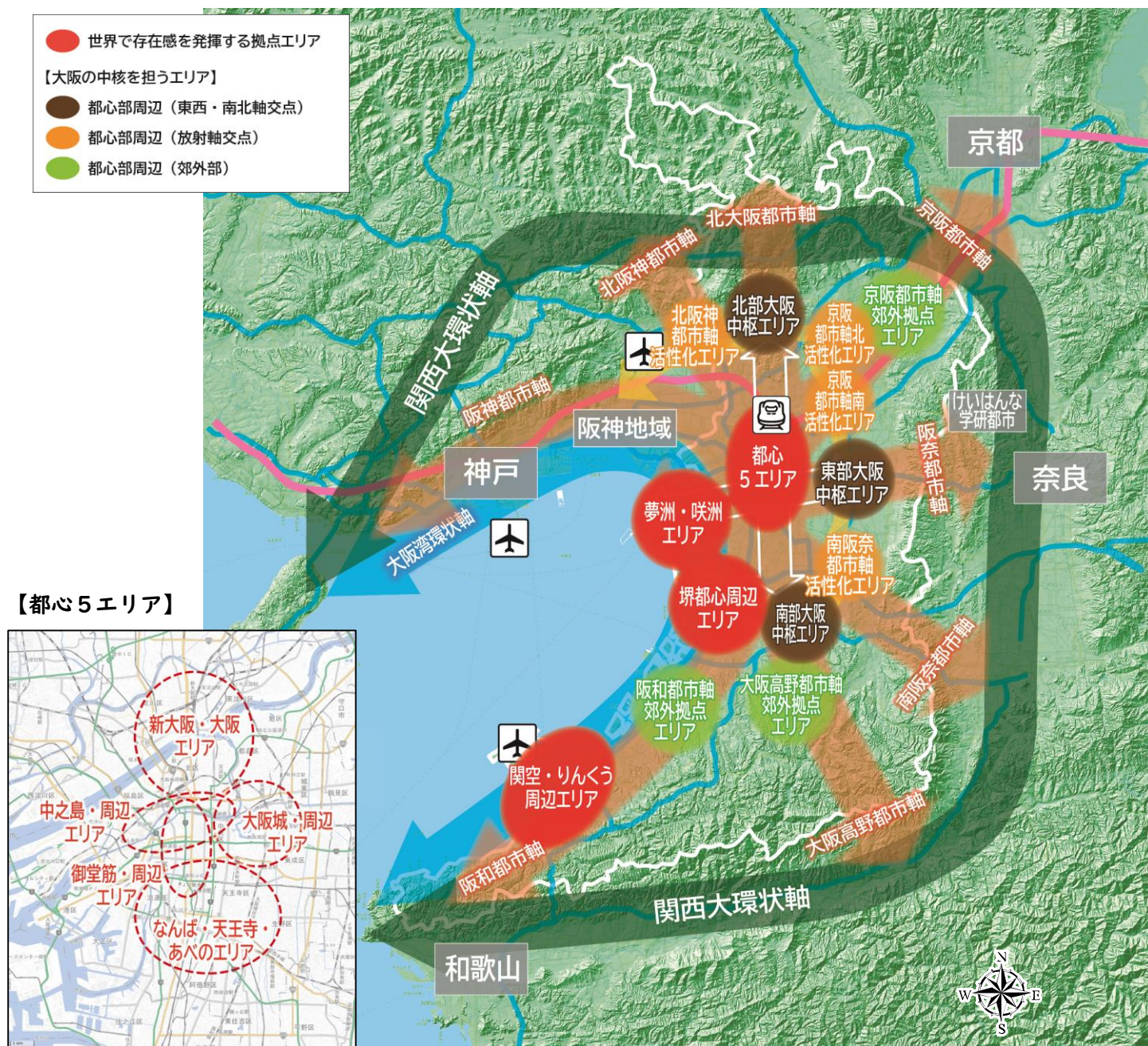


成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

広域的な都市構造、府域の都市軸・ゾーニング、及び今後のまちづくりの動向等を踏まえ、拠点性を発揮すべき一体的なエリアを示し、公民連携のもと、新たな民間投資の誘発とともに、多様な主体の参画や広域連携の取組により、エリア価値を高め、大阪・関西の成長・発展につなげます。

その拠点性を発揮するエリアとして、まちづくりの観点から「世界で存在感を発揮する拠点エリア」及び「大阪の中核を担う拠点エリア」を、また、経済成長を促す観点から「産業拠点・集積エリア」を示すとともに、そのエリアにおける取組の方向性について示します。
(※産業拠点・集積エリアについては、P.39に記載)

【世界で存在感を発揮する拠点エリア及び大阪の中核を担う拠点エリア】



出典：地理院地図を加工して作成

区分	拠点エリア
世界で存在感を発揮する拠点エリア	「新大阪・大阪エリア」、「大阪城・周辺エリア」、「なんば・天王寺・あべのエリア」、「御堂筋・周辺エリア」、「中之島・周辺エリア」、「夢洲・咲洲エリア」、「堺都心周辺エリア」、「関空・りんくう周辺エリア」
大阪の中核を担う拠点エリア	○「北部大阪 中枢エリア」、「東部大阪 中枢エリア」、「南部大阪 中枢エリア」 ○「北阪神都市軸 活性化エリア」、「京阪都市軸北 活性化エリア」、「京阪都市軸南 活性化エリア」、「南阪奈都市軸 活性化エリア」 ○「京阪都市軸 郊外拠点エリア」、「大阪高野都市軸 郊外拠点エリア」、「阪和都市軸 郊外拠点エリア」

成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア

広域的な鉄道や高速道路などの都市基盤が充実し、高次都市機能が集積している大阪の「都心部」や、空港、港湾などから世界・アジアとつながる「ベイエリア」において、国際的な業務や観光、交流機能等を備えた、国内外から多様な人々を呼び込む、世界で存在感を発揮する国際競争力を備えた拠点エリアを形成します。

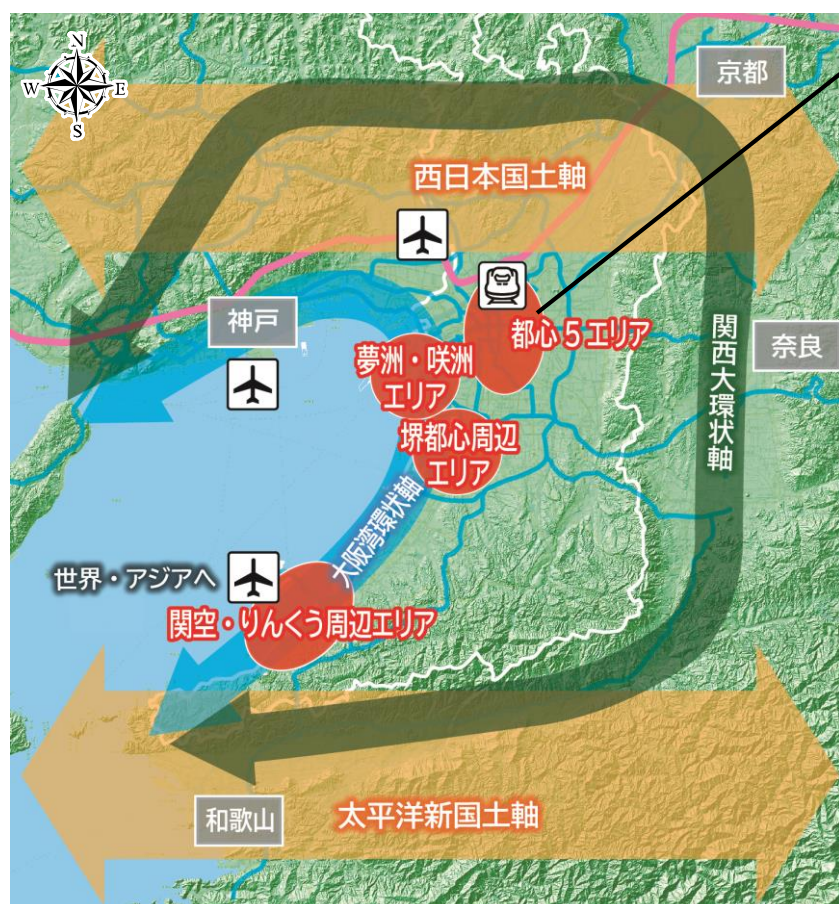
「都心部」又は「ベイエリア」の核となるエリアとして、これまで、グランドデザイン・大阪の象徴的なエリアとして拠点エリアの形成を進めてきた大阪市内の「都心5エリア」及び「夢洲・咲洲エリア」については、引き続き拠点性を高めていくエリアとして設定するとともに、「堺都心周辺エリア」及び「関空・りんくう周辺エリア」を新たに設定します。

なお、エリアのそれぞれの取組を進めつつ、進捗状況に応じて、拠点エリアの拡大や追加等を行います。

【拠点エリア】

(都心5エリア)

- ・ 新大阪・大阪エリア
- ・ 大阪城・周辺エリア
- ・ なんば・天王寺・あべのエリア
- ・ 御堂筋・周辺エリア
- ・ 中之島・周辺エリア
- ・ 夢洲・咲洲エリア
- ・ 堺都心周辺エリア
- ・ 関空・りんくう周辺エリア



出典：地理院地図を加工して作成

大阪都心部の5つのエリア

【都心5エリア】



出典：地理院地図を加工して作成

新大阪・大阪エリア <大阪・関西の中枢、スーパー・メガリージョンの西の拠点>

世界の大都市としての中枢を担い、人やモノ、情報を集め波及させる業務・商業・文化などの高次都市機能のさらなる集積や、国内外から多くの人々を迎え入れる関西のゲートウェイとして魅力的な都市空間の形成を図るとともに、リニア中央新幹線・北陸新幹線などの将来の基盤整備を見据えた都市圏レベルと国土レベルのハブ機能の活用や、なにわ筋線・淀川左岸線などのインフラ整備による広域交通利便性のさらなる向上を推進し、世界につながる大阪・関西の中枢、スーパー・メガリージョンの西の拠点の形成をめざします。

- うめきた周辺における国内外から人を迎え入れる比類なき魅力を備えた「みどり」空間の形成
 - ・高次都市機能の更なる集積による国際的な中枢拠点の形成
 - ・「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の形成、U-FINO（うめきた未来イノベーション機構）などによるイノベーション創出の推進
 - ・スーパシティ制度の活用によるうめきた2期での先端的サービスの実装
 - ・うめきた周辺（中津、大淀、茶屋町、御堂筋など）へのまちづくりの波及による回遊性の向上
- 新大阪駅周辺における世界有数の広域交通ターミナルのまちづくり
 - ・新大阪における都市軸と国土軸を繋ぐにふさわしい次世代型のマルチモードな広域交通結節施設の実現（人の空間の拡充、高速バス拠点化、新しい交通モードの導入など）
 - ・新幹線・高速道路の国土レベルのネットワークを活かした交流促進機能（大規模交流施設）の導入
 - ・駅とまちが一体となって都市の機能をつなぐ人の空間を重視した都市空間の形成
 - ・エリアのポテンシャルを活かした都市の価値を高める民間都市開発の促進
 - ・新大阪駅エリアを中心に十三駅エリア・淡路駅エリアと一体となったまちづくりの促進
 - ・淀川河川敷とその周辺でのにぎわい交流空間の形成
- 民間などの創意工夫を活かした質の高い公共空間の創出
 - ・梅田地区における公民連携によるエリアマネジメントの推進
- なにわ筋連絡線、新大阪連絡線の整備による新大阪・大阪間の連携強化
- 新大阪・大阪エリアの連携による周辺エリアへのまちづくりの効果の拡大



うめきた2期地区開発のイメージ
提供：うめきた2期開発事業者
2022年5月時点のイメージパースであり、今後変更となる可能性があります



新大阪駅エリア計画 魅力ある低層部のイメージ
出典：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域
まちづくり方針2022



十三緊急船着き場整備イメージ
出典：淀川河川敷十三エリア魅力向上協議会資料

大阪城・周辺エリア <観光・文化・学術・産業の融合エリア>

大阪のシンボルであり、国際観光拠点でもあるみどり豊かな大阪城公園を中心に、にぎわいの創出や回遊性の向上を図るとともに、大阪公立大学を先導役とした多世代・多様な人が集い交流する国際色あるまちづくりや、駅周辺における魅力ある複合的な国際拠点の形成を推進し、観光・文化・学術・産業の融合エリアの形成をめざします。

- 大阪城公園の魅力を活かしたまちづくり(世界的観光拠点の形成)
 - ・PMO (Park Management Organization) によるにぎわいの創出
 - ・周辺開発との連携によるみどり・水のネットワークを活かしたにぎわいの連続
- 難波宮跡の歴史魅力の向上
 - ・Park-PFI (公募設置管理制度) など民間活力を活かした公園整備(北ブロック)や管理運営、民間開発に伴う史跡区域の保全・整備など、難波宮跡全体でのにぎわい創出
- 大阪城東部地区における大阪公立大学を先導役とした多世代・多様な人が集い交流する国際色あるまちづくり
 - ・大阪公立大学森之宮キャンパスを中心とした産学官民連携機能の集積による新たなイノベーションの創出
 - ・旧府立成人病センター跡地などの活用による多様な世代が健康で安全に住み続けられる居住環境の実現
 - ・鉄道駅や大阪城公園とつなぐ利便性・快適性・安全性に優れた水辺空間の実現
 - ・スマートモビリティ等を活用した交通アクセスやポテンシャルの向上
 - ・公共施設の上部利用による土地の有効活用
- 天満橋、京橋及び大阪ビジネスパーク駅周辺における魅力ある複合的な国際拠点形成
 - ・複合的な都市機能の集積、業務・商業・観光機能の強化
 - ・関西広域の観光資源をつなぐハブ拠点の形成



大阪公立大学森之宮キャンパスのイメージ
出典: 公立大学法人大阪HP

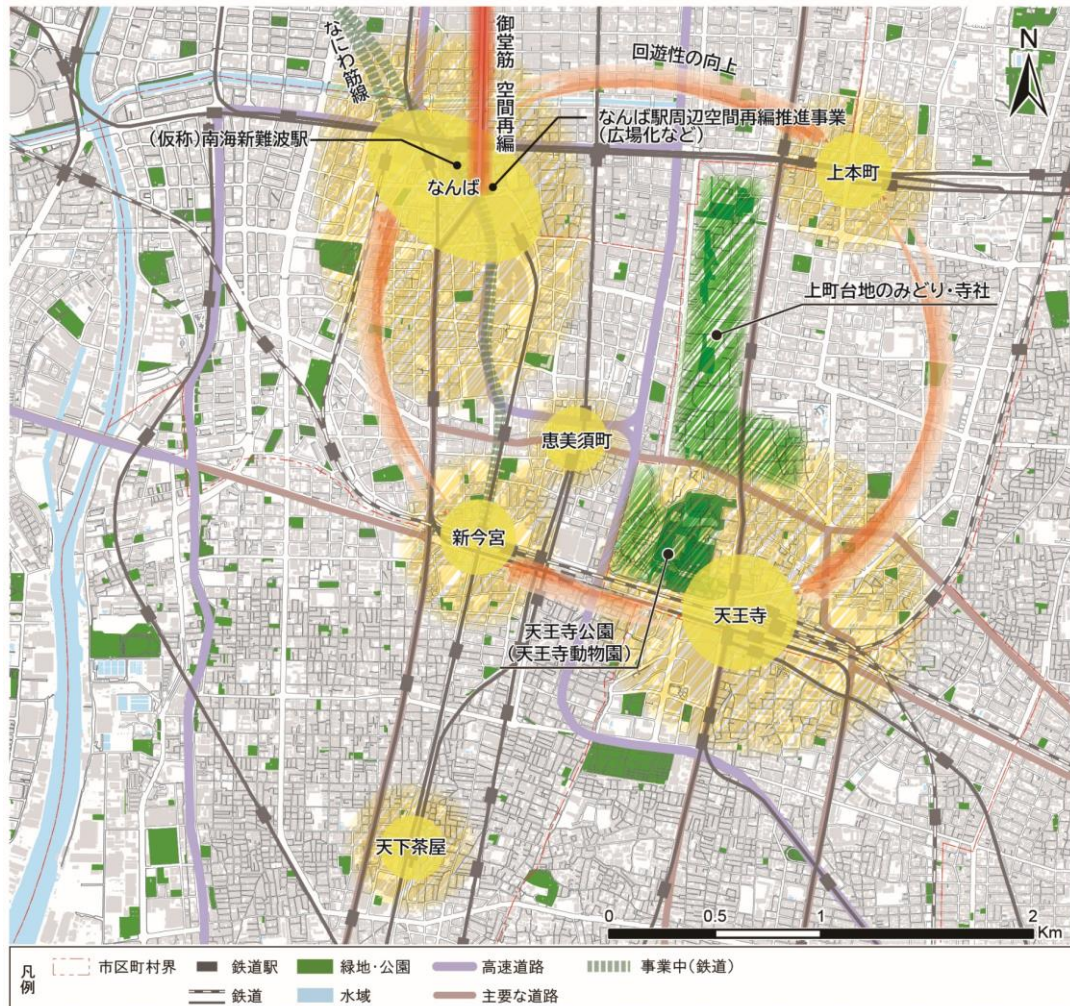


難波宮跡公園整備運営(北部ブロック)、
管理運営(南部ブロック)イメージ
提供: 難波宮跡公園「みんなのにわ」プロジェクト

なんば・天王寺・あべのエリア <大阪ならではの魅力を発信する文化観光拠点>

大阪の南の玄関口として、関西国際空港や兵庫・奈良・和歌山に加え、新大阪・京都方面など様々な地域に直結する主要鉄道のハブ機能や、食文化やエンターテインメントをはじめ歴史・文化・芸能など様々な観光資源を活かしながら、来街者が居心地よく過ごし地域間を快適に回遊できるまちづくりを進め、多様な人々が交流し・働き・住むことができるまちづくりを推進し、大阪ならではの魅力を発信する文化観光拠点エリアの形成をめざします。

- 歩いて楽しい滞在空間の創出と回遊性の向上（大阪のおもてなし玄関口）
 - ・御堂筋、なんば駅周辺の空間再編
 - ・にぎわい空間の拡充（鉄道高架下の有効利用、公園の利活用など）
 - ・都心のみどり・歴史ゾーンの活用（大阪城・周辺エリアへの連続）
- なにわ筋線整備のインパクトを活かした、（仮称）南海新難波駅やJR・南海難波駅周辺のまちづくりの促進
- 上本町など、ターミナル駅の強化と周辺への魅力拡大
- 動物園や寺社、商店街・市場など大阪ならではの多様な観光資源の活用
- 国際集客エリアの都市格を高める多様な都市機能の集積
- 持続的なビジネス環境の創出
 - ・外国人起業家の育成支援、起業支援など
- 交通機能のさらなる強化
 - ・なにわ筋線整備による新駅整備やそれに伴う湊町バスターミナルなどとの連携強化
 - ・新たなモビリティなどの活用による回遊性の向上
- 駅周辺の都市機能の強化とにぎわい創出などによる魅力向上



なんば駅周辺の空間再編イメージ
出典：なんば駅周辺における
空間再編推進事業整備プラン

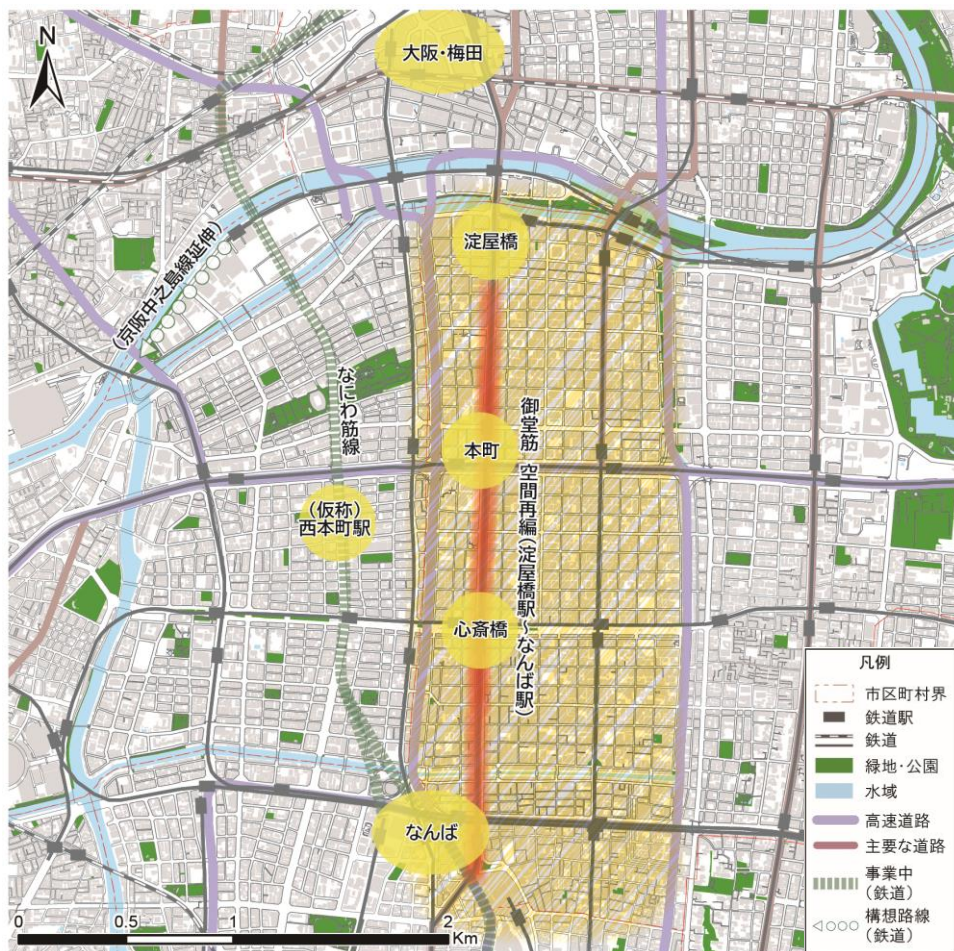


高架下のにぎわい創出のイメージ
出典：新今宮駅北側まちづくりビジョン

御堂筋・周辺エリア <高質で風格ある大阪のシンボルストリート>

大阪のシンボルストリートである御堂筋を中心に、業務機能の高度化やビジネスサポート機能などの導入による国際レベルのビジネス地区の形成や質の高いにぎわい機能の導入による、歩いて楽しい空間形成を図るとともに、御堂筋を人中心のストリートへ空間再編することにより、人・モノ・資金・企業・情報といった都市資源を呼び込み、交流の促進、新たな魅力や価値の創出や御堂筋のにぎわいを周辺へ拡充し、高質で風格のある拠点エリアの形成をめざします。

- 世界的ブランドストリート
 - ・高規格業務機能やイノベーション機能と上質なにぎわいが調和した空間形成
 - ・デザインガイドラインによる風格あるまちなみへの誘導
 - ・魅力的な夜間景観の創出
- 人中心のストリートへの空間再編
 - ・側道歩行者空間化からみどり豊かなフルモール化へ
 - ・パーソナルモビリティなどの新たな移動ツールと歩行者との共存
- 公民連携によるまちのマネジメント
 - ・風格あるまちなみの継承・創造と道路空間の利活用によるにぎわい・ビジネスチャンスの創出
 - ・面的広がりを持ったエネルギーマネジメントによる地域全体のエネルギーの効率化やBCDの構築
- 御堂筋周辺へのにぎわいの拡充
 - ・近代建築物の保全・活用
 - ・船場地区におけるにぎわいづくり
 - ・なにわ筋線の開業を契機とした周辺開発の促進



フルモール化イメージ
出典：御堂筋未来ビジョン



まちなみイメージ
出典：御堂筋デザインガイドライン

中之島・周辺エリア <水・みどり・光を活かした水都大阪のシンボル>

これまでの業務・文化・MICE機能の集積に加え、大阪中之島美術館や未来医療国際拠点の整備を核に、なにわ筋線の開業を契機とした未利用地の土地利用転換を促進し、これらが連携・調和し相乗効果を発揮するまちづくりを進め、国際的な業務・文化・学術・交流拠点の形成を図るとともに、風格ある歴史的建築物や文化施設の集積や堂島川と土佐堀川に挟まれた水辺の魅力を最大限に活用し、水・みどり・光を活かした水都大阪のシンボルとなる拠点エリアの形成をめざします。

○ 国際的な業務・文化・学術・交流拠点の形成

- ・なにわ筋線（仮称）中之島駅の開業を契機とした、中之島4・5丁目をはじめとした周辺土地利用や都市開発の促進
- ・会議施設や宿泊施設等が立地しているエリアの特性を活かした都市型MICE機能の強化
- ・未来医療国際拠点における医療機関、関連企業、支援機関等の集積並びに未来医療の産業化を図る連携・交流
- ・大阪中之島美術館やこども本の森中之島などを活かした文化・芸術の情報発信
- ・産学官の連携によるエリアマネジメント

○ 歴史的建造物や水とみどりと光を活かした水都大阪のシンボルとなる拠点形成

- ・公民連携による親水空間の整備・運営や舟運のさらなる活性化によるにぎわい創出
- ・歴史的建築物や阪神高速道路橋脚などの夜間ライトアップ
- ・中之島通の歩行者空間整備による中之島東部エリアのにぎわい形成と活性化の促進
- ・中央緑道・歩行者専用道などの整備による歩行者ネットワークの充実・拡充

○ スマートアイランドの実現

- ・新たなモビリティによる快適な移動
- ・エネルギーの面的利用や災害に強い安全・安心なBCDの構築

○ 都心と臨海部の結節拠点の形成

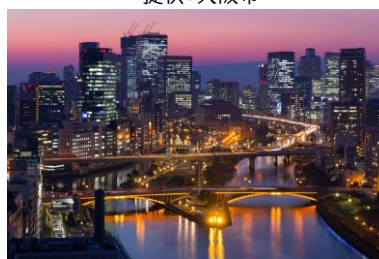
- ・京阪中之島線の延伸による鉄道アクセスの強化
- ・中之島GATEにおける水辺のにぎわい創出などによる川と海の結節点機能の強化



未来医療国際拠点のイメージパース
提供：中之島4丁目用地における
未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者
2021年5月時点のイメージパースであり、
今後変更の可能性があります



中之島通の歩行者空間整備
提供：大阪市



中之島公園
出典：水都大阪コンソーシアムHP

夢洲・咲洲エリア <国際観光・国際物流・国際交流拠点>

2025年に夢洲で開催される大阪・関西万博のインパクトを活かした、国際観光拠点の形成や、咲洲、舞洲、天保山・築港、此花西部、鶴浜などとの連携強化により臨海部全体の魅力向上を図るとともに、都心部との鉄道や道路、舟運などの多彩なアクセスを実現することにより、都心部と臨海部が両輪となって大阪の成長をけん引する国際観光・国際物流・国際交流及び研究開発拠点エリアの形成をめざします。

- 国際観光拠点の形成
 - ・世界水準のMICE施設を含む統合型リゾート(IR)の開業
 - ・クルーズ客船の母港化(天保山地区)による観光・交流機能の強化
 - ・万博のレガシーを継承した夢洲2期まちづくり
 - ・ゆとりある滞在時間を過ごせる上質なリゾート空間の創出
- 大阪港における国際コンテナ戦略港湾としての機能強化
 - ・外貿貨物の増加や船舶の大型化への対応
 - ・AI等の活用によるコンテナターミナルの効率化・最適化
- 人・モノ・情報の交流拠点の形成
 - ・アジア交易・交流の拡大に資するビジネス交流拠点の強化
 - ・産学官連携によるイノベーション拠点の形成
- スマートなまちづくり
 - ・環境・新エネルギー・健康・医療などの研究開発機能の集積
 - ・最先端技術の実証(実験)
 - ・スーパーシティ制度の活用による先端的サービスの実装
- 交通アクセスの強化・利便性の向上による周辺臨海部・都心部との連携強化
 - ・鉄道延伸(中央線延伸・北ルート)や道路整備、新たな交通システムの導入
 - ・舟運などを活用した水上アクセスの形成



2025年日本国際博覧会会場の鳥瞰図イメージ
提供:2025年日本国際博覧会協会



大阪IRイメージパース全景

出典:区域整備計画(概要版)

イメージパースは現時点での想定イメージであり
今後の計画調整等により変更することがあります



天保山客船ターミナルのイメージ
出典:大阪“みなと”ビジョン

堺都心周辺エリア <類まれな歴史文化と多様な都市機能を有する拠点>

大阪都心部や関西国際空港などへの交通アクセスに恵まれ、なにわ筋線など広域アクセス性が高まる南大阪都市圏の中心都市として、商業・業務・文化機能などの多様な都市機能の集積を図るとともに、大阪唯一の世界遺産を構成する百舌鳥古墳群のある大仙公園エリアをはじめ、堺旧港などの水辺空間、環濠エリアの町家や寺社などの歴史・文化資源を活かすことにより、国内外から多様な人が集い、交流する、類まれな歴史文化と多様な都市機能を有する拠点エリアの形成をめざします。

○ 国内外から人が集まる交流空間の創出

- ・空港や港、鉄道などとの高いアクセスを活かし、観光や国際交流のゲートウェイ、広域交通の結節点として、新たな交流空間を創出
- ・堺東駅周辺や堺駅周辺を核とした商業・業務などの都市機能の集積、駅前街区の更新

○ 居心地の良い都市空間の創出

- ・大小路筋や大道筋などにおける居心地の良いウォークアブルな人中心の空間の形成
- ・堺旧港や環濠の水辺空間を活用した居心地の良い都市空間の創出

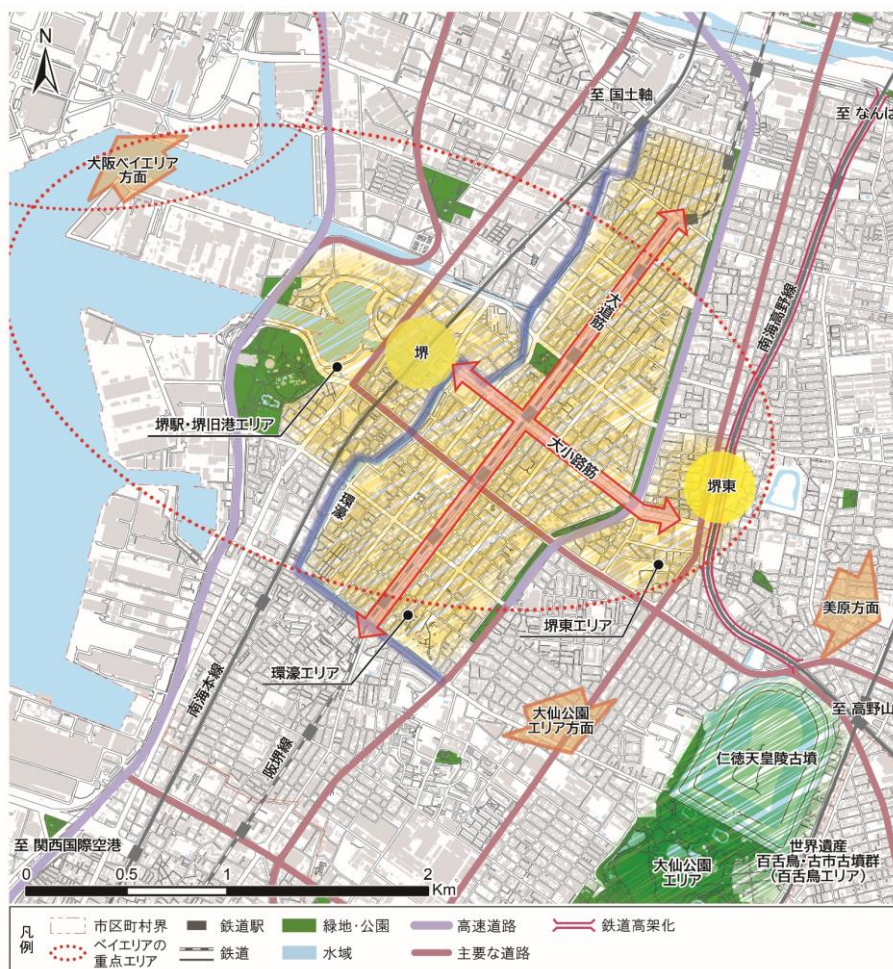
○ 歴史・文化を活かした都市魅力の向上

- ・歴史・文化資源や伝統産業を活用した都市魅力の向上
- ・世界遺産への来訪者の市内周遊の促進及び歴史文化をテーマとした市外エリアとの連携

○ 建築物のエネルギー利用の効率化やモビリティネットワークの形成による脱炭素化の推進

○ 次世代モビリティの活用などによる交通ネットワークの強化

- ・公共交通軸の強化や次世代モビリティなどの活用による、便利、快適かつ面的な移動環境の形成
- ・美原区との拠点間ネットワークの形成と、これを契機とした南河内地域との連携
- ・鉄道高架化による交通の円滑化と駅周辺空間の再編



堺駅・堺旧港エリア



環濠エリア



堺東エリア



大仙公園エリア

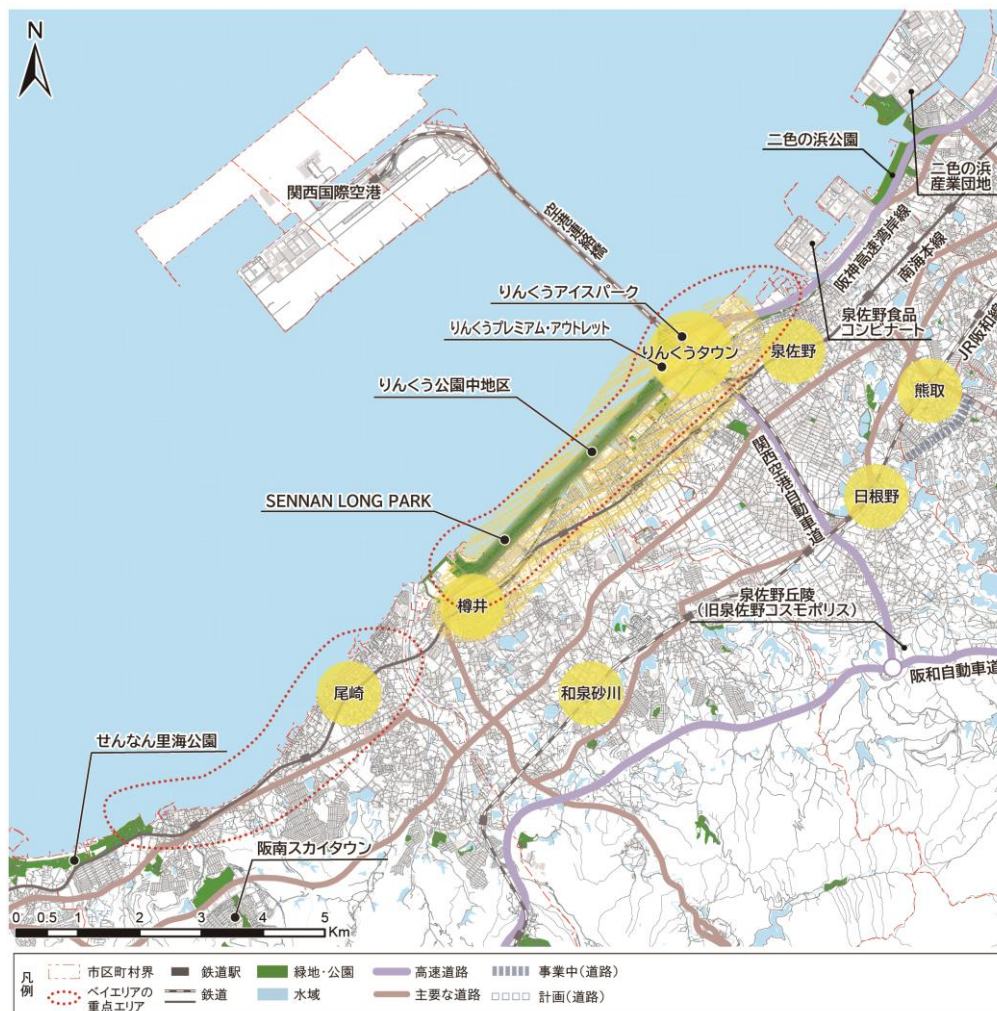


次世代都市交通
提供:堺市

関空・りんくう周辺エリア <世界のゲートシティ・泉州南部の核>

世界のゲートウェイである関西国際空港の対岸に位置するりんくうタウンを中心とした国際会議場や集客・宿泊施設、医療施設などの集積に加え、ベイエリアの魅力を体感できるにぎわい機能の導入など、都市魅力の創出や都市景観の形成を図るとともに、南大阪有数の物流拠点・工場団地の維持・発展や、新たな産業用地の創出など、一層の産業集積を図り、世界のゲートシティとしての国際交流機能と泉州南部の核を担う拠点エリアの形成をめざします。

- 世界のゲートシティに相応しい都市魅力の創出や都市景観の形成
 - ・集客・にぎわい機能やMICE機能の強化
 - ・観光クルーズなどの充実
 - ・りんくう公園(りんくうアイスパーク、りんくうプレミアム・アウトレット、りんくう公園中地区、SENNAN LONG PARK)、二色の浜公園、せんなん里海公園での民間活力によるベイエリアの魅力創出や公園施設の整備
 - ・エリア内の周遊性を向上するための移動手段の充実
- 国際医療交流の推進
 - ・医療拠点としての機能強化
 - ・外国人向け医療サービスの向上・高度化
 - ・訪日外国人旅行者の受け入れ体制の充実
- 産業・業務機能の更なる活性化
 - ・既存の企業集積の維持・発展
 - ・物流機能の更なる集積・高度化による拠点機能の強化
 - ・泉佐野丘陵(旧泉佐野コスモポリス)などにおける新たな産業用地の創出



りんくうプレミアム・アウトレット
提供:りんくうプレミアム・アウトレット



関空アイスアリーナ
提供:泉佐野市



SENNAN LONG PARK
提供:泉南市



二色の浜公園イメージパース
提供:大阪府

成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

2) 大阪の中核を担う拠点エリア

都心部の拠点開発効果の府域への波及、及び新型コロナ禍を契機とした多様な働き方・暮らし方を選択できるまちの実現に向け、「都心部周辺」や「郊外部」において、多様な都市機能を備えたエリアを形成します。

交通利便性をはじめ、立地ポテンシャルの高い地域でのエリア形成を推進する観点から、都市軸の結節性等を重視し、以下①～③のとおり、エリアを設定します。

なお、具体的な範囲については、まちづくりの動向やプロジェクトの一体性・影響範囲などを踏まえて設定しており、今後、まちづくりの具体化の状況に応じて、エリアの拡大や追加等を行います。

① 中央環状都市軸と東西・南北都市軸の交点

① 中央環状軸と東西・南北軸の交点



中央環状都市軸と東西・南北都市軸の交点に位置し、大阪の成長・発展をけん引するまちづくりが進行中、又は今後期待されるエリア

【拠点エリア】

- ・ 北部大阪 中枢エリア
- ・ 東部大阪 中枢エリア
- ・ 南部大阪 中枢エリア

② 中央環状都市軸と放射都市軸の交点

② 中央環状軸と放射軸の交点



中央環状都市軸と放射都市軸の交点に位置し、大阪の成長・発展を支えるまちづくりが進行中、又は今後期待されるエリア

【拠点エリア】

- ・ 北阪神都市軸 活性化エリア
- ・ 京阪都市軸北 活性化エリア
- ・ 京阪都市軸南 活性化エリア
- ・ 南阪奈都市軸 活性化エリア

③ 郊外部で市街地が連坦している放射都市軸の中心

③ 郊外部で市街地が連坦している放射軸



放射都市軸のうち、郊外部で市街地が連坦している「京阪都市軸」、「大阪高野都市軸」、「阪和都市軸」上に位置し、その中心を担うに相応しいまちづくりが進行中、又は今後期待されるエリア

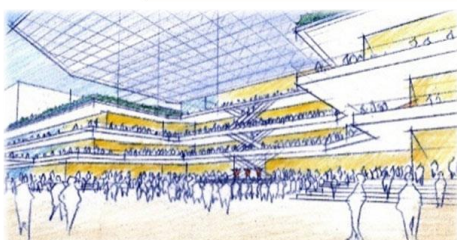
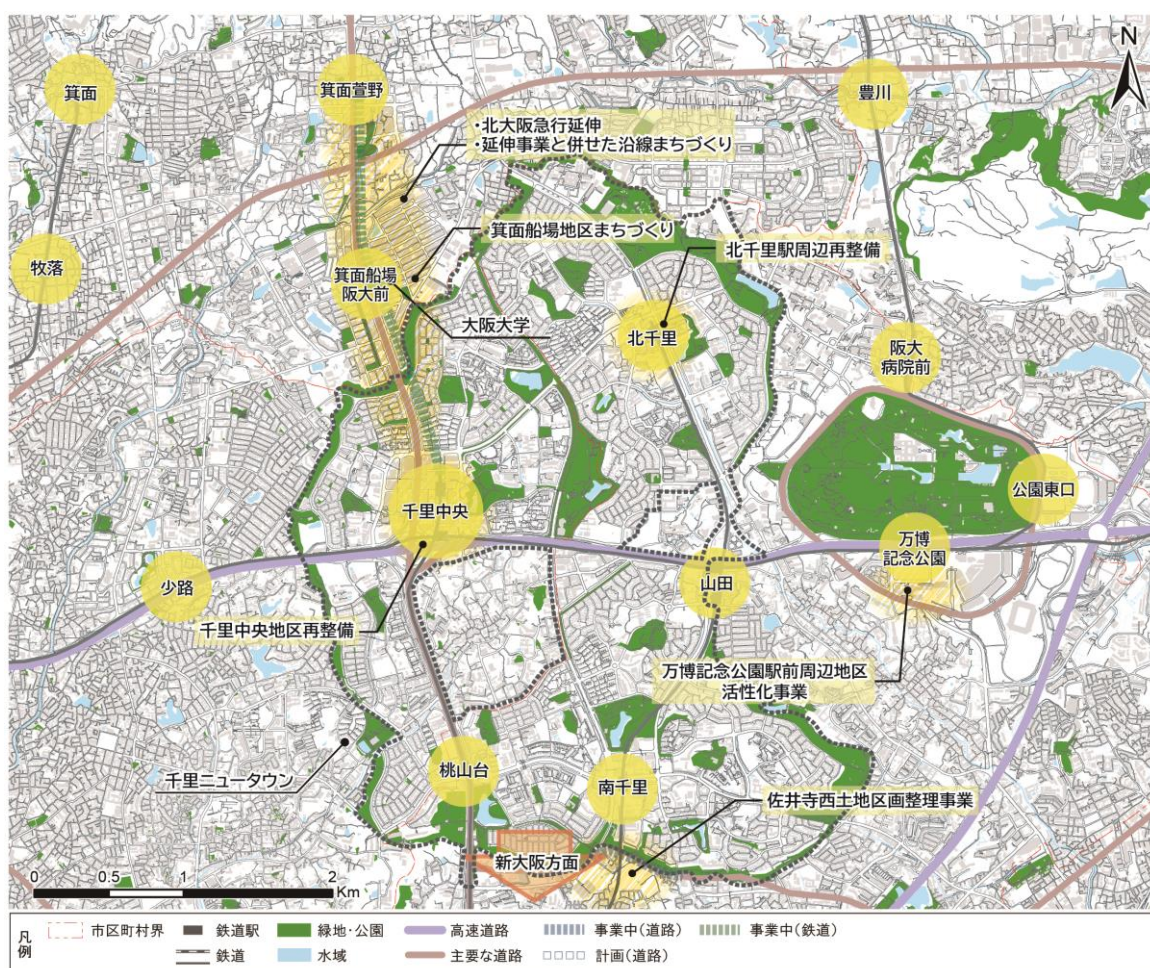
【拠点エリア】

- ・ 京阪都市軸 郊外拠点エリア
- ・ 大阪高野都市軸 郊外拠点エリア
- ・ 阪和都市軸 郊外拠点エリア

北部大阪 中枢エリア <北部大阪の成長・発展をけん引するエリア>

万博公園をはじめとしたみどり豊かな資源やゆとりある住環境、学術・研究施設の集積、幹線道路・鉄道・バス路線等の充実した交通ネットワークに加え、北大阪急行の延伸や世界最先端の機能を有するアリーナの整備、さらには、リニア中央新幹線・北陸新幹線などの将来の基盤整備を見据え、多様な人々を呼び込む魅力的な都市空間と良好な住環境を備えた北部大阪の成長・発展をけん引するエリアの形成をめざします。

- 千里中央地区における高次都市機能の導入やターミナル機能の強化等による中核的な都市拠点の形成
- 北大阪急行延伸に併せた各駅周辺におけるまちづくりの推進
 - ・箕面船場阪大前駅周辺地域における文化芸能・国際交流拠点の形成とヘルスケア産業の集積促進
 - ・箕面萱野駅における新たな交通結節点としての機能の充実
- 大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点の形成
- 千里ニュータウン内の公的賃貸住宅活用地を活かした地域のまちづくりに資する都市機能の導入や先導的な住宅・住宅地の整備、近隣センターの再生など、みどり豊かで魅力ある住環境の整備
- 北千里駅前周辺の再整備など、主要駅周辺の拠点性の向上や沿線の活性化
- 広域交通ターミナルとなる新大阪駅直結のポテンシャルを活かしたまちづくり など



千里中央地区 広場整備イメージ
出典：千里中央地区活性化基本計画



万博記念公園駅前アリーナ等イメージ
提供:大阪府

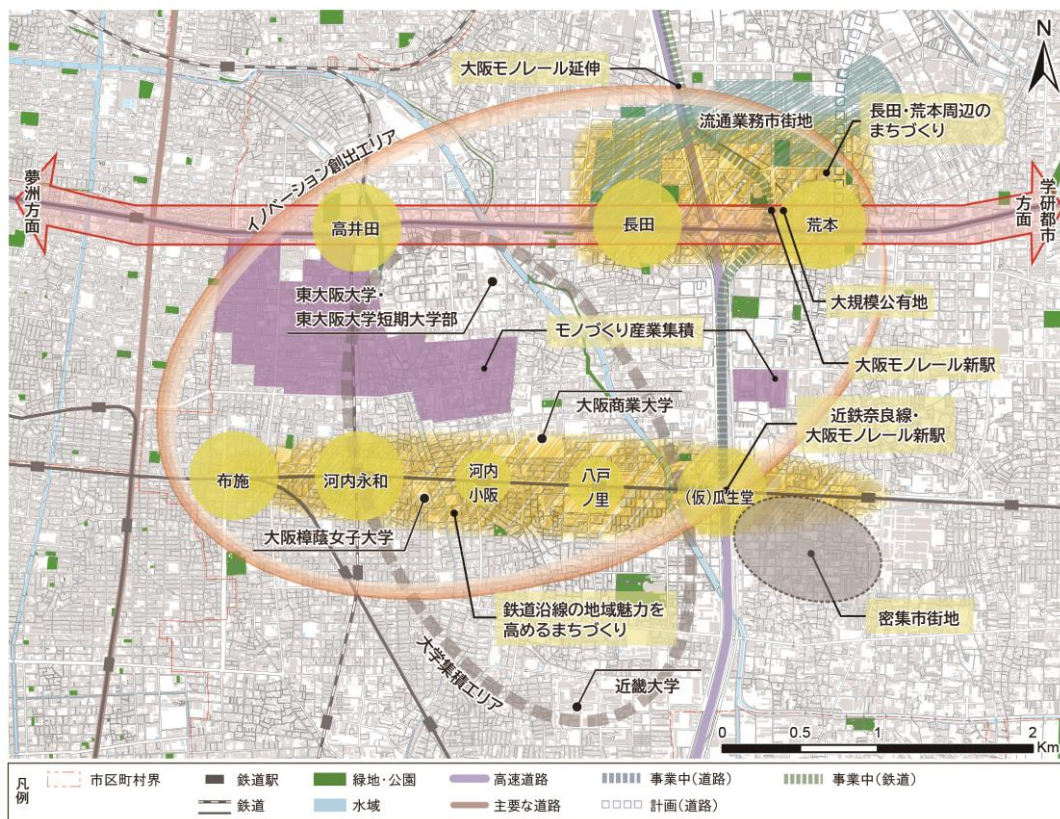


箕面船場地区まちづくり拠点施設
提供:箕面市

東部大阪 中枢エリア <東西都市軸の強化・発展を担うエリア>

夢洲から学研都市に至る東西都市軸、阪奈都市軸上に位置し、広域交通インフラにも直結する充実した道路・鉄軌道ネットワークによる交通利便性の高さや、国内有数のモノづくり産業や大学の集積に加え、都心部にも自然にも近い立地を活かしながら、イノベーション創出を促す多様な都市機能の誘導やにぎわいを創出するまちづくりを推進します。これらの取組により、広域・近隣から多様な人や知を呼び込み、イノベーションが創出され、大阪府内に好循環を生み出す東部大阪と東西都市軸の強化・発展を担うエリアの形成をめざします。

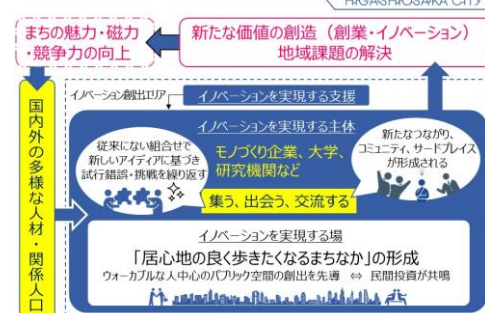
- 大阪モノレール延伸事業による都市間アクセスの強化や、新たな結節点やターミナル駅にふさわしい都市機能の誘導
- 長田・荒本駅周辺のまちづくり
 - ・流通業務市街地等の既存機能の活用・更新による、多様な人や知の交流とイノベーション創出を促す都市空間の創造
 - ・大規模公有地を活用した商業・交流機能の向上等、駅周辺の新たな顔となる良好な都市空間の形成と都市機能の誘導
- 公共交通軸の強化や新たなモビリティなどの活用・連携によるエリア内の移動円滑化と回遊性の向上
- 鉄道事業者をはじめ、多様な主体との連携による駅前空間や高架下等の活用など、沿線の地域魅力を高める人中心のにぎわい空間の創出
- 大学集積を活かした学生を中心に多世代が交流するまちづくりの推進
- 密集市街地における防災性の向上と魅力あるまちづくりの推進によるエリア価値の向上 など



大阪モノレール(仮称) 荒本駅イメージ
提供:大阪府



都市軸の結節点である東大阪ジャンクション
提供:東大阪市

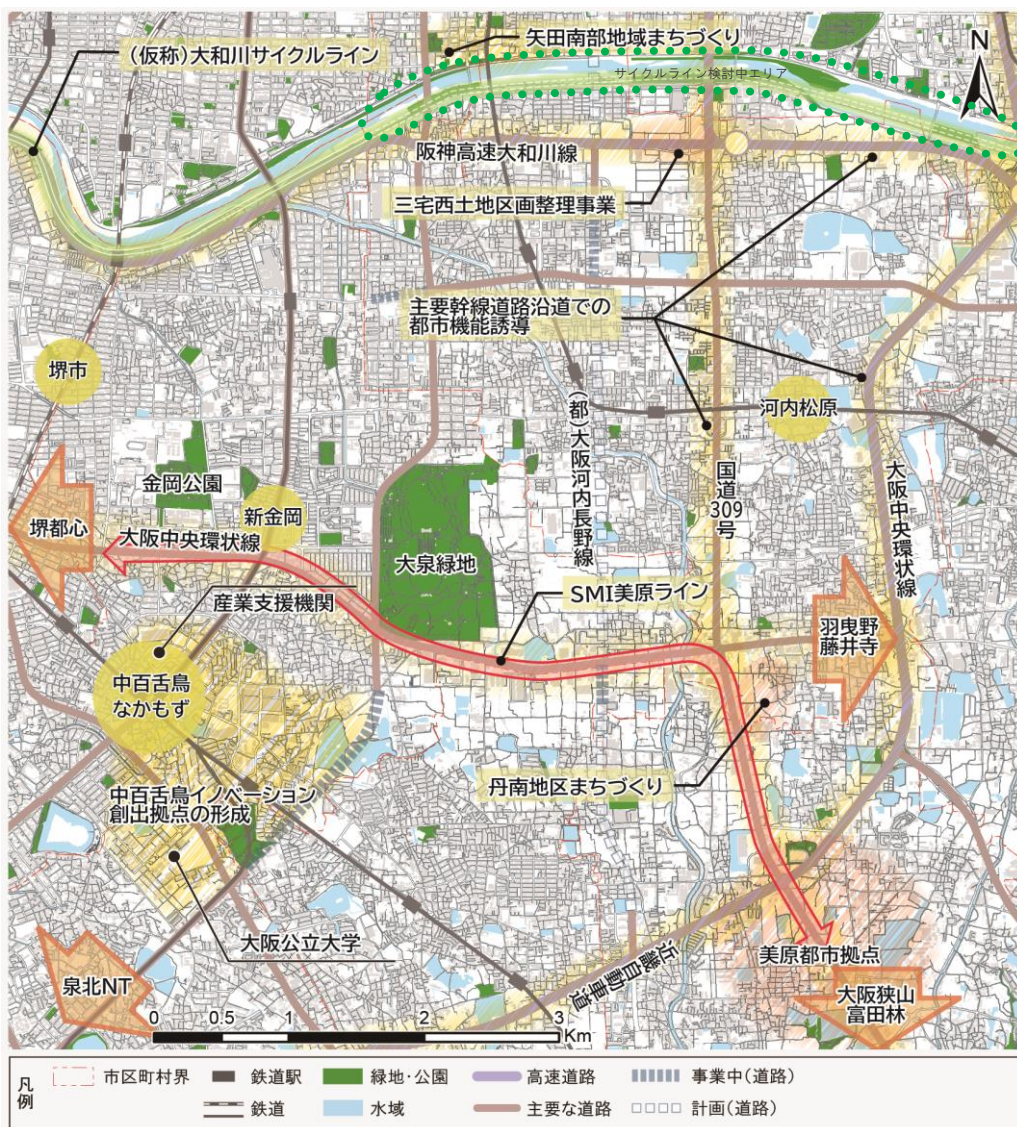


多様な人や知の交流とイノベーションを促す
都市空間の創造(東大阪市版エコシステム)
提供:東大阪市

南部大阪 中枢エリア <南部大阪の成長・発展をけん引するエリア>

高い交通利便性と大学や産業支援機関等の機能を活かしたイノベーション創出拠点の形成や、幹線道路による広域アクセス性を活かした商業・物流・産業機能の誘導など、都市機能の充実を図るとともに、魅力ある居住環境の創造や、大規模公園・緑地を活用した質の高い都市空間の創出、東西方向の交通ネットワークの強化などにより、多くの人やモノが集まる南部大阪の成長・発展をけん引するエリアの形成をめざします。

- 中百舌鳥周辺におけるスタートアップやICT関連企業などの集積、産学官連携や泉北ニュータウン等との連携による新産業やビジネスの創出と、交通結節点の駅前にふさわしい交流とにぎわいの創出（中百舌鳥イノベーション創出拠点）
- 国道309号や大阪中央環状線をはじめとした幹線道路沿道や交通結節点周辺のほか、都市計画道路の整備を契機とした商業・物流・産業機能の誘導
- 主要駅周辺への都市機能・居住機能の誘導や、新金岡地区などの公的賃貸住宅の建替等を契機とした時代のニーズに応じた都市機能の充実など、魅力ある居住環境の創造
- 大泉緑地・金岡公園をはじめとした公園や緑道等を活かしたみどりのネットワークの強化や、公園・緑地の魅力化に向けたパークマネジメントの推進
- BRTなど新たな交通システムの導入や、(仮称)大和川サイクルラインの整備等による交通利便性・回遊性の向上
- 新たな大規模施設の立地や公的賃貸住宅の建替など、市街地の面的な更新の機会を捉えた脱炭素化の推進 など



中百舌鳥イノベーション創出拠点イメージ(駅前)
提供:堺市



三宅西土地地区画整理事業 イメージパース
提供:松原市



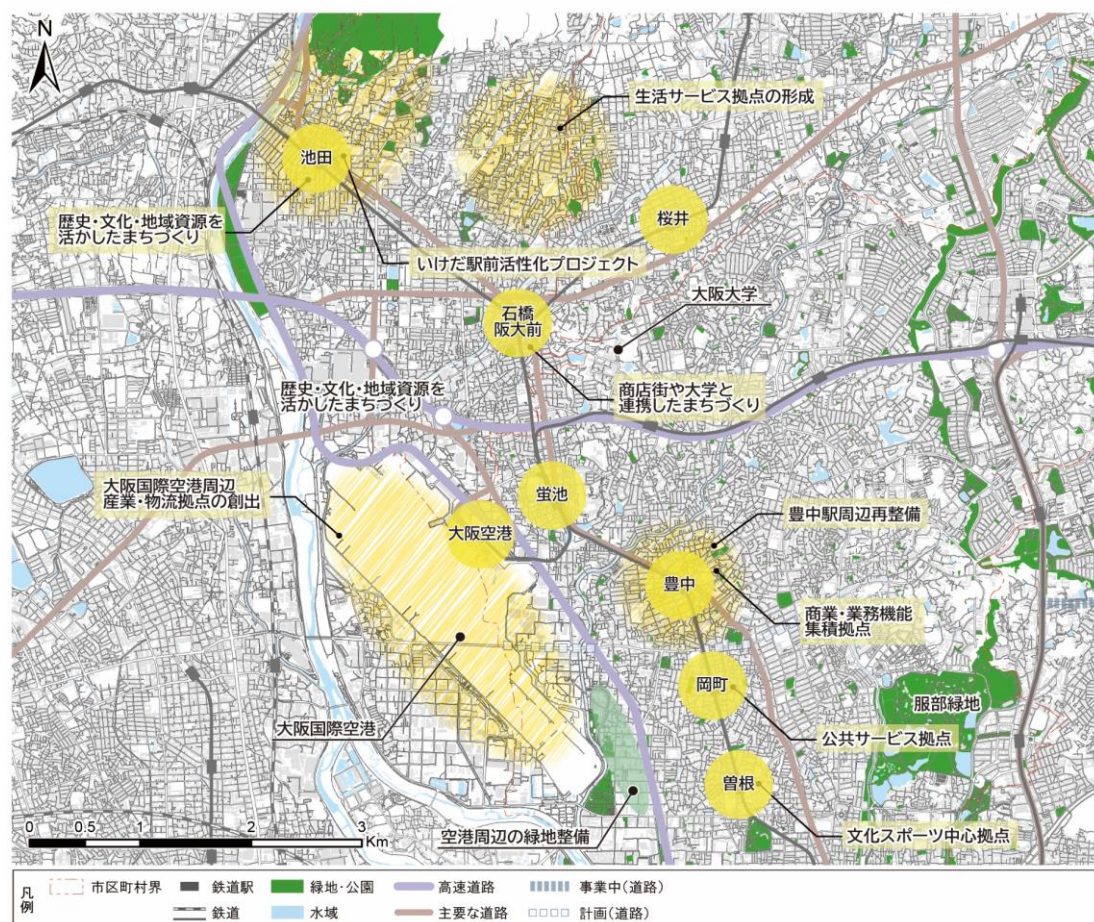
(仮称)大和川サイクルライン イメージパース
提供:堺市

北阪神都市軸 活性化エリア<北阪神都市軸の発展を担うエリア>

広域的な交通の要衝である大阪国際空港や鉄道・モノレール等の充実した交通ネットワークと駅周辺に集積する都市機能を活かし、多様な生活利便性を享受できる駅を中心とした豊かな都市空間の形成を図るとともに、魅力ある地域の観光資源を活用した来訪者の回遊性向上に資するウォーカブルな都市空間を創出し、良好な住環境と魅力ある観光機能を備えた北阪神都市軸の発展を担うエリアの形成をめざします。

- 駅を中心とした豊かな都市空間の形成
 - ・池田駅周辺におけるコンパクトに集積した公共公益施設、生活利便施設を活かしたまちなか居住の推進
 - ・豊中駅周辺の再整備による魅力的なまちなみの創出及び商業拠点の形成
- 地域資源を活かした池田駅前活性化プロジェクトの推進
 - ・官民一体のエリアプラットフォームを活用したウォーカブルなまちなかづくりによる回遊性向上やにぎわいの創出
 - ・特徴ある観光資源や歴史文化施設に係るイベント等の官民連携シティプロモーションの推進による交流人口の拡大
- 商店街と大阪大学の立地を活かした石橋阪大前駅周辺のにぎわい創出
 - ・駅周辺の商業機能の維持・充実と、趣ある商店街のまちなみの維持・継承
 - ・駅周辺を中心とした歩道のバリアフリー化や、バスとの乗換動線の歩行円滑化等による駅へのアクセス性の向上
- 服部緑地における、民間活力の積極的な導入によるにぎわいの創出
- 大阪国際空港周辺の低未利用地の利活用による新たな産業・物流拠点の創出
 - ・地域のポテンシャルを活かした流通業務施設や工場等の立地誘導による産業機能の強化と良好な都市環境の形成

など



池田駅前活性化プロジェクト
(おさんぽマルシェ)
提供:池田市



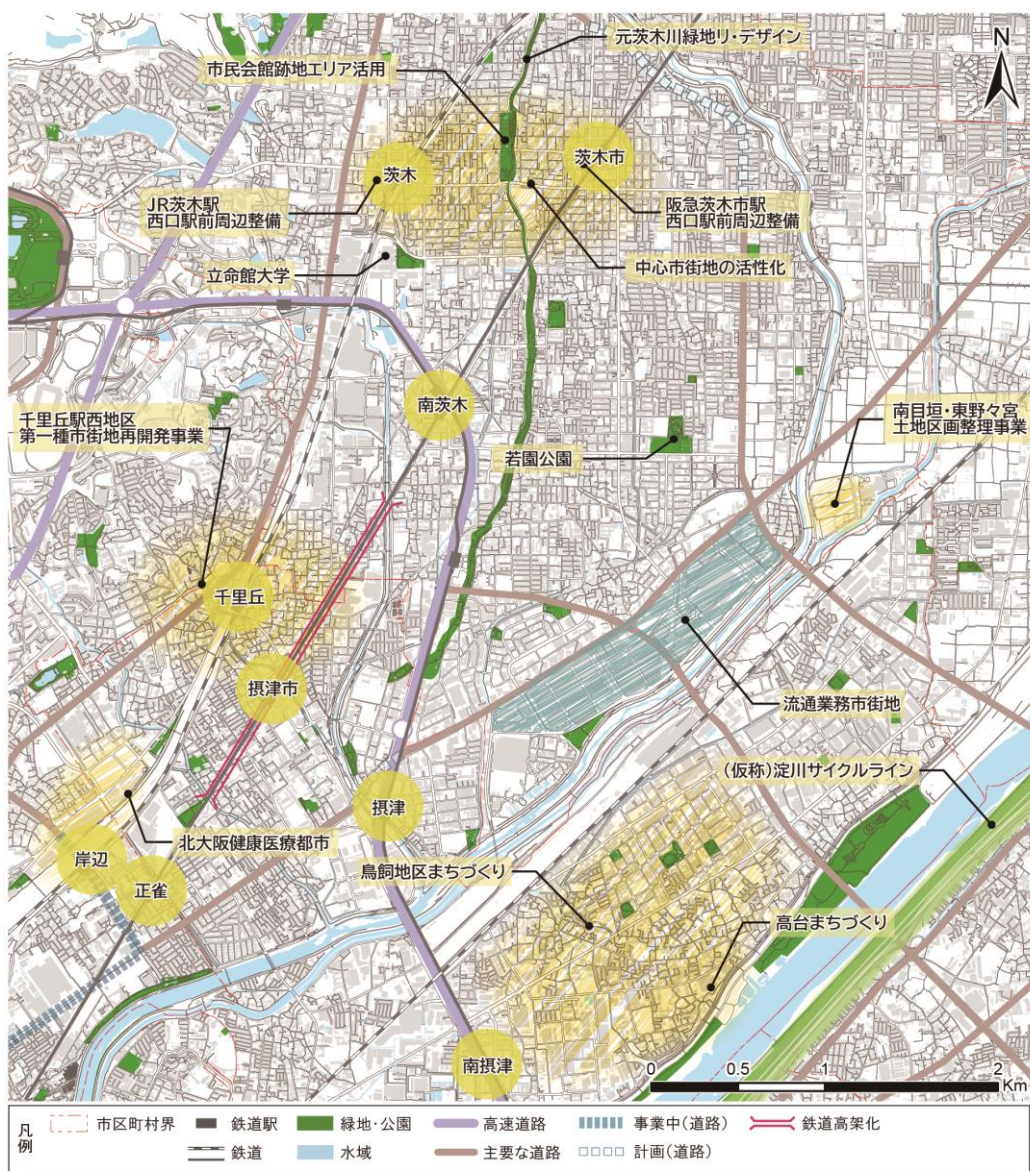
服部緑地 イメージパース
提供:大阪府

京阪都市軸北 活性化エリア<京阪都市軸の発展を担うエリア>

都心部に近接する立地と充実した交通ネットワークや大学及び公共施設等を活かし、主要駅周辺における都市機能の集積や公共施設跡地を活用したまちづくりにより、人の回遊・交流等を創出する中心市街地の活性化を促進するとともに、北大阪健康医療都市（健都）における「健康・医療」のまちづくりとイノベーションの好循環、鳥飼地区における地域特性をふまえた特色あるまちづくりにより、誰もが住みたくなる京阪都市軸の発展を担うエリア形成をめざします。

- 茨木市市民会館跡地エリアを活用した施設整備による多様な人々の交流・にぎわいの創出
- JR茨木駅・阪急茨木市駅の駅前再整備による交通結節点の機能強化及び中心市街地の活性化
- 千里丘駅周辺における市街地再開発事業による交通結節機能の強化及び都市機能の充実
- 北大阪健康医療都市（健都）における産学官民（企業・学術機関・行政・市民）の共創による「オープンイノベーションとまちぐるみの健康づくり」の推進
- 鳥飼地区における地域資源や地域特性を踏まえた特色あるまちづくりの推進
 - ・河川防災ステーション整備による地域防災拠点としての高台まちづくりの推進
 - ・「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和し、誰もが「安全・安心」に暮らせるまちづくりの推進

など



茨木市市民会館跡地エリア活用
提供: 茨木市



千里丘駅西地区第一種市街地再開発事業
提供: 摂津市



鳥飼地区のまちづくり
提供: 摂津市



高台まちづくり
提供: 摂津市

京阪都市軸南 活性化エリア<京阪都市軸の発展を担うエリア>

大阪モノレールの延伸により更に充実が図られる交通ネットワークと、特色あるものづくり企業をはじめとした多様な産業や府内屈指の人口の集積、鶴見緑地や淀川河川公園などの豊かなみどりといったエリアの強みを活かし、高度な技術を有する企業等とまちの連携による都市価値の向上を図るなど、職住近接で、多くの人・モノを惹きつける魅力を備えた京阪都市軸の発展を担うエリアの形成をめざします。

- 京阪本線・JR学研都市線など、鉄道沿線を軸としたまちづくりの推進
 - ・門真市駅前再整備など、主要駅周辺における拠点性の向上及びウォカブルな空間の創出
 - ・沿線の公共施設や公共空間、歴史・文化資源等を活用した、エリア価値の向上やにぎわいの創出
 - ・密集市街地における防災性の向上と魅力あるまちづくりの推進によるエリアブランドの向上
 - ・施設一体型小中一貫校整備を含む寝屋川公園駅・星田駅周辺等における沿線まちづくりの推進
- 大阪モノレール延伸を契機としたまちづくりの推進
 - ・(仮称)松生町駅前における新たな都市機能の集積によるにぎわいの創出
- 主要幹線道路沿道の立地ポテンシャルを活かしたまちづくりの推進
 - ・第二京阪道路沿道における産業立地の誘導等、新たな都市機能の導入
- 特色あるものづくり企業等の集積を活かしたイノベーションの創出による産業競争力・エリアブランドの強化
- 豊かなみどりを活かした魅力ある都市空間の創出
 - ・鶴見緑地や淀川河川公園、寝屋川公園等のにぎわい創出
 - ・飯盛城跡を活用したまちづくり
 - ・みどりのネットワークの形成

など



守口市旧本庁舎等跡地活用事業
提供:守口市



星田駅北土地区画整理事業
提供:交野市



門真市古川橋駅北地区
提供:門真市



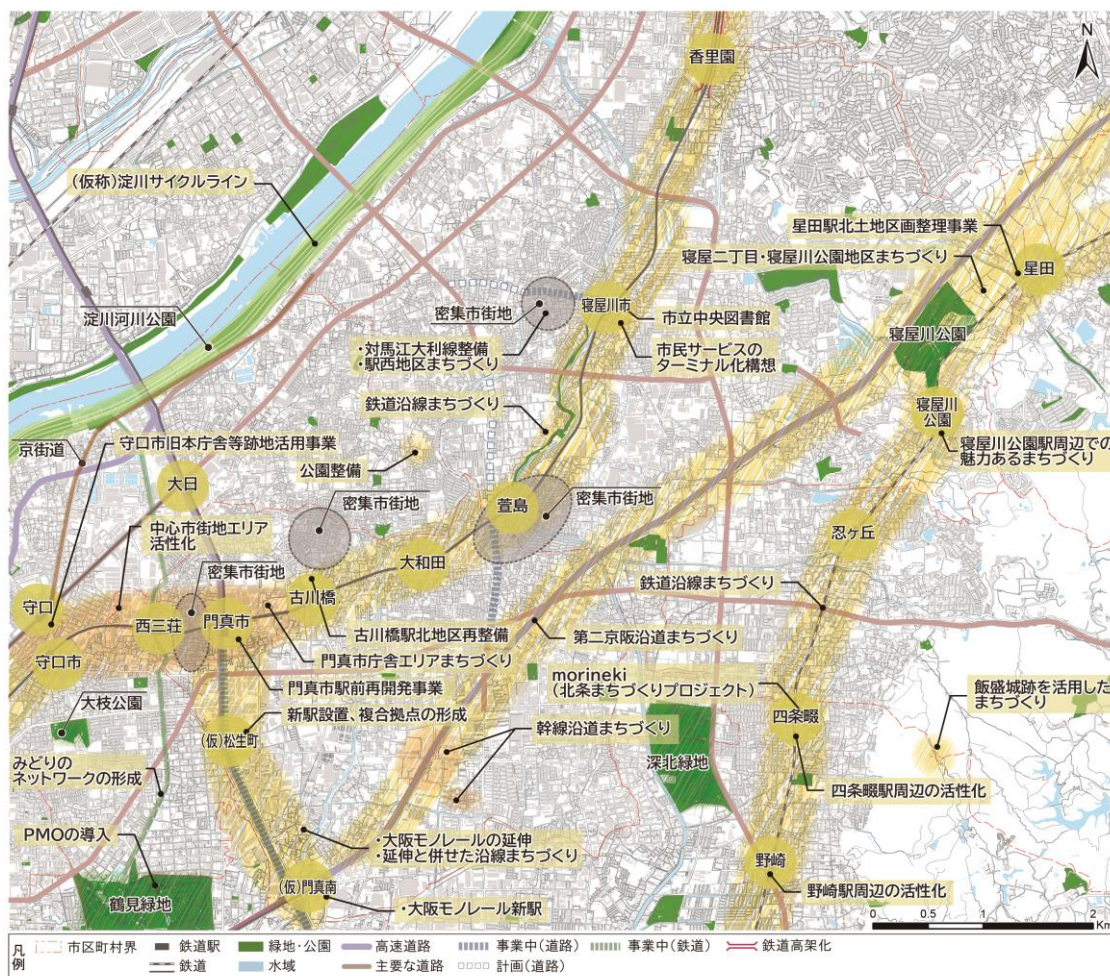
寝屋川公園駅周辺での魅力あるまちづくり
提供:寝屋川市



morineki (北条まちづくりプロジェクト)
提供:大東市



四条畷駅周辺整備
提供:大東市



南阪奈都市軸 活性化エリア **＜南阪奈都市軸の発展を担うエリア＞**

充実した交通ネットワークを活かした新たなまちの核となる都市拠点の形成や、幹線道路による広域アクセス性を活かした産業集積の維持・発展や立地の誘導、八尾空港周辺の防災拠点としての機能強化とともに、大和川などの自然環境、世界遺産の古市古墳群や竹内街道、葛井寺などの歴史・文化資源等の集積を活かし回遊性の向上を図り、エリア外から多様な人を呼び込む都市魅力に加え、良好な住環境を備えた南阪奈都市軸の発展を担うエリアの形成をめざします。

- 交通便利性の高い主要駅周辺における都市拠点の形成
 - ・ 八尾南駅前の八尾空港西側跡地における地域の活力と元気を引き出す複合機能都市拠点の形成
 - ・ 長原駅前的における地域の核となるにぎわい・集客機能の導入及び交通結節機能の向上
- 大阪外環状線や南阪奈道路、八尾空港の周辺、八尾富田林線等の都市計画道路の整備を契機とした産業集積の維持発展、立地の誘導
- 八尾空港周辺の防災機能の強化および空港を活かした特色あるまちづくりの推進
- 河川空間における民間活力を活かしたにぎわいの創出や、治水機能を有した公園の利活用によるレクリエーション空間の創出
- 歴史・文化資源等をつなぐ観光コンテンツ・ルートの整備やサイクルルートの活用等による回遊性・集客力の向上
 - ・ 古市古墳群や周辺の古墳、神社仏閣等をつなぐ散策ルートの整備及びサイクルルートや鉄道・バス等の交通機関の活用、新たなモビリティの導入
 - ・ 藤井寺駅周辺の回遊ルート上における、アイセルシュラホールの拠点化や古民家・空き店舗・空き地の利活用
 - ・ 国史跡指定由義寺跡の保存や活用・整備 など



八尾空港西側跡地まちづくり
出典：八尾空港西側跡地まちづくり構想(案)
を加工して作成



八尾富田林線とあわせたまちづくりイメージ
提供:藤井寺市



大和川の河川空間オープン化イメージ
提供: 柏原市



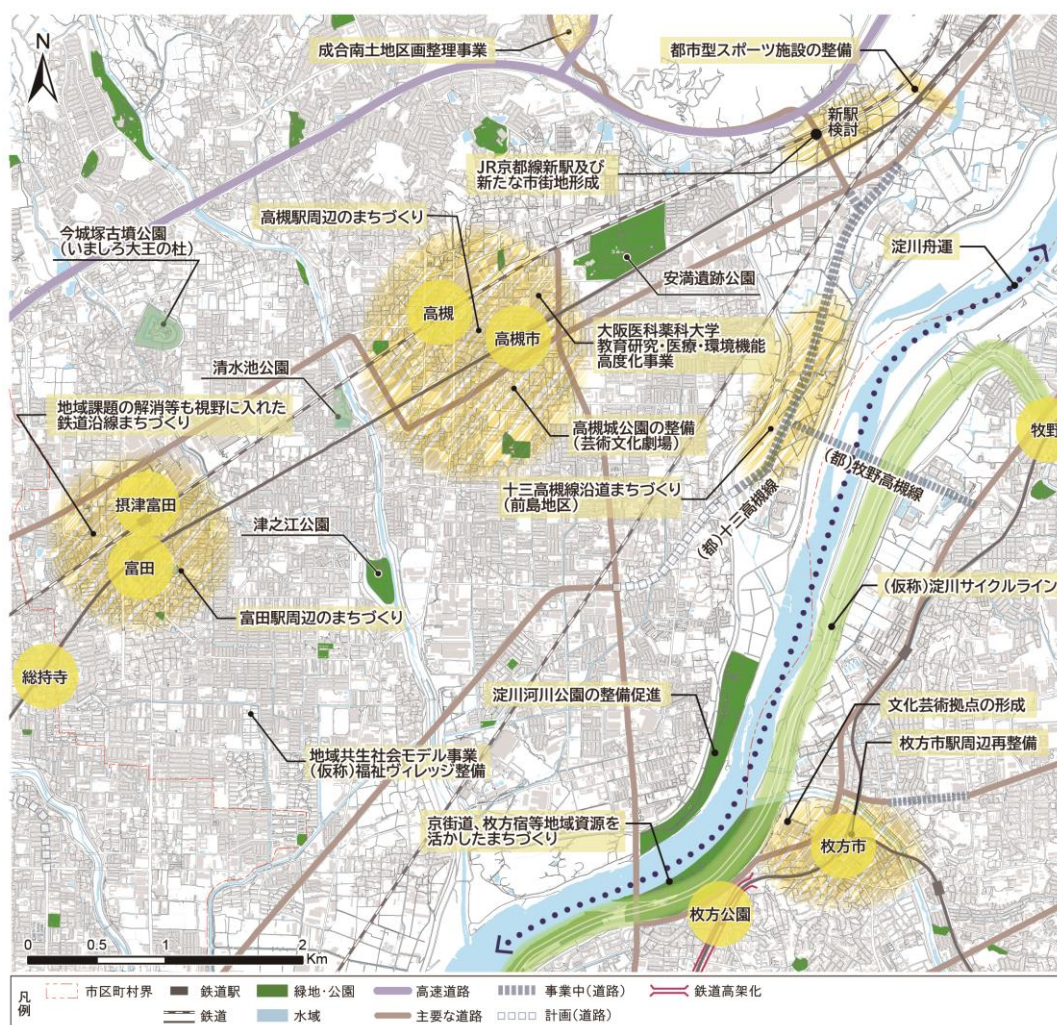
アイセルシュラホール
提供:藤井寺市

京阪都市軸 郊外拠点エリア <大阪・京都間の中心機能を担うエリア>

大阪と京都の間に位置する立地特性と充実した交通ネットワークや豊かな地域資源を活かし、都市機能の集積や高度化により、都市の中心市街地の機能強化やまちなか居住の促進を図るとともに、JR京都線の新駅設置及び新たな市街地形成の検討をはじめとする鉄道沿線を軸としたまちづくりや、道路整備に合わせた新たな市街地形成等の交通ネットワークを軸としたまちづくりを推進し、大阪・京都間の中心機能を担うエリアの形成をめざします。

- JR高槻駅・阪急高槻市駅周辺における、商業施設や医療施設、大学、安満遺跡公園、高槻城公園等の都市機能の集積や高度化によるまちなか居住の促進と、多様な交流によるにぎわいの創出
- 枚方市駅周辺における市街地再開発事業等による交通環境の改善や、商業、文化、行政サービス等の都市機能の集積などを活かしたにぎわいの創出
- 鉄道事業者をはじめとする関係機関との連携による鉄道沿線まちづくりの推進
 - ・JR京都線の新駅設置及び新たな市街地形成の検討
 - ・地域課題の解消等も視野に入れた鉄道沿線まちづくりの検討
- 道路交通ネットワークの整備に合わせた沿道まちづくりの推進
 - ・十三高槻線、枚野高槻線等の道路整備に合わせた新たな市街地形成による地域活性化及び広域的な交流の促進
 - ・新名神高速道路の高架下を利用した都市型スポーツ施設の整備等、スポーツ推進によるにぎわいの創出
- (仮称)福祉ヴィレッジの整備等、将来にわたって、安心して健やかに暮らすことができる地域共生社会の実現
- 淀川や歴史街道・古墳などの地域資源を活用した回遊性の向上による広域観光拠点の形成

など



安満遺跡公園
提供: 高槻市



高槻城公園
提供: 高槻市



新名神高速道路高架下の利活用
提供: 高槻市

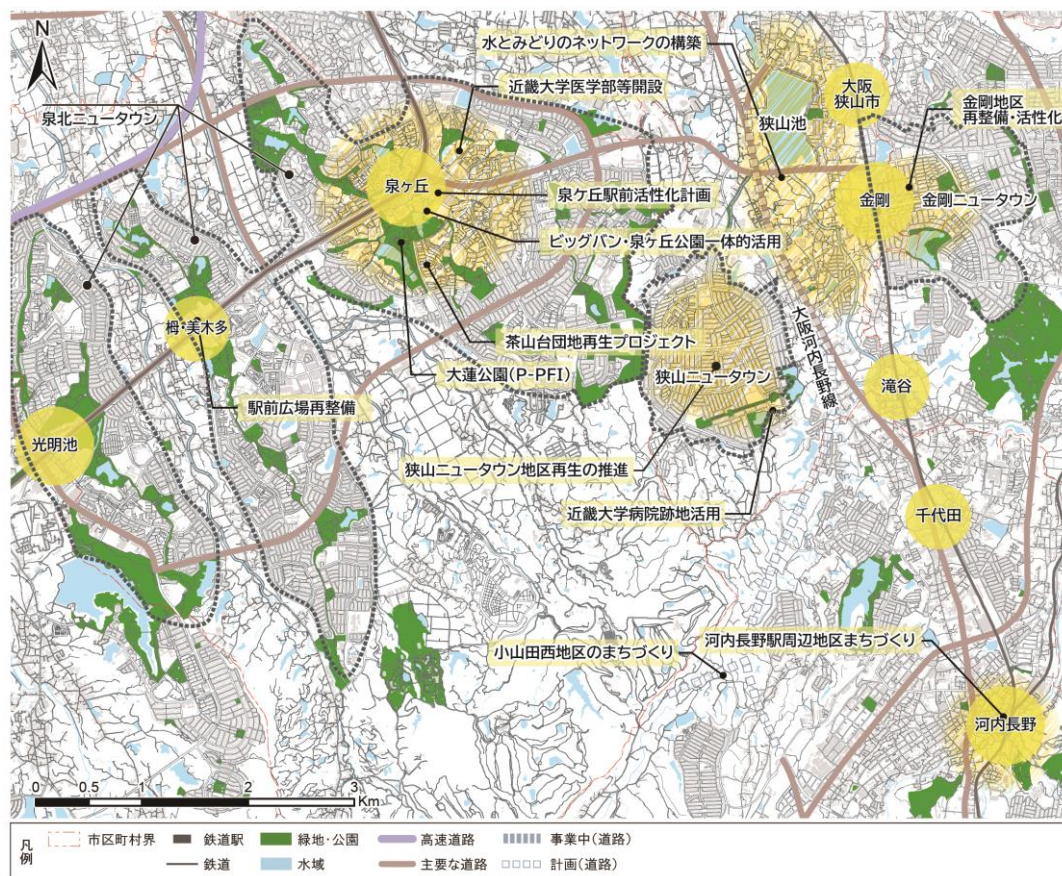


枚方市駅周辺再開発
提供: 枚方市

大阪高野都市軸 郊外拠点エリア <泉州・南河内地域の核となるエリア>

主要な駅を中心に複数の大規模ニュータウンが連坦する特徴を活かし、公的資産等の活用による地域の核となる多様な都市機能の導入や、新しいモビリティの導入をはじめとしたスマートシティの推進などとともに、複数のニュータウンを一体的なエリアとしてとらえ、交通連携による各拠点間のネットワークの強化や、各種取組の連携・ノウハウの共有等を行うことにより、エリア全体において拠点性や居住魅力を高め、泉州・南河内地域の核となるエリアの形成をめざします。

- ICT を活用した公民連携・分野横断的な取組の推進による、スマートシティ化の実現
- 近畿大学医学部・病院の開設や駅前施設の建替等、泉ヶ丘駅前地域の空間整備による、南大阪をリードする拠点の形成
- 金剛駅周辺エリアでの子育て支援機能や生活利便機能等の導入による、にぎわいや多様な交流が生まれる空間の創出
- 河内長野駅周辺地区における官民連携によるウォカブルなまちづくりの推進
- リモートワークやシェアオフィス、コワーキングスペースの活用による働く環境・場の創出
- 公的賃貸住宅活用用地における脱炭素の視点を取り入れたまちづくりの推進や、近畿大学医学部・病院跡地等における公民連携による新たな都市機能の導入
- 住宅ストックのリノベーションの推進等によるライフスタイルに合わせた住まい、コミュニティの場の提供
- 既存公共交通網の活用やオンデマンド交通、新しいモビリティの導入等によるエリア内外の移動円滑化
- 鉄道事業者と連携した沿線地域の活性化によるエリア価値の向上
- 小山田西地区のまちづくりや併せて整備する大阪河内長野線による交通ネットワークの強化や産業機能の導入
- 狭山池や大蓮公園、泉ヶ丘公園、寺池公園などを活かした水とみどりの魅力的な空間の創出 など



南海金剛駅周辺まちづくり イメージ
出典：金剛地区施設等再整備基本構想



河内長野駅周辺地区まちづくり イメージ
出典：河内長野駅周辺地区まちづくり方針



近畿大学医学部・病院イメージ図
提供:近畿大学



小山田西地区イメージパース
提供:河内長野市

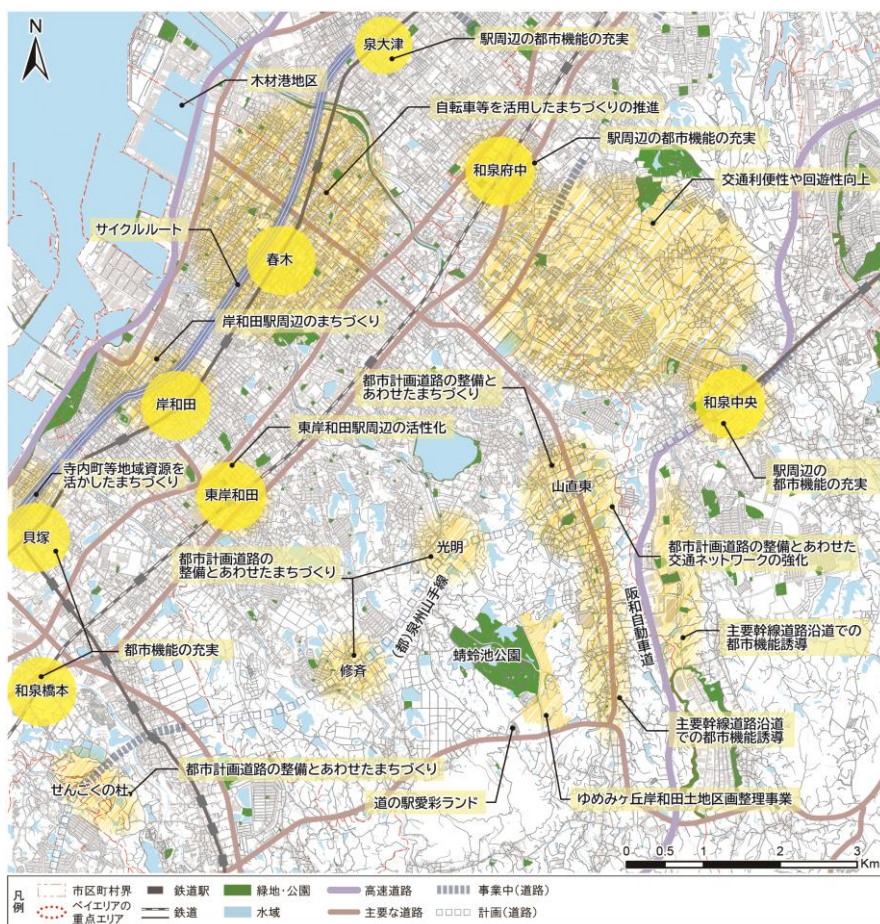


日本最古のダム形式のため池・狭山池
を活かした水とみどりのネットワークの形成
出典：大阪狭山市HP

阪和都市軸 郊外拠点エリア <泉州・ベイエリアの核となるエリア>

関西国際空港に近接し、幹線道路や鉄道による広域アクセス性に優れた立地特性や、新たな幹線道路の整備等を契機としたまちづくりが進められている特徴を活かし、産業立地の誘導や主要駅周辺における都市機能の集積、良好な住環境の創出を図るとともに、歴史・文化などの地域資源を効果的に連携・活用しながら、ベイエリアと内陸部をつなぐサイクルルートのネットワークや快適な歩行者空間の形成により、回遊性やアクセス性の向上を図り、泉州・ベイエリアの核となるエリアの形成をめざします。

- 臨海部における工業・流通機能の集積や先端産業・新産業空間の創出、および交通利便性の高い阪和自動車道周辺や都市計画道路の整備とあわせた産業立地の誘導
- 泉州山手線の整備やその沿道まちづくりと併せた、交通結節点の整備や新たな輸送システムの導入、先端技術を活用した新たなモビリティの活用等、交通ネットワークの強化による利便性の向上
- コミュニティバスの運行強化や新たなモビリティの導入等による交通利便性や回遊性の向上
- 岸和田駅周辺における、商店街や文化施設、商業施設、コミュニティ拠点等の様々な資源・機能の相互連携や高度化による、人が集い、憩い、交流する拠点の形成
- 泉大津駅や和泉府中駅、和泉中央駅、貝塚駅などの主要駅周辺における、居住・商業・公共サービス等の多様な都市機能の充実や交通結節機能の強化
- 自然や歴史・文化資源を活用したまちづくりの推進
 - ・ゆめみヶ丘岸和田における、眺望を活かした居住地の形成や豊かな自然資源の利活用、農業をはじめとする多様な産業の交流・連携、道の駅愛彩ランドの拠点形成
 - ・蜻蛉池公園など大規模公園の活用
 - ・せんごくの杜における自然・交流・防災機能を融合した拠点の整備
 - ・紀州街道やその沿道の町屋、寺内町や旧家住宅、岸和田城、水間鉄道周辺など歴史的な地域資源の活用
- 自転車等の活用による、鉄道駅から臨海部へのアクセス強化や地域資源をめぐる観光ルートの形成 など



泉州山手線整備に併せたモビリティ・ハブの整備イメージ
提供：岸和田市



和泉中央駅周辺の整備イメージ
提供：和泉市



ゆめみヶ丘岸和田のまちづくり
出典：岸和田市HP



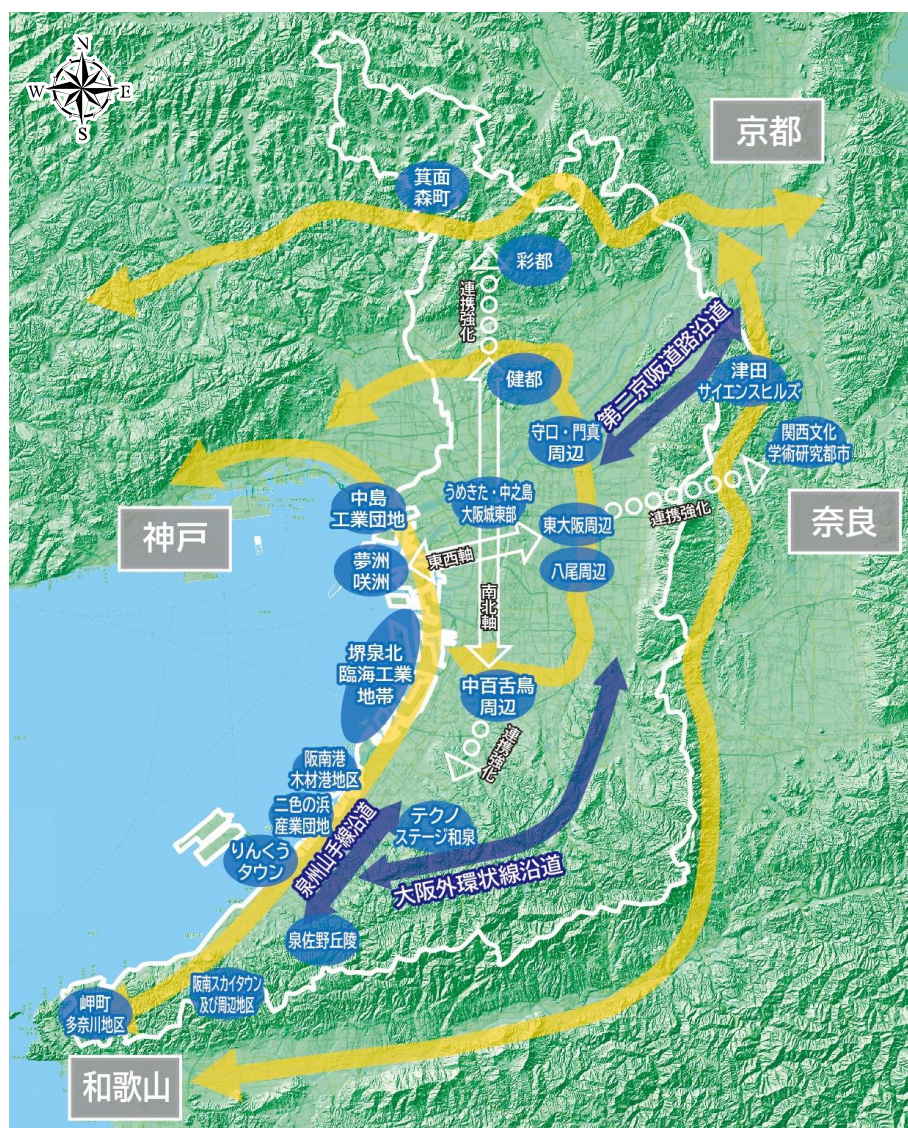
せんごくの杜のまちづくり
提供：貝塚市

3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア

産業政策等を踏まえつつ、大阪の強みである世界有数の高い技術を持つものづくり産業などの集積を活かすとともに、成長産業である環境・新エネルギー産業や健康・医療関連産業、最先端の研究・技術開発機能を有する施設の集積を促進するなど、大阪の成長・発展をけん引する産業創造・集積を図る拠点エリアの形成を推進します。

Ｅコマースの普及に伴う物流ニーズや府内での工場の建替などに伴う産業用地の需要の高まり、物流機能の高度化や物流拠点の複合化が見受けられるなど、時代のニーズにあわせて、高い立地ポテンシャルを有する高速道路ICなどの交通結節点周辺やベイエリアの低未利用地などの利活用、埋立などによる新たな土地造成、また、主要幹線道路沿道や道路整備にあわせた沿道周辺の土地利用転換などにより、新たな産業・物流用地を創出することで、産業競争力の強化を図ります。

また、企業や人材、大学などと連携したイノベーション創出拠点の形成や、MICEを通じたイノベーションの創出・ビジネスマッチングを促進することなどにより、大阪の産業の活性化を図ります。特に、夢洲から中之島・森ノ宮を經由して東大阪、さらには関西学研都市に至る東西軸等については、イノベーションの観点から各拠点間の連携強化を図り、都市軸の強化につなげます。



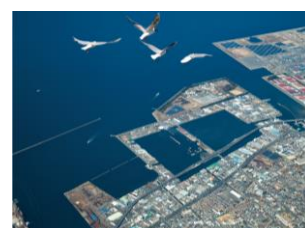
出典：地理院地図を加工して作成



箕面森町



彩都
提供:彩都建設
推進協議会



阪南港
木材港地区
提供:岸和田市



二色の浜
産業団地
提供:貝塚市



阪南
スカイタウン

① 大阪が強みを有する産業の強化

健康・医療関連産業のリーディング産業化をめざし、研究開発機能やイノベーション機能などを導入することにより、彩都、健都、未来医療国際拠点（中之島）における拠点形成をめざします。

- 彩 都： バイオや医薬等をはじめとする様々なライフサイエンス分野の研究・技術開発機能等を持つ施設等が集積したライフサイエンスの研究開発拠点
- 健 都： 国立循環器病研究センターを中心に医療関連企業・研究機関を誘致・集積する国際級の複合医療産業拠点
- 中之島： 再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能（AI）、IoTの活用等、最先端の未来医療の産業化及び国内外の患者への未来医療の提供による国際貢献を推進する未来医療国際拠点



彩都ライフサイエンスパーク
提供：彩都建設推進協議会



北大阪健康医療都市（健都）
提供：吹田市



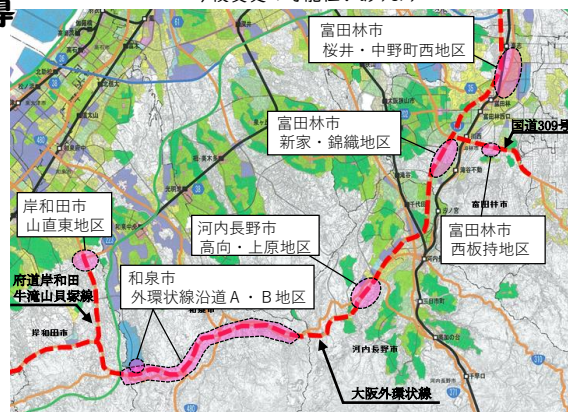
中之島4丁目 未来医療国際拠点
提供：中之島4丁目用地における
未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者
2021年5月時点のイメージベースであり、
今後変更の可能性があります

② バイエリアや主要幹線道路沿道等での産業立地の誘導

バイエリアや高速道路IC付近の丘陵地などでは、交通利便性や広大な土地の活用可能性などの立地ポテンシャルを活かし、産業立地の誘導を図ります。

第二京阪道路や大阪外環状線などの主要幹線道路沿道では、沿道まちづくりの方針に基づき、農空間や周辺環境・景観に配慮しながら、計画的な土地利用転換などを図ることで、産業立地を誘導します。

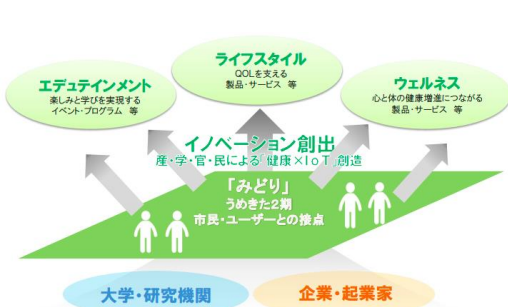
外環状線等沿道まちづくりの取組地区
出典：外環状線等沿道のまちづくり方針※を加工
（※平成28年1月策定 今後見直し予定）



③ イノベーション創出拠点の形成

うめきたでは、「ライフデザイン・イノベーション」をテーマに、IoTやビックデータの活用、スタートアップの集積等により、創業や医療機器開発などの分野をはじめ、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出し、また大阪城・周辺エリアの大阪城東部地区では、大阪公立大学森之宮キャンパスにおいて、都市シンクタンク機能、技術インキュベーション機能を強化し、新たなイノベーション拠点の形成をめざします。

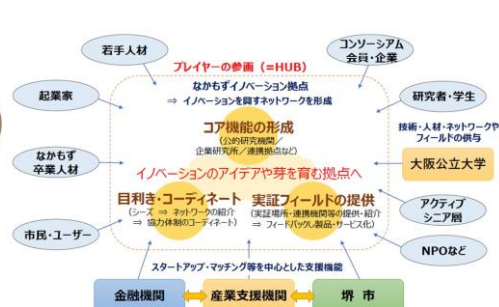
東大阪、八尾、中百舌鳥周辺などでは、交通利便性の高い立地条件を活かし、地元企業や大学、産業支援機関などと連携し、新たなイノベーションの創出をめざします。



うめきた ライフデザインイノベーションのイメージ
出典：大阪駅周辺地域部会資料



ハードウェアイノベーション推進拠点「みせるばやお」
提供：八尾市



コンソーシアムで作成した
中百舌鳥イノベーションエコシステムの将来像
提供：堺市

大阪の「都心部周辺」や「郊外部」は、都心部から各地域に延びる鉄道路線に沿って住宅供給がなされ、駅周辺を中心に一定の生活圏が形成されてきました。豊かな自然環境、歴史・文化・景観資源などを身近に感じることができることに加え、大阪の都心部まで駅から30分以内程度の時間で移動することができる地域が多く、また、神戸・京都・奈良・和歌山など周辺都市へのアクセス利便性も非常に高い特徴があります。

今後、テクノロジーの進展などによりライフスタイルが更に多様化していく中で、大阪が持つ自然環境などの地域資源と、大阪都心部などへのアクセス性の良さという特徴を最大限に活かしたまちづくりを、地域の多様な主体が共創し自立して進めることで、“新しい郊外”の創造をはじめ、様々なニーズに応じた新たな職住遊のライフスタイルを先導する「暮らしやすさNo.1」の都市をめざします。

テクノロジー × 地域資源 × 共創

自然も都会もおとなりさん



イメージ図 駅前空間の将来像



イメージ図 ニュータウンの将来像



イメージ図 自然豊かな山麓の将来像

1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造

駅周辺を中心に一定の生活圏が形成されているエリアについては、駅周辺への都市機能の集積や、駅前における人中心の空間への転換、公共施設などの都市ストックの再編、電動モビリティや自動運転バスなどの新たなモビリティの活用による移動手段の充実を図るとともに、鉄道沿線において、駅を中心としたエリアが相互にネットワーク化したまちづくりを進め、沿線地域の活性化など、鉄道沿線を軸としたまちづくりを推進します。

特に、急行停車駅など、多様な都市機能が集積し、地域の核となっている主要駅周辺においては、駅周辺の再整備などを通じて、都市機能の集約・更新・高度化を図り、拠点性を高めます。

公園や緑道などのみどりや地域の魅力ある歴史・文化を身近に感じられる環境の中、リモートワークや駅前のシェアオフィス、コワーキングスペースで働くライフスタイル、都心部へのアクセス性を活かした通勤などによるリアルでの交流に重点を置いたライフスタイルなど、多様なライフスタイルにあわせた職住遊のニーズを満たすまちづくりを推進します。

- 駅周辺への都市機能の集積や駅周辺を中心とした地域特性を活かした生活圏の形成および鉄道沿線まちづくりの推進
- 市街地再開発や密集市街地などの整備による都市機能の向上
- 駅前空間の車中心から人中心の空間への転換やエリアマネジメントによる居心地の良い空間の形成
- 広場空間や交流スペースなどを活用した多様な人材によるコミュニティの形成
- 電動モビリティや自動運転バス、AIオンデマンド交通などの新たなモビリティの活用による生活圏内の移動円滑化
- リモートワークやシェアオフィス、コワーキングスペースなどの活用による働く環境・場の創出
- 空家や空き店舗の利活用や商店街の活性化による地域の魅力の向上
- 公園や緑道などのみどりや、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの促進
- ZEB、ZEHの普及、エリア単位での効率的なエネルギー利用など、カーボンニュートラルへの取組 など

つなぐわ、広げるわ、育むわ



千里丘駅西地区再開発事業
出典: 摂津市HP

人がつながる、集う場となる、ひらかれた駅前

東西のまちがひとつとなる高石駅。
人々が行き交い、集い、活気あふれる。
自然と「訪れたくなる。歩きたくなる。過ごしたくなる。」
それがこれからの高石駅。



高石駅周辺整備イメージ
出典: 高石駅周辺整備基本構想

2) 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編

同時期に開発されたため一斉に住民の高齢化や建物の老朽化などが進むという課題を抱えているニュータウンをはじめとした住宅地エリアについては、市街地の更新にあわせ、公的賃貸住宅などの建替により創出される空間を活用することで、地域の成長につながる商業や教育、医療、業務機能などの導入や、コワーキングスペースや地域のにぎわいを生みだす交流スペースの創出などを行い、まちの活性化を図ります。

あわせて、空家のリノベーションなどによるライフスタイルにあわせた住まいや働く場の創出、周辺にある農地・里山などの田園環境を活かした農との共存、電動モビリティや自動運転バスなどの新たなモビリティの活用によるエリア内および周辺ニュータウンとの移動円滑化などを進めることで、これまでのベッドタウンとしてではなく、産官学民が連携し、多世代・多分野の人々が住み・働き・学び・交流し、新たな価値を生みだすことができるまちをめざします。

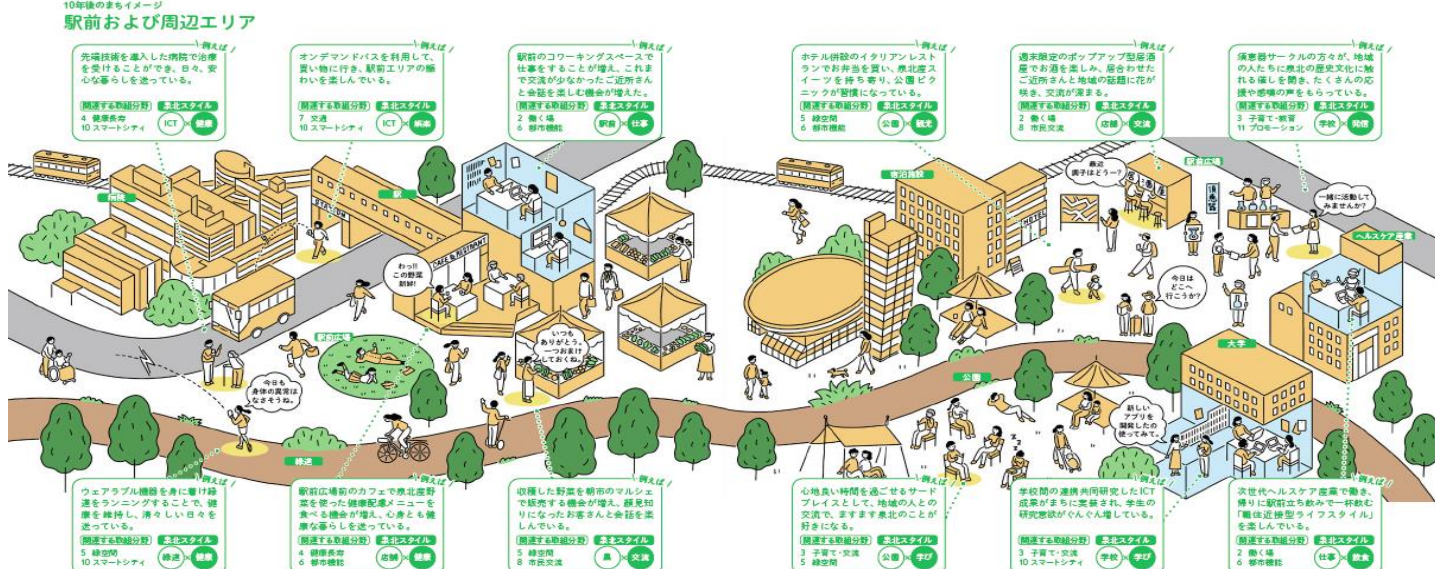
- 公的賃貸住宅などの建替等による活用地の創出、まちづくりへの利活用
- 地域の核となる商業施設や教育施設、医療施設、業務施設などの誘致
- 空家のリノベーションなどによるライフスタイルにあわせた住まいなどの創出
- リモートワークやシェアオフィス、コワーキングスペースの活用による働く環境・場の創出
- 広場空間や交流スペースなどを活用した多様な人材によるコミュニティの形成
- 家庭菜園や農業体験、地産地消など農との共存
- 電動モビリティや自動運転バス、AIオンデマンド交通などの新たなモビリティの活用によるエリア内および周辺ニュータウンとの移動円滑化
- 産官学民が連携したエリアマネジメントの取組
- ZEB、ZEHの普及、エリア単位での効率的なエネルギー利用など、カーボンニュートラルへの取組 など



スーパーシティ構想 in 南花台 出典：河内長野市HP



地域主体の暮らしやすいまち（河内地域の将来像）提供：四條畷市



3) 豊かな自然を活かしたまちづくり

山や海などの自然に近いエリアも、最寄り駅まで出れば鉄道の利便性は高く、都心部との移動が容易な距離にあります。

AIオンデマンド交通などによる駅とのアクセスを確保しつつ、古民家などをリノベーションしたワークスペースの創出や大阪の食を支える農業・漁業などのスマート化による効率化、テクノロジーの進展に伴うリモート教育やヘルスケアなどのサービス機能の提供、ドローン宅配による物資の提供などにより、日常生活の利便性を確保し、山や海など豊かな自然や農空間との触れ合いを楽しみながら多様な人々が生活できるまちづくりを推進します。

また、都心部とのアクセス利便性を活かしつつ、農業体験やハイキング、グランピングなどの自然を体験できる観光資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、ワーケーションやマルチハビテーション、観光などで訪れる人と地元住民との交流を促進し、地域の活性化を図ります。

- リモートワークや仮想空間での交流などによる働く環境の創出
- 古民家などのリノベーションによる住まいや働く場、コミュニティの場の創出
- 技術革新による農業、漁業のスマート化や生產品のブランド化
- リモート教育、ヘルスケア、ドローン宅配など先端技術を活用したサービスの提供
- 山や海などの自然資源や農空間の保全およびそれらを活かしたコンテンツや教育・余暇活動の提供・充実
- AIオンデマンド交通などによる駅との交通アクセスの確保
- 住まいや暮らし、働く環境の創出などの定住魅力や、歴史・文化、観光情報の発信などの都市プロモーションの実施
- 子育て支援などの関連するソフト施策との連携
- 再生可能エネルギー活用などカーボンニュートラルへの取組
- 他府県を含む隣接市町村との観光施策や防災の取組の連携

など



ドローン・クリケットフィールドでの
農業散布の実証実験
提供：貝塚市



農業体験
出典：熊取町HP



3DCGを活用したまちの活性化
(飯盛城3DCG再現プロジェクト)
提供：大東市



スケルトンカヤック
提供：せんなん里海公園



学習プログラムを通じた
アマモの保全・再生活動
提供：阪南市



観光プロモーション
出典：能勢町観光協会

豊かな自然環境や歴史・文化・景観資源をはじめとした多様な地域資源が集積する強みを活かし、府県域にとらわれず、広域的に連携することで、各地域、ひいては大阪・関西全体の活性化を図ります。

特に、海・川・山が都市部に近接するという大阪ならではの地形的要素に着目し、ベイエリア、河川空間、周辺山系のポテンシャルを活かしたまちづくりを推進します。

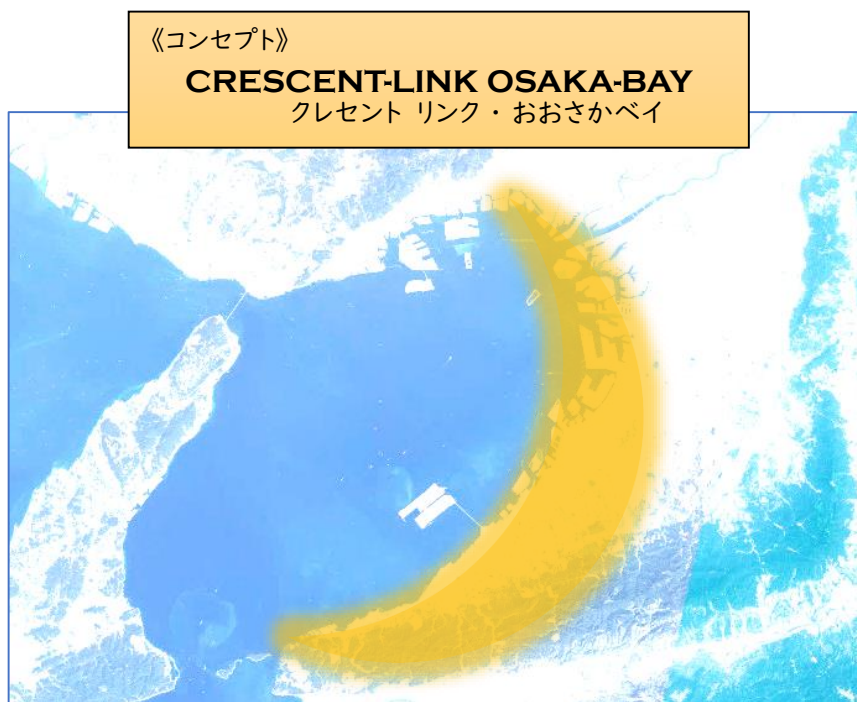
1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり

夢洲における大阪・関西万博等のインパクトや泉州地域沿岸部の様々な地域資源を最大限に活用しながら、ベイエリア全体を活性化し、更なる大阪・関西の発展につなげるため、ベイエリアにおけるまちづくりを推進します。

① まちづくりのコンセプトとめざす姿

大阪湾を舞台に、最先端技術、由緒ある歴史・文化と豊かな自然が調和し、世界とつながるヒト・モノ・コトの交流と成長を図るため、「クレセント・リンク・おおさかベイ」をコンセプトとして、大阪広域ベイエリア全体の活性化を図ります。

また、ベイエリアのみならず、その周辺地域とも連携を図りながら、世界中の人をひきつける文化・観光エリア、世界とつながり新たな価値を生み出す産業エリア、様々な恵みとうるおいをもたらす海辺環境エリアの形成や、それらを支える、誰もが安全・安心で快適に活動できるスマートなまちの実現に向けた取組を進めます。



《めざす姿》

世界中の人をひきつける
文化・観光エリア

世界とつながり新たな価値を
生み出す産業エリア

様々な恵みとうるおいをもたらす海
辺環境エリア

誰もが安全・安心で快適に活動できるスマートなまち

『CRESCENT-クレセント』

「三日月形のもの」「(月が)次第に満ちる・成長する」などの意味
大阪の臨海部の形状が三日月形であり、未来に向かい成長していく様を表す

『LINK-リンク』

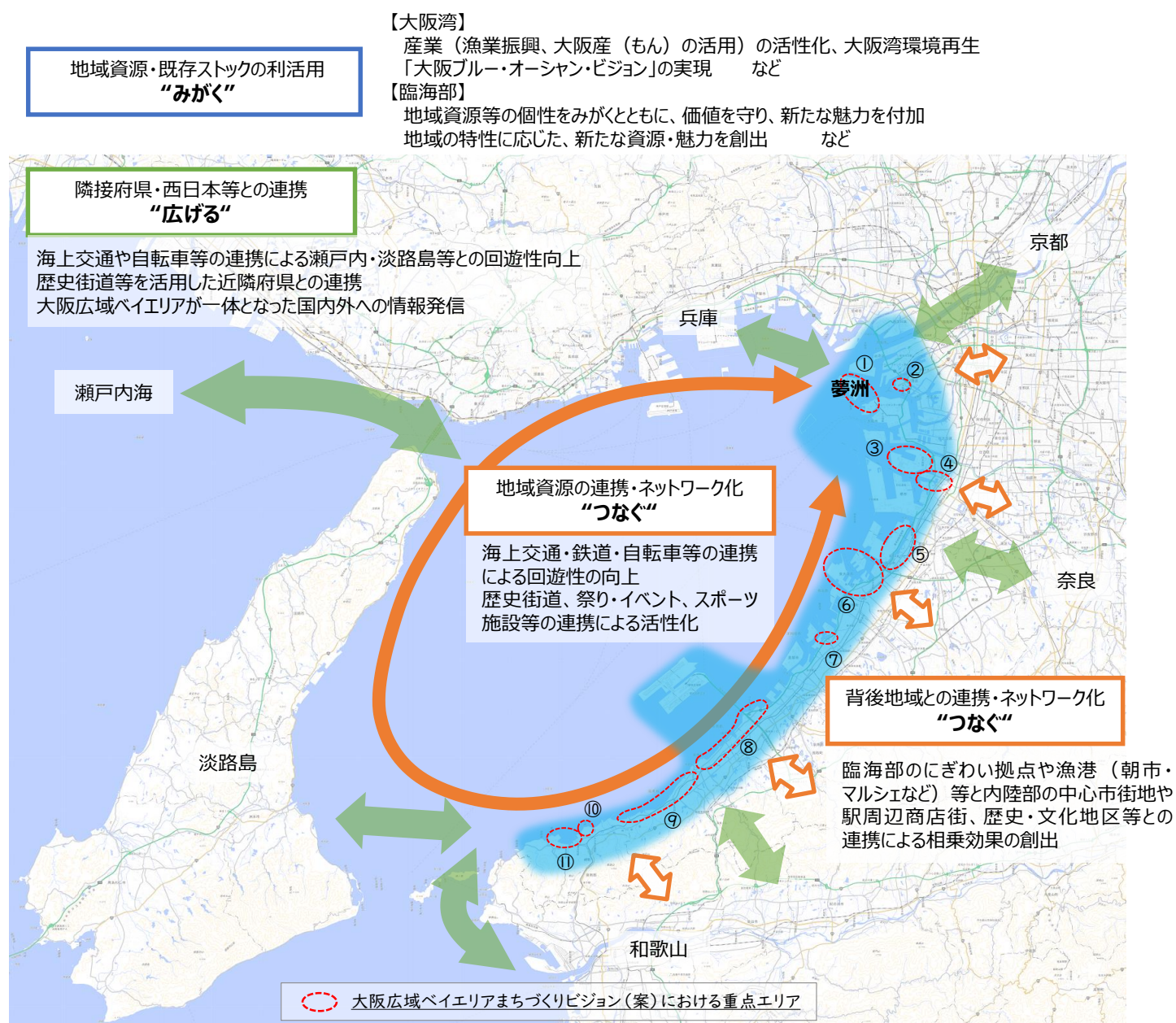
「つなぐ」「きずな」などの意味
多様なヒト・モノ・コトがつながる様やその場を表す

出典「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン(案)」

② 取組の方向性

バイエリア各地域の特徴を活かしながら、それぞれが持つ、多様な地域資源やストックを“みがく”とともに、その地域資源や取組、人などを“つなぐ”、その効果や活動の輪を“広げる”取組を進め、それらの相乗効果を高めることで、バイエリア全体の魅力を高めます。また、バイエリアでの活動が継続的な取組となるよう、公民連携による初動期の支援や担い手の育成など、“育てる”取組を進めます。

さらに、今後更なる活性化が期待されるエリアのうち、特に重点的に取り組む“重点エリア”を位置づけ、様々な主体が連携しながら取組を進めることで、更なるにぎわいの創出、産業の活性化を図り、定住人口や交流人口、関係人口の確保など、大阪・関西の発展に資するまちづくりを推進します。



【重点エリア】

- ① 夢洲・咲洲 ② 築港・天保山 ③ 堺浜 ④ 堺駅・堺旧港 ⑤ 浜寺水路周辺 ⑥ 泉大津旧港周辺 ⑦ 岸和田旧港周辺
⑧ りんくうタウン ⑨ はんなんさとうみ周辺 ⑩ みさき公園 ⑪ 深日港・多奈川臨海

取組のイメージ（みがく、つなぐ、広げる）

出典：「大阪広域バイエリアまちづくりビジョン（案）」を基に地理院地図を加工して作成

2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり

河川敷や船着場などに加え、その沿川の歴史・文化資源など、沿川市町村が有する個性豊かなストックを活かし、多様な主体と連携しながら、取組を進めることで魅力あるまちづくりを推進します。

また、近年の気候変動による災害の頻発化や地震等の有事にも速やかに対応できる住みやすいまちづくりを推進します。

○ 水上交通結節機能の強化や交流空間の形成

- ・ベイエリアから水の回廊へつながる海と川を結ぶ結節点における、水辺のにぎわい拠点の形成
- ・河川空間における民間活力を活かしたにぎわいの創出や、治水機能を有した公園の利活用によるレクリエーション空間の創出
- ・淀川における舟運と連携した沿川地域の魅力向上
- ・沿川の歴史・文化資源など、地域の魅力を感じることができるサイクルツーリズム等の取組の推進
- ・かわまちづくり制度等を活用した舟運の活性化や水辺空間の整備等による沿川のにぎわいづくり

○ 新たな移動手段を活用したまちづくり

- ・河川空間における空飛ぶクルマなど新たなモビリティの運航ルートの確保と発着地のにぎわいの創出

○ 防災・減災の視点を兼ね備えたまちづくり

- ・災害へのハード・ソフト両面の対応力を備えたまちづくりの推進
- ・淀川大堰閘門の整備による防災力の向上と舟運の活性化・沿川のにぎわいの創出
- ・河川防災ステーションなど有事において災害拠点として利用可能なにぎわい拠点等の形成

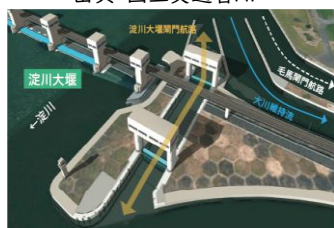
○ ダム周辺の環境を活かした魅力あるまちづくり

○ 隣接府県・市町村と連携した沿川の魅力創造

など



淀川舟運
出典：国土交通省HP



淀川大堰閘門（イメージ）
出典：国土交通省HP



中之島GATE
出典：大阪市提供



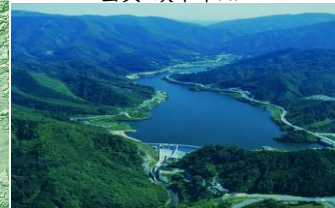
TUGBOAT TAISHO
出典：水都大阪コンソーシアム HP



河川空間を活かした魅力あるまちづくり



ダム周辺の環境を活かした魅力あるまちづくり（安威川ダム）
出典：茨木市HP



ダム周辺の環境を活かした魅力あるまちづくり（滝畑ダム）
提供：大阪府



沿川を活用したサイクルルート
提供：大阪府



河川防災ステーション
出典：八尾市HP

3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり

都市との近接性を活かし、身近にみどりを感じられる山や森林、自然歩道などの自然資源等を最大限に活用しながら、自然にふれあい、学び、体験できる場を創出するなど、周辺山系におけるまちづくりを推進します。

- ハイキングイベントやグランピングなどの取組による周辺山系のにぎわい創出
- 民間のアイデアやノウハウを活かした府民の森等の魅力向上
- 自然資源、歴史・文化資源、風景地、ビュースポット等のネットワークによる、回遊性の向上及び活性化
- 農空間の保全や森林保全による周辺山系全体の魅力向上
- 農の資源やポテンシャルを活かした地域の活性化
- 子どもから大人まで楽しむことができる、魅力的な自然体験活動の提供や情報発信による認知度の向上 など



景勝地(箕面大滝)
提供:箕面市観光協会



ハイキング(なるかわ園地)
提供:大阪府



南河内グリーンロード
提供:大阪府



奥山雨山自然公園
出典:熊取町HP



サイクルロゲイニング
提供:大阪府



周辺山系の自然資源等



初谷溪谷
出典:豊能町HP



府指定天然記念物(大沢のスギ)
出典:大阪府HP



ナイトウォーク(ほした園地)
提供:大阪府



ダイヤモンドトレール
出典:大阪府HP



竹資源活用プロジェクト
(岸和田GreenVillage構想)
出典:岸和田市HP

4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成

歴史・文化・景観・アートなどの魅力的な地域資源を活かし、まちの魅力を内外に発信していくとともに、地域の多様な担い手と連携して、にぎわいと魅力あふれる都市空間を形成し、地域の活性化を図ります。

① 歴史・文化等を活かした魅力あふれる都市空間の創造

訪れる人々が気軽に歴史・文化資源に触れ合い、楽しむことができる魅力あふれる都市空間の形成や、公民連携による都市魅力の向上に向けた取組により、にぎわいのあるまちづくりを推進します。

○ 歴史・文化資源等の相互連携による地域の活性化

- ・世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」や日本遺産「竹内街道・横大路（大道）」、歴史街道など歴史・文化資源を巡る観光ネットワークの形成
- ・自転車や新たなモビリティ等でつなぐ周遊ルートの形成による回遊性の向上

○ 歴史・文化資源等を活かした都市魅力の向上

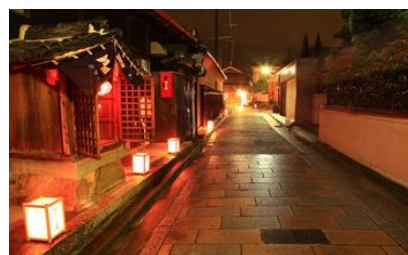
- ・公民連携による歴史・文化資源や伝統産業を活用した地域振興
- ・豊かな食文化の継承と魅力発信 など



大阪城
出典：水都大阪コンソーシアムHP



難波宮跡
出典：大阪公式観光情報HP



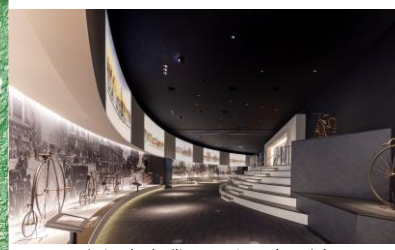
竹内街道
出典：太子町観光・まちづくり協会HP



豊富な歴史文化の集積（イメージ）



狭山池
提供：大阪府



自転車産業のあゆみ（堺市）
提供：シマノ自転車博物館



岸和田城
出典：岸和田市HP



大阪の食
出典：大阪府HP



百舌鳥・古市古墳群
出典：大阪府HP

② 景観資源を活用した魅力あふれる都市空間の創造

景観資源を守りその活用を通じ地域の魅力をさらに高め、訪れる人々やそこに住む人々が愛着をもつことができる魅力あふれる都市空間の創造をめざします。

○ 歴史・文化・自然資源・都市景観等を活用した魅力あふれるまちづくり

- ・歴史・文化資源、都市インフラ、夜間景観など、様々なストックやポテンシャルを活かした魅力ある景観づくり
- ・高度な都市機能の集積地にふさわしい都心部の景観形成や、都心部周辺、郊外部の駅周辺での地域性を活かし、周辺との調和に配慮した景観形成
- ・湾岸軸・河川軸・山並み軸等を定めた景観計画等を活用した規制誘導による地域特性に応じた良好な都市景観の形成など



寺内町
出典：富田林観光協会



御堂筋夜間景観 (イメージ)
出典：大阪・光の饗宴実行委員会



棚田 (千早赤阪村)
提供：大阪府



田尻スカイブリッジ
出典：田尻町HP



歴史資源と都市
出典：都市景観ビジョン・大阪



川の景観
出典：高槻市HP

③ アートを活用した魅力あふれる都市空間の創造

アートを身近に体験できるように地域の様々な主体が連携し、公園や駅などの公共空間をはじめ、まち全体で文化・芸術に親しめる空間の創出を図り、にぎわいと、魅力あふれるまちづくりを推進します。

○ 文化・芸術空間の創出による都市魅力の創出

- ・多様な自然資源とアートの融合による新たな価値を感じられる空間の創出
- ・建築物をアートスポットとして活用した多様な人々の交流とにぎわいの創出
- ・公共空間や広場空間と文化芸術とが連携した、回遊性とまちの魅力向上

など



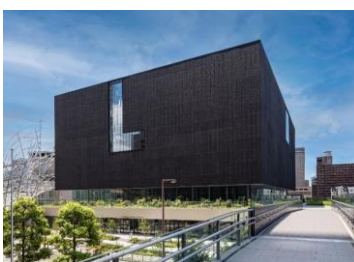
御堂筋彫刻ストリート
出典：大阪市HP



自然風景の中のアート (能勢町)
出典：のせてんアートラインHP



アートのまち北加賀屋 (大阪市)
出典：大阪市HP



大阪中之島美術館
出典：中之島美術館HP



現代美術の森 (万博記念公園)
出典：万博記念公園HP

大阪・関西の国際競争力を強化し、持続的な経済成長を促進するため、国土軸を形成するリニア中央新幹線や北陸新幹線の整備とともに、都市の骨格となる交通ネットワーク整備や、円滑な交通処理を図るための既存ストックの改良等の対策を進めます。

新たなテクノロジー等を活用した次世代の交通システムも含め、人・モノの流動の基盤となる陸海空の基幹的な交通網の充実・強化を図り、これらの交通インフラと連携したまちづくりを推進します。

また、人口減少・少子高齢化の下で多様な暮らし方・働き方を支える「人中心のまちづくり」を実現するため、誰もがいつでも安心して快適に移動できるよう、様々な交通インフラやそれらをつなぐ「まち」全体のユニバーサルデザイン（UD）化の推進や、ゆとりある空間や魅力も備えた公共空間の創出、さらには、デジタル技術の活用による利便性の向上、新たな価値の創造などにつながるスマートシティをめざして、まちづくりを推進します。

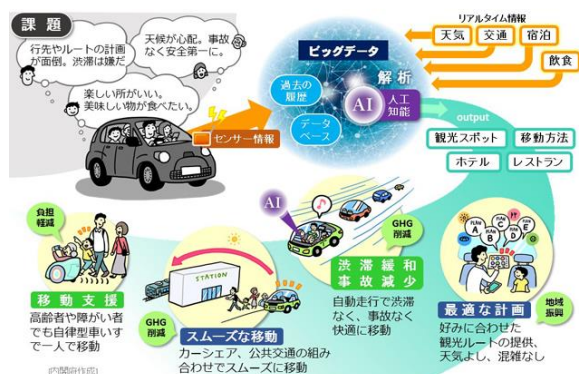
移動の快適性や回遊性などを高めていくにあたっては、既存の交通ネットワークに加え、近年、環境や健康面からも注目されている自転車をはじめ、最先端技術による新たなモビリティなども活用したまちづくりを推進します。



次世代都市交通サービスに対応したインフライメージ
出展：国土交通省HP



出展：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」



Society 5.0 新たな価値の事例（交通） 出典：内閣府HP



駅まち空間における一体的な都市アセットのイメージ
出典：駅まちデザイン検討会「駅まちデザインの手引き」

1) 交通インフラと連携したまちづくり

① 道路ネットワークの機能強化と沿道まちづくり

国土軸やベイエリア・関空等へのアクセス道路・府県間道路など都市の骨格となる、7放射軸・3環状軸の形成をめざし、道路ネットワークの充実・強化を図るとともに、慢性的な交通渋滞の緩和に向けた取組を推進します。

幹線道路沿道等については、その高い立地ポテンシャルを有効に活用し、周辺環境や地域特性に配慮しつつ、幹線道路の整備との連携等も図りながら、産業、物流や商業等の立地を中心とした計画的なまちづくりを推進します。

また、高速道路の渋滞緩和を図るとともに利用しやすい料金施策や、道路利用者への利便性の高いサービス提供を目的としたスマートインターチェンジの設置など、既存のインフラストックの活用を促進します。

■ 道路ネットワークの機能強化

○ 幹線道路ネットワークの充実・強化

・ミッシングリンクの解消やリダンダンシーの確保などに資する幹線道路ネットワークの整備

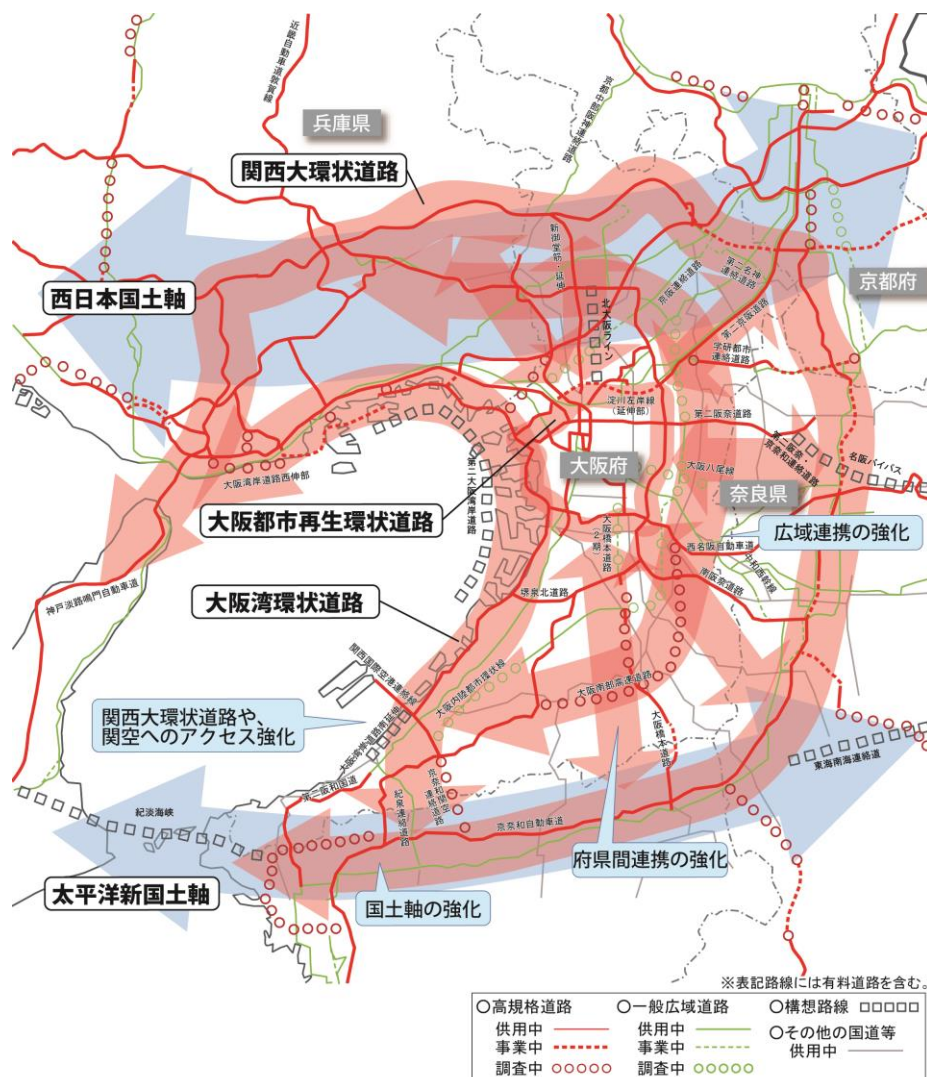
など

○ 慢性的な交通渋滞の緩和

・道路拡幅、バイパス整備、立体交差化や交差点改良などの道路整備

・鉄道との立体交差化

など



出典：高規格道路・一般広域道路・構想路線は、「近畿ブロック 新広域道路交通計画（令和3年7月 近畿地方整備局）」より作成



道路整備事例（イメージ）
出典：大阪府HP



立体交差化事例（イメージ）
出典：大阪府HP



交差点改良事例（イメージ）
出典：国土交通省近畿地方整備局



鉄道との立体交差化事例（イメージ）
出典：大阪市

■ 幹線道路沿道まちづくり

幹線道路沿道における立地ポテンシャルを活かし、幹線道路の整備との連携等も図りながら、市街地整備の取組を推進します。

- 土地区画整理事業による市街地整備
- 地区計画による土地利用誘導

など



新名神高速道路沿道：高槻市成合南地区
提供：高槻市



第二京阪道路沿道：交野市星田北地区



第二京阪道路沿道：門真市北島東地区



国道309号沿道：松原市新堂4丁目地区
提供：松原市



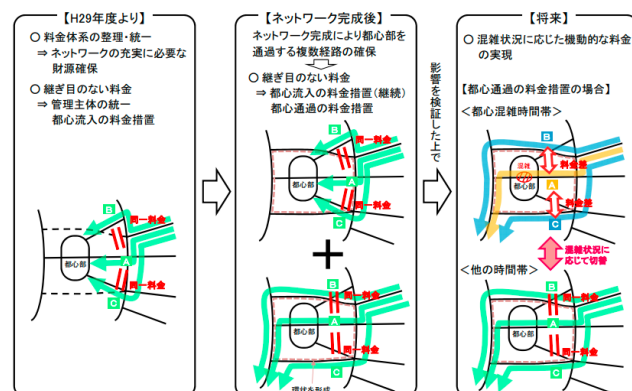
大阪外環状線沿道：岸和田市岸和田丘陵地区

■ 既存道路ストックの効果的な活用

既存の道路ストックを最大限活かした取組を推進します。

- 混雑状況に応じた機動的な料金の実現
- 道路利用者への利便性の高いサービス提供
 - ・スマートIC (ETC専用インターチェンジ) の設置
- 「道の駅」の機能の多様化
 - ・交流活動拠点、歴史散策拠点、防災拠点等

など



道の駅の機能

基本3機能



- 機能の多様化
- ・交流活動拠点(探鳥、ウォーキング、サイクリング等)
 - ・防災拠点(地震・津波・豪雪等)
 - ・日本風景街道拠点等

交流活動拠点 道の駅「かなん」



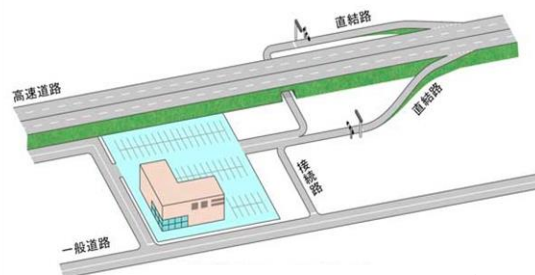
防災拠点



歴史散策拠点等



戦略的な料金体系(イメージ)
出典:国土交通省



民間施設直結スマートIC(イメージ)
出典:国土交通省

道の駅の活用(イメージ)

出典:多様な機能を持った「道の駅」の整備について(国土交通省)
全国「道の駅」連絡会(国土交通省)より作成

② 交通ネットワークの充実と沿線まちづくり

国土軸や広域拠点などへの鉄道などによるアクセス性の向上やネットワークの多重化を図るとともに、都市間の連携強化や、観光拠点へのアクセス性の向上を図ります。

都市の更なる発展や、人口減少・高齢化社会にも対応した利便性の高い交通をめざし、BRTなど新たな交通システムの導入や、AIオンデマンド交通、自動運転バスなど新たなテクノロジーを活かした交通手段の導入などの取組を推進します。

様々な交通モードの接続乗り換え拠点の整備、交通機関等におけるユニバーサルデザイン（UD）化の推進、MaaSの活用などによる安全・安心で快適な移動の確保や観光等の回遊性の向上を図る取組を推進します。

また、鉄道沿線のまちづくりや鉄道高架化・地下化による分断された市街地の一体化、既成市街地の駅前再整備などを進め、鉄道沿線において地域の特色を活かしたまちづくりを促進します。

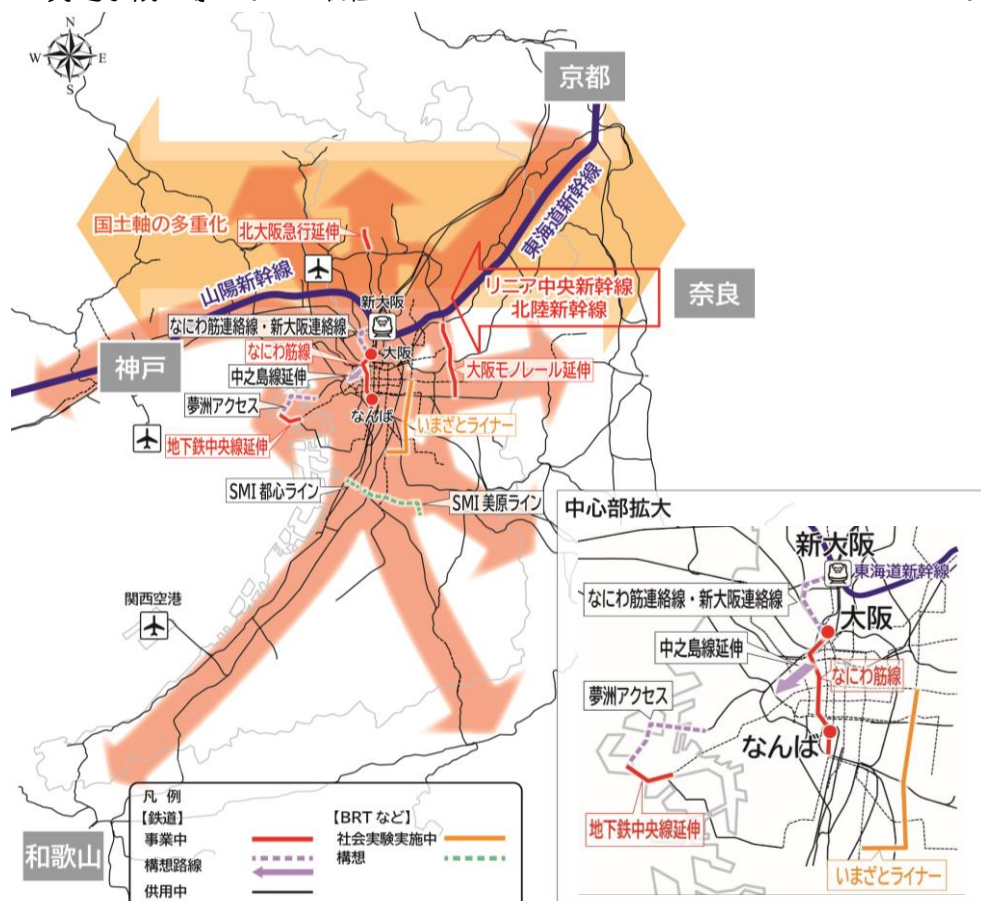
■ 鉄道をはじめとした公共交通ネットワーク等の充実

○ 大阪の中核機能へのアクセス性向上

- ・リニア中央新幹線、北陸新幹線の早期全線開業
- ・なにわ筋線、地下鉄中央線夢洲延伸の整備
- ・なにわ筋連絡線・新大阪連絡線、中之島線延伸、夢洲アクセス等の実現
- ・マルチモードな広域交通結節施設の実現

○ 都市間の連携強化、観光地等へのアクセス性の向上

- ・北大阪急行延伸、大阪モノレール延伸の整備
- ・BRTなど新たな交通システムの導入
- ・AIオンデマンド交通、自動運転化されたバスなど新たなテクノロジーによる交通手段の導入などの取組



出典：大阪府「公共交通戦略（R1.11改定）」等を基に地理院地図を加工して作成



北陸新幹線 出典：JR西日本HP



大阪モノレール 出典：大阪府HP



SMI都心ラインイメージ 提供：堺市



高速バスターミナル（イメージ）



自動運転・隊列走行BRT社会実験
出典：JR西日本HP

■ 安全・安心で快適な移動の確保

- 様々な交通モードの接続強化・乗り換え拠点の整備（モビリティ・ハブ）
- 乗継ぎ等の移動負担の軽減
 - ・交通機関間を結ぶ民間施設も含めたわかりやすい乗換案内
 - ・鉄道の相互乗入運転など乗継負担の軽減 など
- 交通機関等におけるユニバーサルデザイン（UD）化の推進
 - ・可動式ホーム柵などの転落対策
 - ・ユニバーサルデザイン（UD） タクシーの普及促進 など
- 最適な移動経路案内や観光・食事・買い物等の情報などシームレスな情報の一元化（MaaSの活用） など



可動式ホーム柵



フルスクリーンホームドア

出典：JR西日本HP



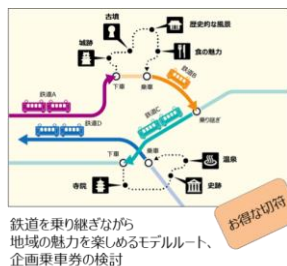
ユニバーサルデザインタクシー
出典：国土交通省HP

■ 観光・にぎわいづくり

- 多機能デジタルサイネージ等を用いた情報提供
- 歴史・文化資源等を活用した観光地や地域をつなぐ観光ルートの構築やプロモーションの促進 など



多機能デジタルサイネージによる観光情報、乗継情報の発信



鉄道を乗り継ぎながら地域の魅力を楽しむモデルルート、企画乗車券の検討

出典：大阪府「公共交通戦略」

■ 鉄道整備等に合わせたまちづくり

鉄道の延伸や鉄道高架化・地下化事業等に合わせて、市街地整備等のまちづくりを推進します。

- 鉄道延伸沿線のまちづくりの推進
 - ・大阪モノレール延伸部、北大阪急行延伸部のまちづくりの推進 など



大阪モノレール延伸 (仮称) 荒本駅 (イメージ)
提供：大阪府



北大阪急行延伸部まちづくり 出典：箕面市HP

- 鉄道高架化・地下化とあわせたまちづくりの推進



うめきた2期まちづくり 新駅イメージ図
出典：JR西日本HP



羽衣駅前地区 市街地再開発事業
出典：高石市HP



光善寺駅西地区 市街地再開発事業
出典：枚方市



高架下の利用事例 (もと公園)
出典：泉大津市HP

③ 空港・港湾の機能強化等

新型コロナ禍からの人流・物流の回復に加え、大阪・関西万博の開催なども見据え、国際競争力の更なる強化を図るため、西日本のゲートウェイとしての空・海の機能の強化を図ります。

■ 空港の機能強化等

○ 関西国際空港の機能強化

- ・旅客処理能力の拡大(第1ターミナルビルのリノベーション等)
- ・国際線・国内線ネットワークの拡充
- ・災害対応力の強化

など

○ 空港へのアクセス利便性の向上

- ・道路・鉄道・海上交通・エアモビリティ等によるアクセス向上

など



第1ターミナルビルリノベーション
(改装イメージ) 提供: 関西エアポート(株)



アクセスサイン
提供: 一般財団法人関西観光本部



神戸-関空ベイ・シャトル
出典: (株)こうべ未来都市機構

■ 港湾の機能強化等

○ 港の国際競争力の強化

- ・大阪港における国際コンテナ戦略港湾としての機能強化
(集貨、創貨、競争力強化(船舶の大型化に対応した施設整備等))
- ・物流拠点としての更なる機能強化
- ・コンテナターミナルの効率化等(AIターミナルの取組)
- ・堺泉北港の埠頭再編による中古車輸出拠点、内航RORO等の機能強化

など



夢洲コンテナターミナル
出典: 大阪港湾局HP



AIターミナルの取組 出典: 国土交通省HP

○ 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等

- ・大阪“みなと”カーボンニュートラルポートの形成

など

○ みなと・海岸のにぎわい創出

- ・クルーズ客船誘致、客船ターミナル整備
- ・湾内クルーズの充実
- ・海上交通による交流機能の充実
- ・沿岸市町、企業等と連携した港湾緑地の活用

など



此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり構想
(イメージ)

出典: 大阪市此花区HP

2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり

① 人中心の快適で魅力ある空間の創出

世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から“人中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場へ再編していく取組が進められ、都市に活力を生み出し、持続可能かつ高い国際競争力の実現につながっています。

まちのメインストリートなどにおいて、ゆとりある空間や良好な景観の形成などによる「居心地が良く歩きたくなる」都市空間の形成や公民連携によるエリア価値向上等の取組などにより、にぎわいにあふれ、魅力あるまちづくりを推進します。

また、高齢者や障がい者等はもちろん、誰もが安心して快適に利用できるよう、ユニバーサルデザイン化を推進し、安全・安心な公共空間の創出を図ります。

■ ウォークラブルな都市空間の形成

- 道路空間の再配分による歩行者の利便増進の空間の創出や道路占用を誘導する取組（ほこみち制度の活用）
- 連続的・立体的な路面形成の取組
- 広場や民有地を含むオープンスペースや公園の利活用の取組
- 多様な主体によるエリアマネジメント活動の推進（都市再生推進法人の活用等）
- 良好な都市景観の形成（植栽・緑化、無電柱化、沿道建物の景観誘導など）
- 社会実験等によるまちの新たな可能性発掘
- デジタル技術・データの活用、スマートシティの社会実装に関する取組

など

Walkable	歩きたくなる	居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。
Eye level	まちに開かれた1階	歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えたと、人は歩いて楽しくなる。
Diversity	多様な人の多様な用途、使い方	多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。
Open	開かれた空間が心地良い	歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化（宮崎県日南市）



駅前のレストランモール化と広場創出（兵庫県姫路市）





2つの開発の調整により
一体整備された神社と森（東京都中央区）



道路を占用した夜間オープンカフェ（福岡県北九州市）



公園を芝生や民間カフェ設置で再生（東京都豊島区）



出典：国土交通省「官民連携ポータルサイト」

【道路空間】
「世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ」
～まちとつながり、人がつながっていき新たな価値を創出する空間へ～

【道路空間の取組み】
人中心～フルモール化
御堂筋完成100周年をターゲットイヤーとした
検討と実践を推進

【都 市】
都市のリノベーション～大阪・関西の成長
～都市のリノベーションを推進するトリガーとしての道路空間の再編～

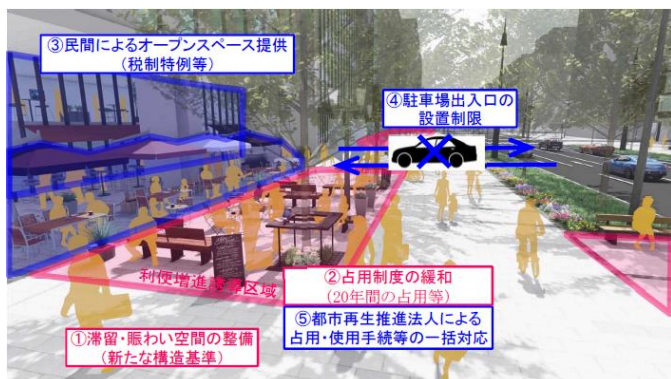


御堂筋 フルモール化イメージ
出典：大阪市「御堂筋未来ビジョン」

都市インフラネットワーク



SMI都心ラインとウォークラブルな空間のイメージ
提供：堺市



歩行者利便増進道路と滞在快適性等向上区域との連携 出典:国土交通省

大阪市エリアマネジメント活動促進制度*を活用した
グランフロント大阪TMOにおける取組

<歩道空間の管理>



※自治体によって徴収する安定的な財源で、民間団体（都市再生推進法人）による道路等の公共空間での継続的で自由度の高い活動や質の高い維持管理が可能

エリアマネジメント活動促進制度 出典:大阪市

■ まちのユニバーサルデザイン(UD)化の推進

○ 公共空間、施設等における一体的なバリアフリー化の推進

- ・歩行空間の整備、段差・勾配の改善
- ・無電柱化等の推進
- ・ベンチ等休憩施設の設置
- ・エレベータやスロープ等の設置

など

○ 情報のバリアフリー化の推進

- ・多言語表記など標識、サインの表記改善
- ・多機能デジタルサイネージによる案内
- ・デジタル技術を活用した誘導案内
- ・ユニバーサルデザイン化マップの作成

など



基本構想による面的・一体的なバリアフリー化の事例
出典:大阪府鉄道駅等バリアフリー化促進方針



多言語表記による経路床面案内表示(事例)



横断歩道部での
整備例



啓発用シール
(クリアランスシール)

歩道のバリアフリー事例 出典:大阪市HP



植栽帯と一体的に設置されたベンチ(事例)



ユニバーサルデザイン化マップの事例
出典:高槻市バリアフリー基本構想

② 自転車を活用したまちづくり

環境負荷の低減、健康増進、災害時における交通機能の維持等の観点から身近なモビリティである自転車を活用したまちづくりを推進します。

また、2025年大阪・関西万博の開催を契機に、国内外からの多くの来阪者が安全、快適に府内各地を周遊できる環境の整備に向けて、広域的な自転車通行環境の充実を図るとともに、自転車に乗ることそのものを楽しむ、あるいは自転車で地域を巡り、サイクルルート沿線の魅力を楽しむなど観光振興の推進や地域資源の活用の観点から、近隣府県や市町村などの広域連携による自転車を活用したまちづくりを推進します。

- 「淡路島一周（アワイチ）」、「琵琶湖一周（ビワイチ）」、「京奈和自転車道」等の関西各地域のサイクルルートと連携した広域ルートの設定
- 自転車走行環境の整備
 - ・歩行者、自転車、自動車が適切に分離された自転車通行空間の整備
 - ・路面表示や案内サイン等の整備
 - ・国道・府道・市町村道の自転車通行空間のネットワーク化
- 自転車利用者の受入環境の整備
 - ・サイクルポートやサイクルサポートステーションの設置促進
- 自転車を活用した魅力的な地域資源の周遊コースの設定
- シェアサイクルやレンタサイクル等と公共交通との連携（MaaSの社会実装）
- アプリの活用等による情報発信

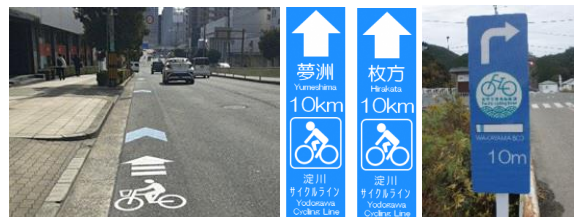
など



自転車通行空間 事例



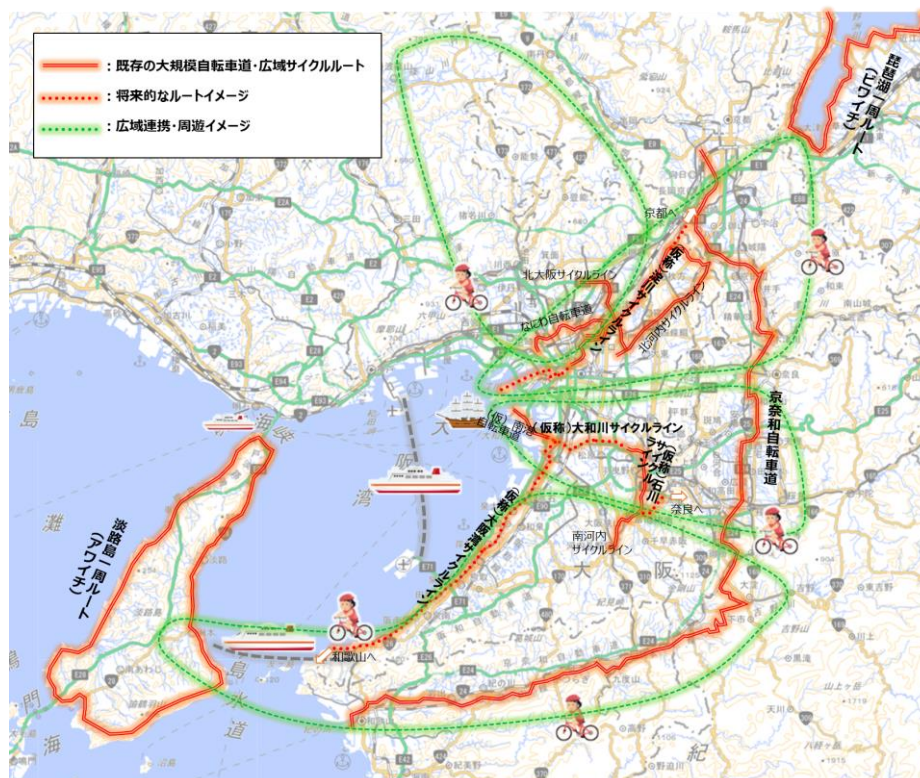
サイクルポート 事例



路面表示、案内サイン 設置イメージ

出典：広域的な自転車通行環境整備事業計画（大阪府、大阪市、堺市）及び国土交通省HP

<自転車を活用した広域連携まちづくり>



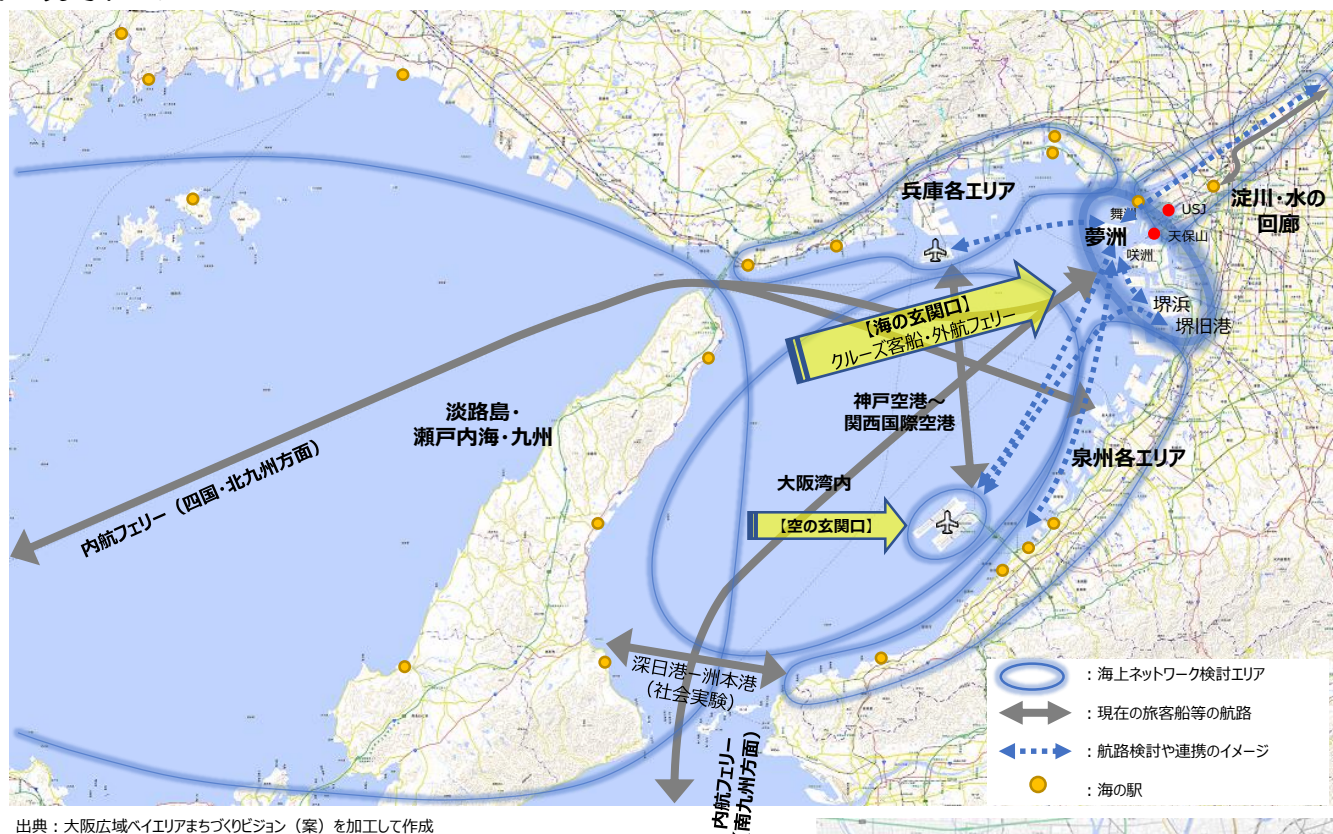
出典：地理院地図を加工して作成

③ 水上交通を活用したまちづくり

多様な移動手段の確保、ベイエリアの回遊性を高めるため、大阪湾内の拠点を結ぶネットワークの充実や、海の駅などの活用による海洋性レクリエーションの活性化とあわせて、周遊クルーズの充実等によりベイエリア全体の魅力を高めていきます。

さらに、大阪湾と瀬戸内・西日本等を結ぶネットワークと水都大阪（水の回廊）や淀川舟運と連携したネットワークなどの充実により、広域的な人の動きを創出します。

<水上交通ネットワークイメージ>



出典：大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）を加工して作成

- オール大阪でのクルーズ客船誘致の推進
- 湾内クルーズの充実
- 大阪・夢洲～堺～関空の水上ネットワークの形成
- 大阪湾と瀬戸内・西日本や兵庫・和歌山を結ぶネットワークの形成
- 淀川舟運による京都方面との水上ネットワークの充実
 - ・ 淀川大堰開門の設置等
- 水の回廊など「水都大阪」と連携した水上ネットワークの充実
 - ・ 中之島ゲートエリアにおける拠点整備等
- 海と川を運行可能な船舶や水素船など新技術を活用した船舶の導入促進 など



淀川を航行する観光船
出典：淀川河川事務所HP



深日洲本ライナー
出典：岬町HP



水素燃料電池船イメージ
提供：岩谷産業㈱



出典：大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）

④ 新たなモビリティを活用したまちづくり

鉄道やバスといった従来の公共交通や自動車・自転車といった移動手段だけでなく、誰もが快適に移動できる手段として、新たなテクノロジーによるモビリティが開発されており、普及しつつあります。

新たなモビリティは、移動のニーズに応じて、従来の公共交通機関からのいわゆる“ラストワンマイル”となる補完交通としての役割を担い、また中心市街地の活性化、回遊性の向上や観光振興にも資するものです。

こうした新たなモビリティを活用したまちづくりを推進するとともに、将来の技術革新による最先端モビリティの普及などにも幅広く対応していきます。

また、これらの様々な移動手段をシームレスにつなぎ、多様なサービスが選択できるMaaSの社会実装をめざします。

- 移動のニーズに応じたAIを活用したオンデマンド交通や、自動運転バス・タクシーの活用
- LRT、グリーンスローモビリティなどの活用
- 電動キックボードをはじめとしたパーソナルモビリティなどの活用
- 新たなモビリティや、車や自転車等のシェアリングサービス等を含めた様々な移動手段をシームレスにつなぎ、多様なサービスが選択できるMaaSの社会実装

など



MaaSの概念 出典：国土交通省 総合政策局HP



AIオンデマンド交通 イメージ
出典：「大阪スマートシティ戦略VER.2.0」



グリーンスローモビリティ社会実験
出典：河内長野市HP



パーソナルモビリティ 出典：国土交通省HP



電動キックボードのシェアリング
出典：「2040年、道路の景色が変わる」
国土交通省



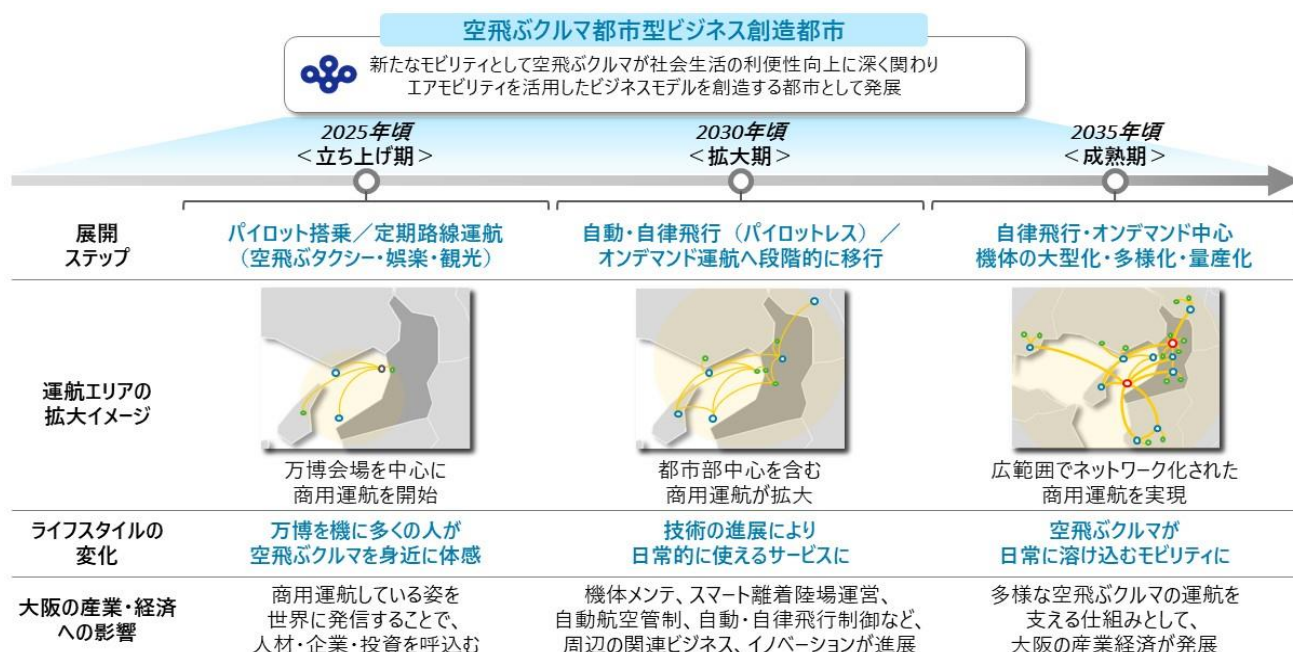
自動運転モビリティ
出典：「大阪スマートシティ戦略VER.2.0」

⑤ エアモビリティを活用したまちづくり

短中距離の空の移動を可能とするいわゆる“空飛ぶクルマ”の実現に向け、世界的にも関心の高まりがみられており、大阪においては、エアモビリティを活用したビジネスモデルを創造する『空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市』としての発展をめざし、まずは2025年大阪・関西万博における商用運航の実現に向けて取組を推進します。

この空飛ぶクルマについては、安全かつ安価に人や物の移動を可能とする機体やサービスが実現すれば、例えば、都市部や山間部での新しいサービスの展開により、都市部での移動時間の短縮、山間部での移動の利便性の向上、救急救命や災害時の迅速な救助活動・物資輸送など、各地での課題解決につながることが期待されます。

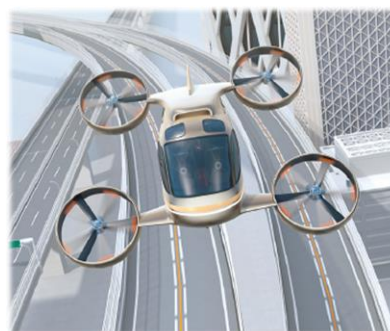
新たなモビリティとして空飛ぶクルマが社会生活の利便性の向上に深くかわり、将来的には、日常使いのモビリティとして使われていくことを見据え、交通結節点である主要駅やビルの屋上、商業施設等の駐車場、ウォーターフロント・リバーフロントなど、空飛ぶクルマの離着陸場の整備を視野に入れたまちづくりを推進します。



大阪版ロードマップ策定のコンセプト(出典:大阪府HP)



出典:経済産業省HP



出典:「大阪府における
空の移動革命社会実装に向けて」
パンフレット

今後、遠くない将来に発生する可能性がある南海トラフ地震や地球温暖化に伴う気候変動等による気象災害リスクに的確に対応するため防災・減災対策に加え、気候変動そのものの緩和策として、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた取組が必要不可欠であり、これらを踏まえた安全・安心で住みよい都市環境づくりを推進します。

1) 安全・安心なまちづくり

① 人命を守る都市機能の強化

近年、風水害を中心に、自然災害が激甚化、広域化する中で、災害時におけるインフラ施設の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る減災の考え方も踏まえ、人命を守ることを最優先に、ハード・ソフト両面で高い災害対応力を備えたまちづくりを推進します。

■ 防災・減災の視点に立った土地利用誘導

安全なまちづくりや住宅立地の安全性確保といった防災・減災の取組を推進するため、災害ハザードエリアでの開発の抑制や災害リスクを踏まえた居住誘導など、都市計画手法を活用しつつ、防災・減災の視点に立った土地利用誘導を図ります。

■ 地震・津波・高潮対策

南海トラフをはじめとする巨大地震や台風時の高潮から、人命を守ることを最優先に、被害を最小化するための取組を通じて、災害に強いまちづくりを推進します。

- 地震時等に著しく危険な密集市街地の解消
 - ・延焼遮断帯の整備、老朽建築物の除却・建替の促進、避難路や公園・防災空地の整備
 - ・多様な主体と連携した防災まちづくり
- 住宅・建築物の耐震化や市街地不燃化の促進
- 津波や高潮から生命・財産を守るための防潮堤の液状化対策や三大水門（木津川水門、安治川水門、尻無川水門）の改築等
- 緊急輸送路となる広域緊急交通路等の機能確保
 - ・道路・鉄道・沿道建築物等の耐震対策
 - ・道路の無電柱化
- 大量の緊急物資輸送等の拠点となる耐震強化岸壁の整備
- 鉄道の橋梁改築による防災機能の強化
- 地震時等の下水道施設等の社会インフラ施設の早期機能確保対策
- 公園における後方支援活動や避難場所としての防災公園の整備



新木津川水門完成イメージ
出典：大阪府



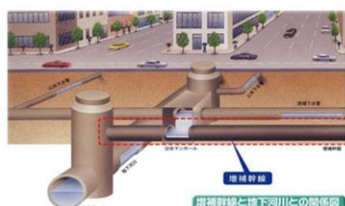
防災公園の整備
出典：大阪府

■ 治水対策・土砂災害対策

気候変動の影響による今後の水災害リスクの増大に備え、あらゆる関係者が協働して行う治水対策「流域治水」の考え方にに基づき、大雨時に河川への雨水の流出を可能な限り抑えるための対策を行うなど、水災害リスクの低減に向けた取組を推進します。

また、人命を守ることを最優先として、被災による影響が高い箇所での土砂災害対策施設の整備を進めます。

- 河川・下水道などの治水施設の整備・保全の推進
- 流域全体で行う雨水貯留対策等
 - ・民間開発などにあわせた雨水貯留・浸透施設の整備の推進
 - ・ため池の治水活用やオープンスペースでの貯留利用の推進
 - ・グリーンインフラを活用した流域治水の推進
- 高規格堤防整備事業による治水安全度の向上
- 土砂災害対策施設の整備・保全の推進



治水施設の整備（地下河川・下水道増補幹線整備）
出典：大阪府都市整備中期計画



土砂災害対策施設の整備（砂防堰堤）
出典：大阪府都市整備中期計画

など

■ 防災体制、地域防災力の強化

災害のおそれがある時や発生時において、住民等による自主的な避難行動を支援するための必要かつ確でわかりやすい情報発信や避難行動に向けた意識向上につながる取組を推進します。

また、被災後の迅速な復旧・復興を図るため、災害廃棄物等の適正処理や、防災・減災に資する事前対策の取組を推進します。

さらに、デジタル技術も導入し、都市インフラのデジタル化を進め、事前対策等への活用を進めます。

- 河川防災や交通情報などのリアルタイム情報や多言語情報等の発信
- 市町村と住民が一体となった地域防災力の向上に向けた取組の推進
 - ・洪水や土砂災害、高潮災害のハザードを対象としたタイムライン、ハザードマップの作成
 - ・避難訓練などの取組 など



スマートフォンでの河川防災情報の提供(イメージ)
出典:大阪府



コミュニティタイムライン策定支援
出典:大阪府



市町村による避難訓練の様子
出典:大阪府

② 供給処理施設の機能維持、再構築とまちづくりへの利活用

水道施設や下水道施設といった供給処理施設が健全な状態を維持していくために、施設の老朽化等を鑑みて、ストックマネジメント手法を取り入れた適切な管理と必要に応じた改築更新を進めるとともに、被災時にも速やかに復旧できるよう、耐震対策や他施設との連携によるバックアップ体制の構築などを図ります。

また、将来の人口減少を見据え、適正な規模に供給処理施設の再構築を図るとともに、再構築により生じた空間等を例えば、公園や商業施設等に転換するなど、敷地等の資源を活用したまちづくりを推進します。



供給処理施設上部の活用(屋上庭園)
出典:大阪市HP



供給処理施設周辺の活用(水辺)
出典:大阪府HP



供給処理施設周辺の活用(緑道)
出典:大阪府HP

2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり

① みどりを活かした魅力あふれるまちづくり

まちの景観形成をはじめ、ヒートアイランド現象の緩和、防災機能の向上、憩い・にぎわいの場の創出など、都市公園等のみどりが有する多様な機能を高め、公園や鉄道駅周辺などの整備やまちづくりに最大限に活用するとともに、民間活力による利用促進・利便性の向上を図ることにより、魅力あふれる都市空間を創出し、まちの活性化を図ります。

○ 豊かなみどりを活かした魅力ある都市空間の創出

- ・大阪湾等から周辺山系へ、河川や都市公園、街路樹などでつながる質の高いみどりのネットワークの形成
- ・都市や地域の顔となる公園・緑地において、質の高い空間の維持・創出を図り、まちづくりの中での効果的な活用や景観形成の観点をもった公園緑地の整備によってまちの活性化や魅力向上を図る。 など

○ 民間活力の導入によるみどりあふれるまちづくりの促進

- ・良好な緑化空間の整備等による都市景観やみどりの多様な機能面の向上
- ・PMO型指定管理者制度やP-PFI制度等を導入し、みどりを活かしたにぎわい施設の設置等による公園の魅力向上
- ・道路、公園等の公共施設の整備と併せた民有地等のオープンスペース化による居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出
- ・グリーンインフラの活用を通じた都市環境の向上・改善 など

○ 農空間の保全による地域の魅力向上

- ・生産緑地制度の活用等による都市農地の保全
- ・市民農園による緑地の確保や地域コミュニティの形成によるまちのにぎわい創出 など



民間活力によるにぎわい創出(てんしばイーナ)
提供:近鉄不動産株式会社



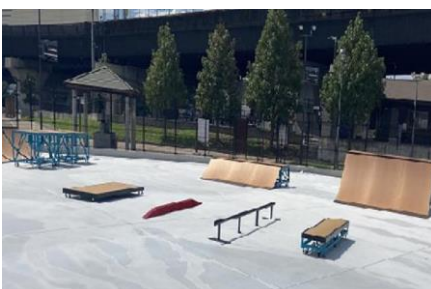
まちの中のみどり(なんばパークス)
提供:大阪府



鉄道駅周辺の緑化(JR日根野駅)
提供:大阪府



浜寺公園
提供:大阪府



堺市原池公園スケートボードパーク
出典:堺市HP



安満遺跡公園
出典:高槻市HP



みさき公園リニューアルイメージ
出典:ArkLE



グリーンインフラを活用した都市環境の向上
出典:大阪府HP



クラインガルテンによる地域コミュニティの形成
出典:大阪市HP

② 脱炭素社会の実現に向けたまちづくり

将来にわたって安心・安全に暮らせる持続可能な都市の構築に向け、環境と経済の好循環を推進するとともに、大阪の成長につながる脱炭素社会の実現をめざします。

脱炭素化時代における新たなエネルギー社会の構築に向けては、エネルギーの地産地消を進めるとともに、再生可能エネルギー等を活用することで、暮らしや産業活動で生じるCO₂排出量の削減をめざします。

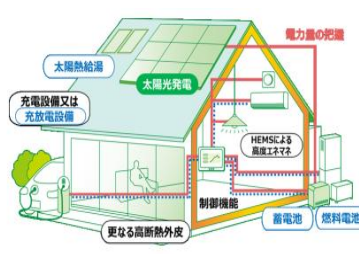
- AI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を活用した、新たな価値創造を図るスマートシティの社会実装
- カーボンニュートラルポートの形成による港湾機能の充実
- ゼロエミッションモビリティ(EV・FCバス等)の普及
- 利用時にCO₂を出さない水素や未利用エネルギーの地中熱などの利用
- ZEB、ZEH、LCCM住宅の普及促進、家庭での燃料電池や太陽光発電、蓄電池などの利用促進
- エネルギーの面的利用や再生可能エネルギーの導入促進
- 廃棄物処理や下水処理により得られる電気、熱、CO₂、バイオガス等の活用
- 再生可能な資材である木材の利用促進



Suita サステイナブル・スマートタウン
提供：パナソニック株式会社



建築物における木材利用の促進
提供：2025年日本国際博覧会協会



太陽光発電、電気自動車、蓄電池等
を活用したZEH(例)
出典：経済産業省



燃料電池バス
提供：大阪府

③ 循環型社会の実現に向けたまちづくり

これまでの多くの天然資源を利用して物を大量に製造し、使用後には大量に廃棄する「大量生産・大量消費・大量廃棄型」の社会から、できるだけ少ない資源で生産、消費、再生(リサイクル)の循環を行う、持続可能な循環型社会をめざします。

また、廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)及び適正処理の推進を図り、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に寄与するため、プラスチックごみ対策や良好な水辺空間の創出等に重点的に取り組むことにより、府民の行動変容を促し、持続可能なまちづくりをめざします。

- 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現に向けた海洋プラスチックごみ対策の推進や良好な水環境の創造
 - ・使い捨てプラスチックごみの削減、マイボトル・マイ容器の利用促進
 - ・バイオプラスチック製品の拡大と利用促進
 - ・水資源の有効利用と快適な水辺空間の保全・創造
 - ・ブルーカーボン生態系の保護等の推進

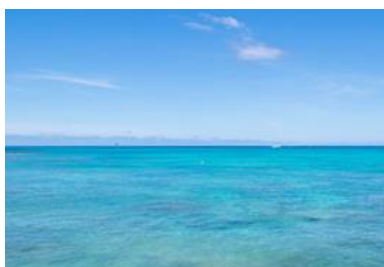
2000年～
リサイクリングエコノミー



～2050年
サーキュラーエコノミー



2050年にめざすべき循環型社会の将来像
出典：大阪府循環型社会推進計画



海洋プラスチックごみ対策の推進
出典：大阪広域「エリアまちづくりビジョン」(案)



ブルーカーボン(アマモ)
提供：阪南市

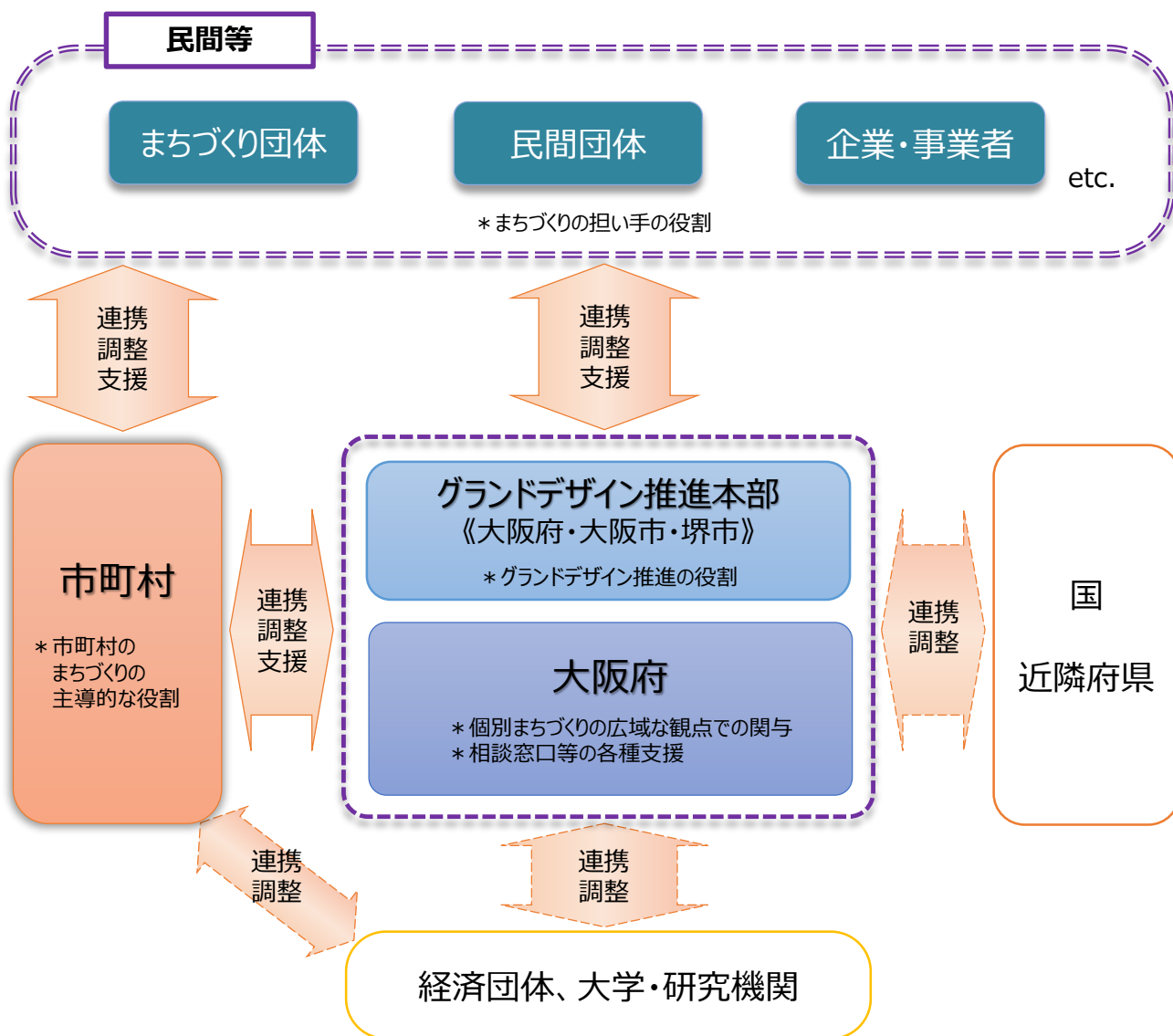
4. グランドデザインの推進に向けて

(1) まちづくりに関わる様々な主体の役割及び推進体制

グランドデザインの推進を図るためには、まちづくりに関わる様々な主体が、本グランドデザインで示す、めざすべき都市像とまちづくりの戦略等を共有し、その実現に向けた取組において、各主体の特徴を踏まえた役割を果たすことが肝要です。

そのためには、広域的な視点から大阪全体のまちづくりの推進役を担う大阪府が中心となって、まちづくりの主導的な役割を担う市町村との連携強化を図るための体制を整えるとともに、マルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成に向けた取組や大阪が有する立地ポテンシャルや地域資源の活用などといったテーマに則した、関係者が参画する体制等の構築を図ります。

【グランドデザイン推進体制】



(2) グランドデザインの推進に向けた取組

前述の推進体制のもと、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、今後の社会状況の変化にも対応しつつ、民間の活力を最大限発揮し、多様な主体が一体となったまちづくりを進めます。

まずは、グランドデザイン推進本部が中心となって、本グランドデザインで示した将来像やまちづくりの戦略等を国内外に広く発信し、大阪におけるまちづくりの認知度を高め、民間事業者など多様な主体との情報共有・連携などにより機運醸成を図るとともに、民間等がまちづくりに参画しやすい環境を整えるための取組等を進めてまいります。

また、市町村のまちづくりや広域連携のまちづくりを推進していくため、大阪府は広域的な観点から、市町村からの相談や技術的支援等の充実などを図るとともに、公民連携によるまちづくりを育てるための取組も推進していきます。

【推進に向けた取組】

○ 多様な主体の共有や参画を促し、まちづくりの機運醸成等を図る取組

- ・シンポジウム等の開催、プロモーションの実施等による国内外への情報発信
- ・テーマ毎の多様な主体による連携会議の実施

など

○ 民間主導のまちづくりを推進するための環境整備

- ・都市計画、市街地整備、都市再生緊急整備地域等を含む都市再生制度などの制度・手法の積極的な活用
- ・法制度・手法等の改善に向けた国への働きかけ
- ・スマートなまちの実現に向けて、国家戦略特区制度の活用（スーパーシティ等）、まちづくりDXの取組等
- ・マルチハブ&ネットワーク型都市構造の実現に向けた取組

など

○ 市町村及び広域連携のまちづくりの推進

- ・市町村からのまちづくりの相談窓口、技術的支援等の充実
- ・広域連携の取組における支援や関係者間のコーディネート
- ・まちづくりに関連するインフラ整備、産業、文化等に係る関係者との連携
- ・公共用地等のまちづくりへの有効活用

など

○ まちづくりを育てるための取組の推進

- ・エリア価値や地域魅力の向上を図るためのエリアマネジメントの推進
- ・パークマネジメントなど、民間活力による公共施設の活性化
- ・社会実験や初動期支援によるまちづくりの担い手育成支援、自立的な仕組み構築支援

など

○ グランドデザインの進捗管理

- ・推進本部会議を活用した進捗管理
- ・市町村含む体制の構築、情報共有等

など

5. 取組ロードマップ

大阪・関西万博の開催やIRの開業（※区域認定申請中）、なにわ筋線開業、スーパー・メガリージョン（SMR）形成等のインパクトを活かし、成長・発展していくため、短期（2025年春）、中期（2030年頃）、長期（2040年～2050年頃）を目標とした、まちづくりの戦略に基づく主な取組のロードマップを示します。

【大阪の成長・発展に向けたイメージ】



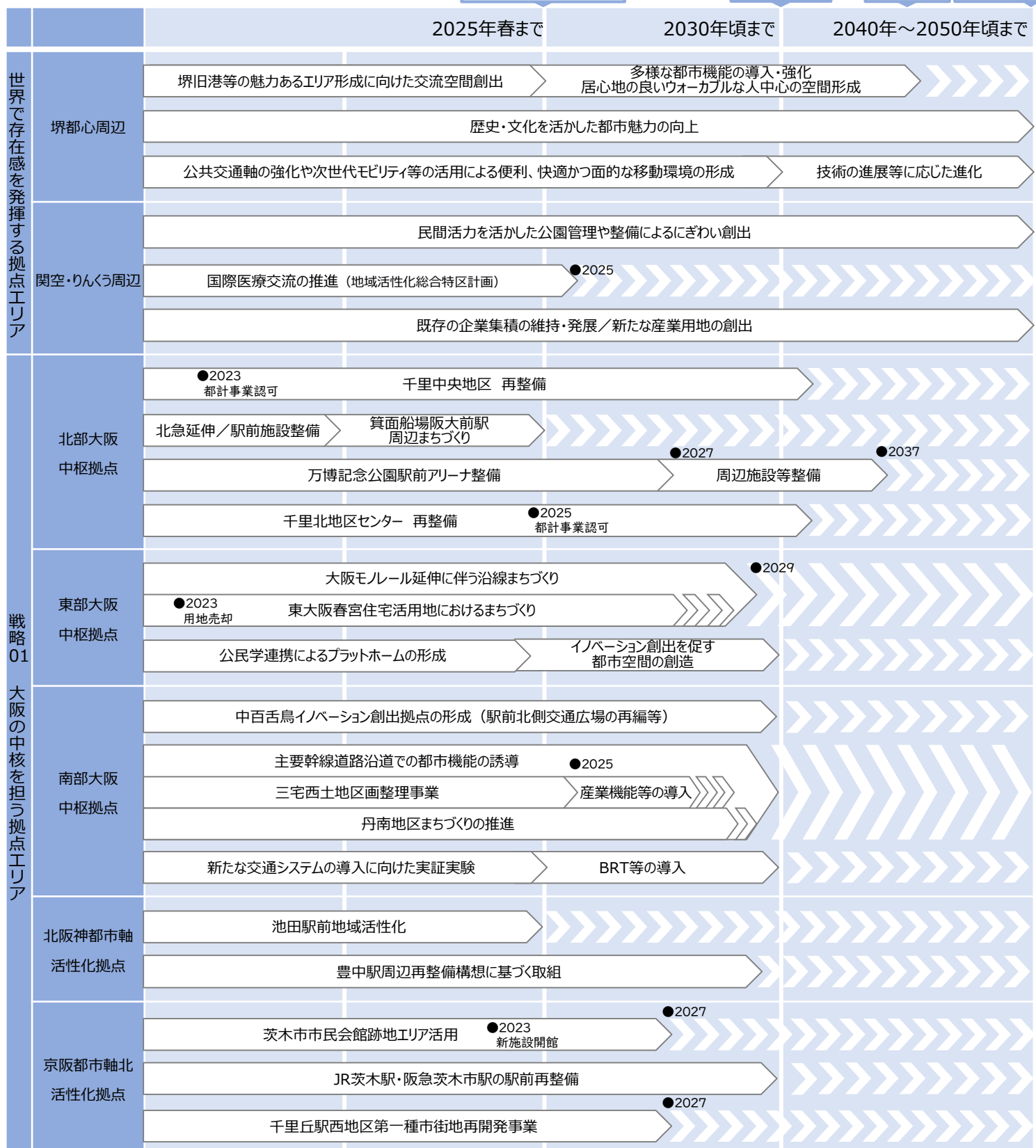
【5つのまちづくりの戦略に基づく主な取組のロードマップ】

【5つのまちづくりの戦略に基づく主な取組のロードマップ】		2025年大阪・関西万博	IR開業 なにわ筋線開業	SMRの形成	カーボンニュートラル 国際金融都市	
		2025年春まで	2030年頃まで	2040年～2050年頃まで		
戦略01 世界で存在感を発揮する拠点エリア	新大阪・大阪	●2024夏頃一部先行まちびらき	●2027全体まちびらき			
		うめきた2期 中核機能実現のための取組・民間開発・基盤整備				
		新大阪駅周辺 スーパー・メガリージョンの形成を見据えた民間都市開発の促進／広域交通結節施設等の機能強化			まちづくりのさらなる推進	
		淀川河川敷十三エリア魅力向上（本格始動に向けた準備）				
	大阪城・周辺	難波宮跡公園（北部ブロック）整備				
		大阪城東部地区 大阪公立大学森之宮（1期）キャンパス整備	1.5期開発			
		天満橋、京橋、大阪ビジネスパーク駅周辺における複合的な拠点形成				
	なんば・天王寺・あべの	なんば駅周辺における空間再編推進事業				
		なにわ筋線整備による（仮称）南海新難波駅やJR・南海難波駅周辺のまちづくりの促進				
		天王寺動物園リニューアル			●2040	
	御堂筋・周辺	低層部における上質なにぎわい空間の形成				
		風格あるまちなみ景観の誘導				
		御堂筋の道路空間再編			●2037 御堂筋100周年をターゲット	
	中之島・周辺	なにわ筋線（仮称）中之島駅の開業を契機とした、中之島4・5丁目をはじめとした周辺土地利用や都市開発の促進				
		未来医療国際拠点整備				
		中之島GATEエリア整備				
	夢洲・咲洲	2025年大阪・関西万博		夢洲2期	夢洲3期	
		IR・夢洲1期（※区域認定申請中）				
		クルーズ船母港化の実現（施設整備）	客船誘致活動			
AI等の活用によるコンテナターミナルの効率化・最適化						

2025年大阪・関西万博

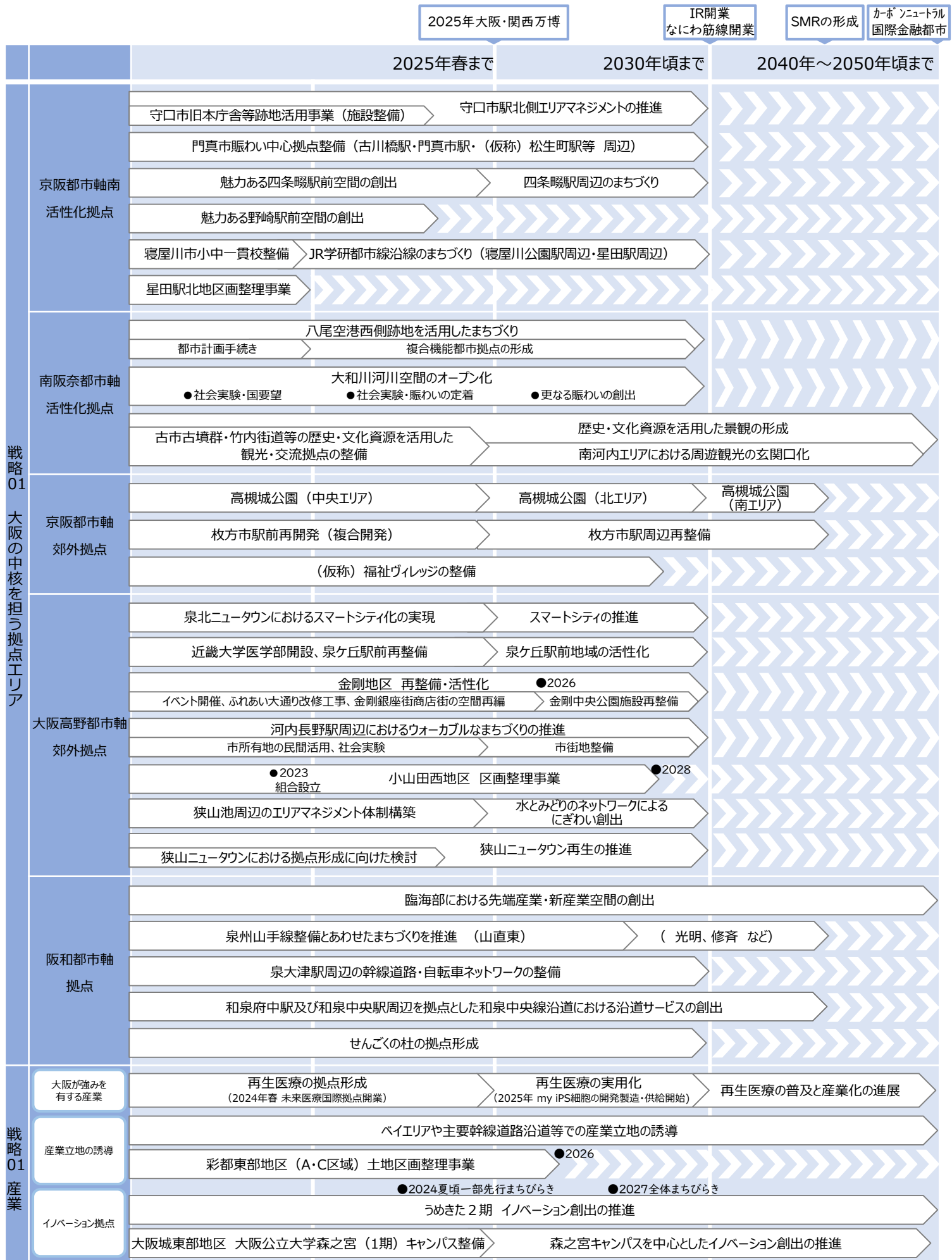
IR開業
なにわ筋線開業

SMRの形成

カーボンニュートラル
国際金融都市

※上記取組は、各戦略に基づく様々な取組から主なものを抽出したものであり、ここに示す以外の取組についても、多様な主体が一体となって進めていきます。

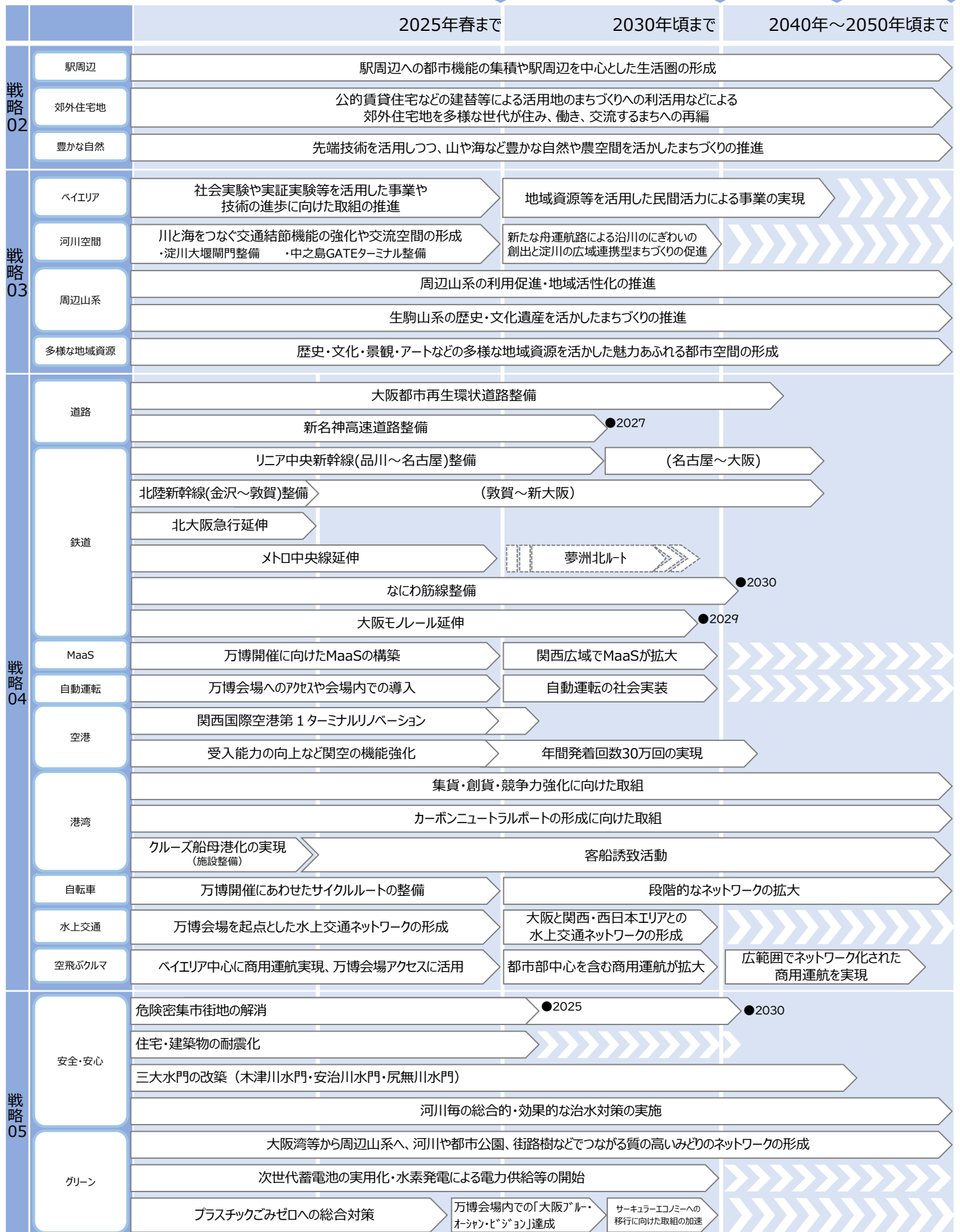
5. 取組ロードマップ



2025年大阪・関西万博

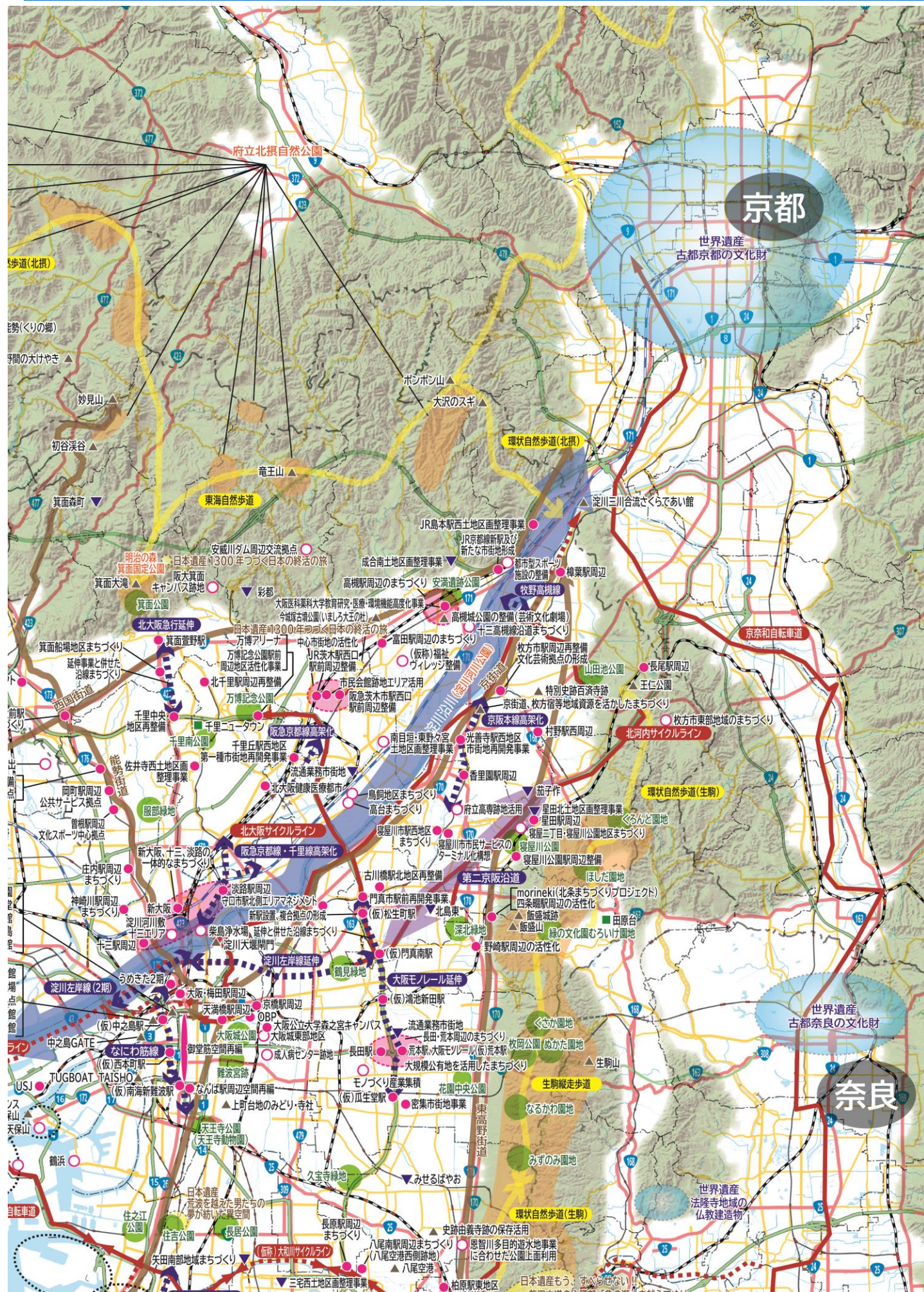
IR開業
なにわ筋線開業

SMRの形成

カーボンニュートラル
国際金融都市

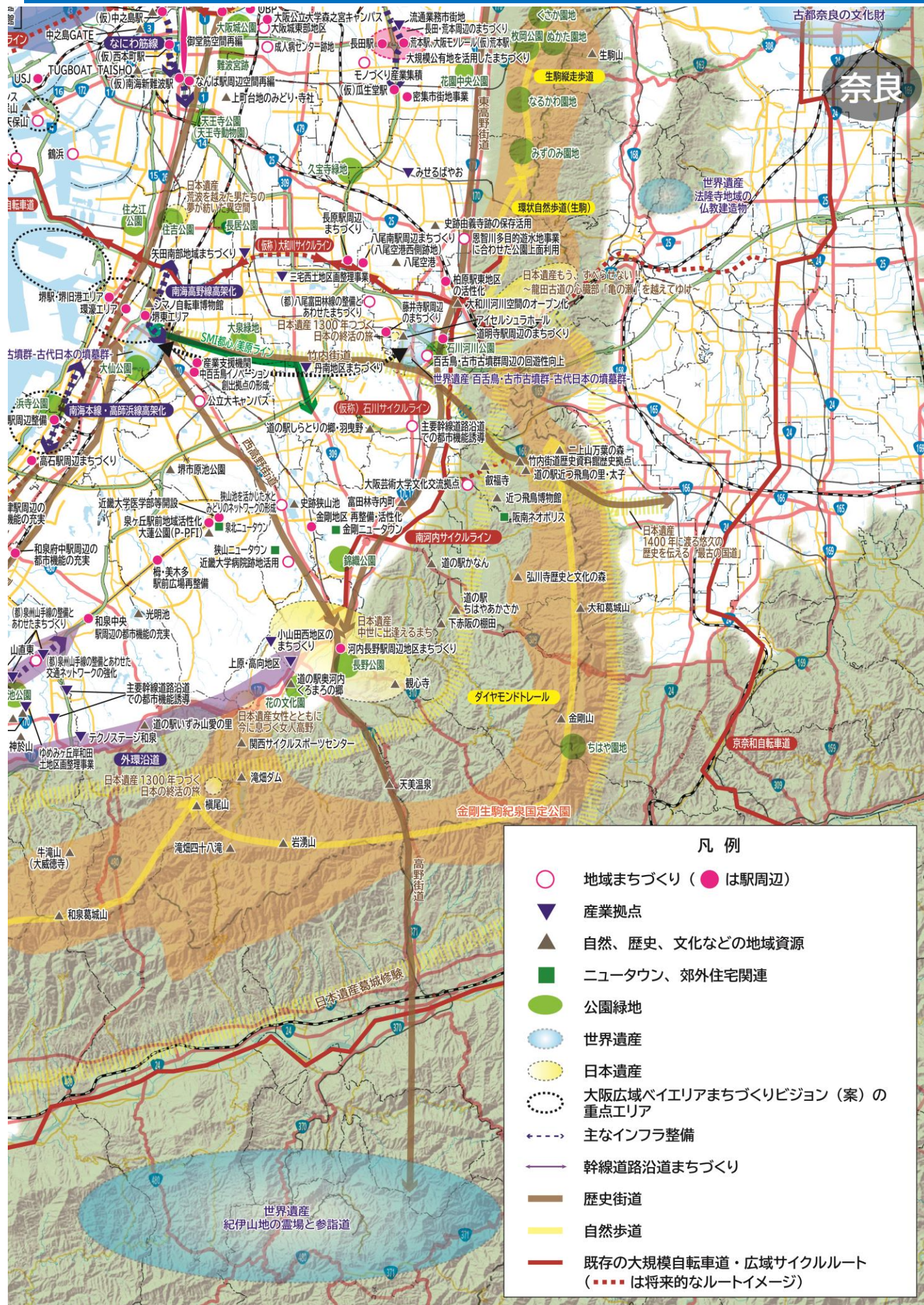
6. まちづくりマップ（北部）





6. まちづくりマップ（南部）





用語集

初出ページ	用語	解説
1	ゲートウェイ	玄関口、ネットワークの結節点。
1	IR／統合型リゾート	Integrated Resort 統合型リゾートの略称。民間事業者がホテルやレストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、国際会議場・展示場、カジノ等の施設を一体的につくり、運営するもの。
1	国際金融都市	世界的に事業を展開する銀行や証券会社などが拠点を構え、国際金融取引の中心となる都市。
1	スーパーシティ	AIやビッグデータなど、第四次産業革命における最先端の技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」。
1	スーパー・メガリージョン	リニア中央新幹線により、三大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ一体化することで形成される世界最大級の巨大都市圏。
1	AI／人工知能	Artificial Intelligence (人工知能) の略称。学習・推論・判断といった人間の知能のもつ機能を備えたコンピューターシステム。
1	SDGs	Sustainable Development Goalsの略称。国連に加盟する193カ国が2030年までに先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際目標。17の持続可能な開発目標（ゴール）と、それらの目標を達成するための169の具体的なターゲットが設定されている。
1	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。政府は2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする、カーボンニュートラルをめざすことを宣言しており、その達成のためには、温室効果ガスの排出削減・吸収作用の保全及び強化をする必要がある。
1	グリーン社会	カーボンニュートラル (carbon neutral、炭素中立) を実現し、CO2排出と消費をバランスさせること。
3	国土軸	文化と生活様式を創造するための基礎的条件である気候、風土、文化蓄積、アジア・太平洋地域に占める地理的特性において共通性を有する地域の連なりからなり、国土の縦断方向に形成される軸状の圏域。
3	西日本国土軸	国土軸のうち、太平洋ベルト地帯（第一国土軸）とその周辺地域。
3	太平洋新国土軸	静岡県から渥美半島、伊勢湾、紀伊半島、紀淡海峡、淡路島、四国地方、豊予海峡を経て九州地方に至る約800kmに至る圏域。
4	インバウンド	入ってくる、内向きのという意味の形容詞 (inbound)。海外から日本へ来る観光客をさすことが多い。
4	関係人口	移住してきた定住人口や観光で訪れた交流人口ではない、地域と多様に関わる人々（地域内にルーツがある人、過去に勤務や滞在をしたことがある人など）を示す言葉。
5	スタートアップ	創造的イノベーションにより革新的なビジネスモデルを創り、成長をめざす新興企業。
5	空飛ぶクルマ	従来の自動車に代わるモビリティとして、電動・垂直離着陸型・自動操縦の航空機などによる空の移動手段。
5	MaaS	Mobility as a Serviceの略称。利用者の多様なニーズに合わせ、事業者の垣根なく、最適な交通手段、経路、魅力情報等が検索、予約、決済できる一元的なサービス。移動手段にとどまらず、交通や観光、医療など様々なサービスとの組み合わせも含まれる。
7	パブリックスペース	個人に属さない公（おおやけ）の空間。公的に整備された空間だけでなく、一般に開放されている公共性の高い空間も含まれる。
7	エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者などによる主体的な取組。
8	テレワーク	情報通信技術 (ICT = Information and Communication Technology) を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。
8	ウォークブル	居心地が良く歩きたくなる環境であること。世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から”人中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場へとしていく取組が進められている。
9	いのち輝く未来社会	2025年大阪・関西万博に向けて掲げる、生涯を通じて心身ともに健康で、それぞれの能力を活かして輝きながら暮らし続けることのできるビジョン。
10	イノベーションイノベティブ	科学的発見や技術的発明を洞察力と融合し発展させ、新たな社会的価値や経済的価値を生み出す革新、そのさま。
10	ウェルビーイング	身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。豊かさ、幸福。
10	UD／ユニバーサルデザイン	あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
10	サステナブル	「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味。
10	レジリエント	「あらゆる危機に対処する力」という意味。
10	脱炭素社会	地球温暖化の原因と考えられる二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする社会。
10	循環型社会	廃棄物等の発生抑制、循環資源の循環的な利用及び適切な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷がでる限り低減される社会。
11	パーソナルモビリティ	徒歩や自転車に代わる一人乗りの乗り物。シニアカー、電動キックボードなど。

初出 ページ	用語	解説
12	コワーキングスペース	共同で作業する(Co-Working)場所(Space)という意味。
12	グランピング	グラマラス(魅惑的な)とキャンピングを掛け合わせた造語で、テント設営等を行わず、準備などの煩わしさが無い「良い所取りの自然体験」に与えられた名称。
12	ワーケーション	仕事(ワーク)と休暇(バケーション)を組み合わせた造語で、リゾート地や観光地で休暇を取りながら、一部の時間を仕事に充てるワークスタイル。
12	マルチハビテーション	平日は都心部で、週末等は郊外部や地方部で暮らすような、両方の魅力を享受できるライフスタイル。
13	大阪湾環状軸	大阪湾岸道路や大阪湾岸道路西伸部などで形成される、ベイエリアを取り囲む広域レベルの軸。
13	関西大環状軸	新名神高速道路や京奈和自動車などで形成される、概ね府域の外周を通る広域レベルの軸。
14	ゾーニング	土地利用計画において、用途ごとに区分された一団の地域又は地区。
15	高次都市機能	交通手段の提供、行政機能、商業機能、教育機能等の複合的な都市機能が低い水準でサービス提供されていること。
16	マルチハブ&ネットワーク型都市構造	多く・複数(Multi)の拠点(Hub)が交通網等によりネットワークされた都市構造をさす。本ブランドデザインにおける造語。
20	U-FINO	一般社団法人うめきた未来イノベーション機構の略称。官民一体によるイノベーション支援組織。
20	うめきた2期	JR大阪駅北側のうめきた2期区域の開発プロジェクト。「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の形成に向けた取組が進められている。
20	マルチモード	いくつかの要素が合わさっている状態。
20	交通結節施設	駅前広場など様々な交通機関が結節している施設。
21	PMO	Park Management Organization 公園管理団体の略称。公園を一体管理し、新たな魅力向上事業を実施する民主体の事業。
21	Park-PFI	飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。「公募設置管理制度」の略称。
23	フルモール	自動車通行路を設けず、区間全体を歩行者通路の形態として、都心商業地の魅力向上などを図る歩行者空間。
23	エネルギーマネジメント	工場・ビル・住宅などでエネルギーの使用状況を把握し、高効率な整備を導入するなど、エネルギーを合理的に利用するための活動。
23	BCD	Business Continuity Districtの略称。災害時の業務継続に必要なエネルギーの安定供給が確保される地区。
24	水都大阪	明治の頃、大阪は「水の都」と呼ばれており、当時の景観等を取り戻すべく、水辺の生活を活気ある賑やかな場へと再生するためのさまざまな試みを展開していることの総称。
24	MICE	会議(Meeting)、研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)イベント(Exhibition/Event)の頭文字をとった単語で、集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
24	都市型MICE	多様な施設が相互に連携することでエリア全体で機能の充実が図られたMICE施設。
24	スマートアイランド	「中・島地域戦略プラン」の重点施策のひとつであるICTを活用した最先端技術の導入による持続的なまちづくり。
25	国際コンテナ戦略港湾	「海洋国家日本の復権」の一環として、大型化が進むコンテナ船に対応し、アジア主要国と遜色のないコスト・サービスの実現をめざすため、「選択」と「集中」に基づき国が選定した港湾。
25	コンテナターミナル	海上コンテナの海上輸送と陸上輸送の結節点となる港湾施設の総称。
26	モビリティネットワーク	バスターミナルや鉄道駅といった交通拠点(モビリティスポット)を配置し、拠点間を超小型モビリティ等で結び交通形態を構築すること。
26	次世代モビリティ	自動運転や空飛ぶクルマ、ドローンなどの先端テクノロジーを活かした進化型の移動手段。
29	近隣センター	近隣住区ごとに配置された、日常に必要なサービスを提供するセンター。商店や集会所、交番、郵便局などの公共のサービス機関などが集約して配置されている。
30	流通業務市街地	流通業務施設(トラックターミナルや倉庫など)を集約的に立地させることにより、流通をスムーズに行うことを目的として作られた地域。
30	密集市街地	古い木造の建物が密集して、道路が狭く、地震や火事の時に大規模な火災になる危険性が高く、避難しにくい市街地。
30	エコシステム	自然界の生態系のように複数の企業や人材、支援機関などが相互に関連し合いながら、その相互作用によってスタートアップやイノベーションが次々生み出されていく環境。
31	ICT	情報通信技術。Information and Communication Technologyの略称。コンピューター・インターネット・携帯電話などを使う情報処理や通信に関する技術。

用語集

初出ページ	用語	解説
31	パークマネジメント	公園づくりの基本理念と目標を達成するため、従来の行政主導の事業手法から転換し、府民・NPO・企業と連携しながら整備、管理していくこと。
31	BRT	Bus Rapid Transitの略称。PTPS（公共車両優先システム）、バス専用道等を組み合わせ、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム。
32	まちなか居住	居住を含む多様な都市機能が高度に複合した魅力ある市街地への更新を図り、職と住が均衡した都市構造を形成し、まちなかへの居住を図ること。
32	エリアプラットフォーム	地域における将来像の実現に向けた取組を行うため、市町村や地域団体等が参画や支援をしている協議組織。
32	シティプロモーション	自治体が行う宣伝・広報・営業活動のことをさし、地域のイメージ向上やブランドの確立、地元経済の活性化などを目的とした取組。
33	市街地再開発事業	都市再開発法に基づき、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的に、建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備を行う事業。事業種別には第一種（権利変換方式）と第二種（管理処分方式）がある。
33	オープンイノベーション	組織内部と外部のアイデア・技術を組み合わせることで、革新的で新しい価値を創り出す手法。
33	河川防災ステーション	水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保した施設。
33	高台まちづくり	浸水しない安全な場所への事前の広域避難を原則としつつ、特に広域避難が困難な避難行動要支援者の生命と身体を守るための高台にした避難場所をまちづくりと一体となって確保するもの。
35	サイクルルート	自転車に乗り、地域をめぐり、沿道の魅力を楽しむルート。
36	都市型スポーツ施設	BMX、スケートボード、スポーツクライミング等の都市型（アーバン）スポーツを行うための施設。
36	地域共生社会	地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。
37	スマートシティ	先進的技術の活用により、都市や地域の機能、サービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する都市。
37	リモートワーク	会社に出社することなく、自宅等の会社のオフィス以外の場所で仕事をする事。
37	シェアオフィス	ひとつの大きな空間を異なる複数企業や個人がシェアして使うオフィス。
37	オンデマンド交通	利用者の要求（デマンド）に対応して運行する乗り合いの公共交通サービス。
38	モビリティハブ	様々な交通機関の接続・乗換拠点。
39	Eコマース	インターネットなどのデジタルチャネルを通じて商品やサービスを商取引する行為。
40	リーディング産業	一地域の経済成長の中軸となる産業。
40	ライフサイエンス	生命現象の解明及びその成果の応用に関する総合的科学技术。大阪府では、医薬品、医療機器、再生医療等の「ライフサイエンス産業」を成長産業に位置づけ、成長を促進することで、大阪産業の国際競争力のさらなる向上をめざしている。
40	ゲノム医療	多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子変異を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療。
40	IoT	Internet of Thingsの略称。あらゆるモノがインターネットにつながる事。
40	ライフデザイン・イノベーション	超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創業や医療機器開発などの分野にとどまらず人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出していくこと。
40	ビッグデータ	従来のデータ処理・管理のあり方では活用が困難であるような巨大データ群を意味する。交通情報や携帯電話の利用データ、犯罪情報、人の歩行情報など情報の範囲は多様である。これらのデータを記録し、活用することによって、新たな予測が可能になったり、新たな仕組みやシステムを生み出す基礎とすることなどが可能である。
40	シンクタンク	さまざまな領域の専門家を集めた研究機関。「都市シンクタンク機能」は、大阪府・大阪市・公立大学法人大阪の『新大学基本構想』（令和2年1月）で示された新大学がめざす機能の1つであり、「パブリックデータの分析や産官学のネットワークなど、“公立大学”のアドバンテージを最大限に活用し、府市と密接に連携しながら大阪の都市課題解決に貢献する」とされている。
40	インキュベーション	設立して間がない新企業に国や地方自治体などが経営技術・金銭・人材などを提供し、育成すること。「技術インキュベーション機能」は、大阪府・大阪市・公立大学法人大阪の『新大学基本構想』（令和2年1月）で示された新大学がめざす機能の1つであり、「両大学がもつ理学・工学・農学・医学・獣医学・生命科学など、各分野の強みを持ち寄り、更なる企業連携や、新たな研究に取り組むことにより、大阪産業の競争力の強化に貢献する」とされている。
40	コンソーシアム	複数の個人や組織が共通の目的のために活動する集団。
42	電動モビリティ	自動車よりコンパクトで小回りが利き、地域の手軽な移動の手段となる1～2人乗り程度の車両。

初出ページ	用語	解説
42	AIオンデマンド交通	従来の定時定路線型ではなく、利用者の予約に対して、AIによる最適な運行ルート、配車をリアルタイムに行う輸送サービス。
42	ZEB	Net Zero Energy Buildingの略称。快適な室内環境を実現するとともに、維持管理等を行う際に消費するエネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物。
42	ZEH	Net Zero Energy Houseの略称。高断熱・高気密化、高効率設備によって使用するエネルギーを削減しながら、太陽光発電などでエネルギーをつくり出し、年間で消費する住宅の正味エネルギーがおおむねゼロ以下になる住宅。
44	ワークスペース	仕事をする空間・場所。
44	ドローン	操縦士が乗らない、無人飛行機。
44	仮想空間	インターネット上で、現実のような敷地の制限もなく理論上どこまでも大きな空間を作ること可能であり、現実を超越した(meta)どこまでも広がる空間(universe)を表した言葉。
44	再生可能エネルギー	電気のエネルギー源として、永続的に利用できることが認められている太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスをさす。
45	大阪広域ベイエリア	「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン(案)」(令和3年8月)の対象範囲で、大阪市から岬町までの沿岸9市3町の臨海部・沿岸部や地先水面をさす。
46	大阪産(もん)	大阪府域で栽培・生産される農産物、畜産物、林産物、水産物と、それらを原材料として使用した加工品。
46	大阪ブルー・オーシャン・ビジョン	2019年6月に開催されたG20大阪サミットにて提案され、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することをめざすビジョン。
47	水の回廊	大阪市の中心部に位置する、堂島川・土佐堀川・木津川・道頓堀川・東横堀川がカタカナの口の字を示していることから、水の回廊と呼ばれている。
47	かわまちづくり制度	河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成をめざす「かわまちづくり」の取組を、ハード・ソフト両面から支援する制度。
47	サイクルツーリズム	自転車に乗り、食事や温泉等の観光資源を五感で感じ、楽しむことを目的としたツーリズム。
48	府民の森	府政100年を記念して、金剛生駒紀泉国定公園の豊かな自然に親しめるよう、大阪府が森林や施設を整備した森林公園。
48	サイクルロゲイニング	地図をもとに、設定時間内に指定ポイントを回り、得点を集めるサイクリングスポーツのこと。
50	景観計画	景観行政団体が、良好な景観形成を図るため、その区域、良好な景観形成に関する基本方針、行為の制限に関する事項(行為ごとの景観形成基準)等を定め、届出勧告制(建築物及び工作物の形態意匠(色彩やデザイン)については変更命令制)により、景観上の規制誘導を行っていくもの。
50	アーツポット	美術館等の施設に限らず、アートを愛し親しむ空間。
52	スマートIC／スマートインターチェンジ	ETCを搭載した車両だけが交通でき、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア等に設置されるインターチェンジ。
52	ミッシングリンク	幹線道路等の未整備区間。
52	リダンダンシー	自然災害等の発生時に、全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備手段が用意されている様な性質。
53	土地区画整理事業	都市基盤が未整備な市街地や市街化の予想される地区を健全な市街地にするために、道路・公園・河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。
53	地区計画	地域の実情に応じたまちづくりを進めるため、特定の地域を対象として、建築物に関するきめ細やかなルールと生活道路や公園などの公共施設に関する計画を一体的に定める地区レベルの都市計画。
54	SMI都心ライン	SMI=堺・モビリティ・イノベーションの略称。先進技術を活用して利便性や快適性などを向上させる次世代都市交通の導入や、ARTの乗降場所における滞留空間やにぎわい・交流機能の導入、次世代モビリティポートの設置などをめざすもの。
55	シームレス	継ぎ目や縫い目がないという意味。派生して「途切れていない」「なめらかである」ということを示す。
55	多機能デジタルサイネージ	鉄道情報や観光案内など様々な情報を提供するためのタッチパネル式の液晶ディスプレイなど。
56	エアモビリティ	ドローン・空飛ぶクルマを利用したヒト・モノの新しい空の移動手段の総称。
56	AIターミナル	AI、IoT、自動化技術を組み合わせ、運航スケジュールの定時性を確保、良好な労働環境、世界最高水準の生産性を有した国際基幹航路の寄港地となるコンテナターミナル。
56	内航RORO	トラックやトレーラーが自走で船に乗り込み、貨物を積載したまま運搬できる貨物用の船舶。
56	カーボンニュートラルポート	脱炭素化に対応した能力を持っている港湾。
57	ほこみち制度	道路空間の構築を行いやすくするために創設された「歩行者利便増進道路」(通称:ほこみち)制度。歩道等の中に、“歩行者の利便増進を図る空間”を定めること等ができる。

用語集

初出ページ	用語	解説
57	都市再生推進法人	都市再生特別措置法に基づき、市町村が指定する地域のまちづくりを担う法人。都市再生整備計画の提案、エリアマネジメント融資等ができる。
58	TMO	Town Management Organizationの略称。まち全体を一体的に一元的に取組を行う組織。
59	サイクルポート・サイクルポートステーション	コンビニや道の駅等に安全・快適なサイクリングのための駐輪ラックの設置、空気入れや工具の貸出、サイクリスト向けサービス等を提供する施設。
61	ラストワンマイル	鉄道駅やバス停等の交通結節点から目的地までの移動又は区間。
61	LRT	Light Rail Transitの略称。低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システム。
61	グリーンスローモビリティ	時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。
62	空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市	「空の移動革命社会実装に向けた大阪版ロードマップ」(令和4年3月)策定のコンセプト。新たなモビリティとして空飛ぶクルマが社会生活の利便性向上に深く関わり、エアモビリティを活用したビジネスモデルを創造する都市として発展することをめざすもの。
63	延焼遮断帯	地震等により発生する都市火災において、発生した火災を有効に遮る道路、緑地帯、広場、線路、河川等の都市防火施設と、それらの沿線に建つ耐火建築物による帯状の不燃空間。
63	三大水門	高潮による被害から市街地を守るため、国内では珍しいアーチ型の巨大な防潮水門(安治川水門、尻無川水門、木津川水門)が建設されており、これらを総称して「三大水門」と呼ぶ。
63	広域緊急交通路	災害発生時に救助・救急、医療、消火並びに緊急物資の供給を迅速かつ的確に実施するための道路。
63	流域治水	河川区域や氾濫域および集水域を含めた流域全体で治水を行うこと。
63	グリーンインフラ	自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。
63	高規格堤防	通常の堤防と比較して幅の広い堤防(堤防の高さの30倍程度)。
64	タイムライン	災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。防災行動計画とも言う。
64	ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの位置などを表示した地図。
64	ストックマネジメント手法	社会資本(道路、上下水道、海岸整備など)のストックを将来にわたって適切に維持管理・改築・修繕していくための手法。
65	ヒートアイランド	人間活動等が原因で都市の気温が周囲より高くなることで、高温域が都市を中心に島状に分布。
65	生産緑地制度	市街化区域内の農地で、良好な生活環境の確保に効用がある500㎡以上※の農地を都市計画で定め、建築行為等を許可制により規制し、都市農地の計画的な保全を図る制度。 ※市区町村が条例を定めれば、面積要件を300㎡まで引き下げることが可能。
65	クラインガルテン	レクリエーションや生きがいづくり、体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園。
66	ゼロエミッションモビリティ	電気自動車など汚染物質を排出しないエコカー。
66	EV・FCバス	EVバスは、Electric Vehicleの略称。電気モーターを動力源とする電動車。 FCバスは、Fuel Cellの略称。水素と酸素で発電する燃料電池によって走る燃料電池車。
66	LCCM住宅	Life Cycle Carbon Minusの略称。建築から解体・再利用等までのライフサイクル全体を通じてCO2排出量をマイナスにする住宅。
66	バイオプラスチック	植物などの再生可能な有機資源を原料とする「バイオマスプラスチック」と微生物等の働きで最終的に二酸化炭素と水にまで分解する「生分解性プラスチック」の総称。
66	ブルーカーボン	海草藻場、海藻藻場、湿地・干潟、マングローブ林等の海洋生態系に取り込まれた(captured)炭素。
66	サーキュラーエコノミー	従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動。
68	都市再生緊急整備地域	都市の再生の拠点として、都市開発事業等を通じて、緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域を都市再生特別措置法に基づき、政令で国が定めるもの。地域指定により、民間都市再生プロジェクトに対して、都市計画の特例、金融支援、税制特例等の措置が用意されている。
68	国家戦略特区制度	国の経済社会の活力の向上及び持続的発展を図るため、産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動拠点の形成に関する施策を総合的かつ集中的に促進する制度。
68	まちづくりDX	基盤となるデータ整備やデジタル技術の活用を進め、まちづくりの在り方を変革することで都市における新たな価値創出又は課題解決を図ること。